

第4次越谷市地域福祉計画策定にかかる 基礎調査結果報告書

令和7年1月

越谷市

目次

I	調査の概要.....	3
1	調査の目的	3
2	調査対象	3
3	調査期間	3
4	調査方法	3
5	実施状況	3
6	報告書のみかた	6
II (1)	調査結果：市民アンケート	9
1	本人について	9
①	性別	9
②	年齢	9
③	居住年数	10
④	居住地区	10
⑤	職業	11
⑥	家族構成	11
2	地域とのつながりや地域活動について	12
①	近所とのつきあい	12
②	近所との付き合いの希望	13
③	地域コミュニティの範囲	13
④	地域活動への参加	14
⑤	地域での手助け	16
⑥	地域の問題の解決方法	17
3	ボランティア・NPO 活動について	18
①	ボランティアやNPO 活動の経験	18
②	ボランティアやNPO 活動を広げるために必要なこと	21
4	地域生活における不安や悩み・相談窓口に関して	23
①	地域福祉の拠点や組織の認知度	23
②	相談先	24
③	身近な支援者	26
④	孤独や孤立の状況	27
⑤	行政からの情報・お知らせ	31
⑥	災害時の受援力	32
5	成年後見制度に関して	33
①	成年後見制度の認知度	33
②	「成年後見センターこしがや」の認知度	34
③	成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと	35
6	再犯防止に関して	36

① 民間協力者の認知度	36
② 再犯防止で力を入れていくべき施策	37
7 越谷市の地域福祉全般について	38
① 越谷市の地域福祉の現状について	38
② 越谷市の福祉に関する意見・要望・提案	39
II (2) 調査結果：団体アンケート①（地域活動団体）	45
1 団体の概要について	45
① 住所	45
② 組織形態	45
③ 構成員の人数	46
④ 活動場所	47
2 団体の地域活動状況について	48
① 主な活動等	48
② 今後取り組んでみたい活動	50
③ 活動に必要な情報	52
④ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援	53
3 活動上の課題や他の団体等との連携について	54
① 運営上の問題点・課題	54
② 連携・協力関係	56
③ 困りごと等の相談	58
4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について	61
① 越谷市の地域福祉の現状	61
② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと	62
③ 個別避難計画の認知度	64
④ 越谷市の福祉に関する意見・要望・提案	65
II (3) 調査結果：団体アンケート②（企業）	69
1 事業所の概要について	69
① 住所	69
② 業種	69
2 事業所の地域活動状況について	70
① 地域の課題解決に関して取り組んでいる主な活動等	70
② 今後取り組んでみたい活動	72
③ 活動場所	73
④ 活動に必要な情報	73
⑤ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援	74
3 活動上の課題や他の団体等との連携について	75
① 運営上の問題点・課題	75
② 連携・協力関係	76
③ 困りごと等の相談	78

4	越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について	80
①	越谷市の地域福祉の現状	80
②	ボランティアやNPO活動を広げるために必要なこと	81
③	個別避難計画の認知度	82
④	越谷市の福祉に関する意見・要望・提案	82
III	調査結果：団体ヒアリング	85
1	各回の結果	85
IV	調査結果：学生ヒアリング	105
1	各回の結果	105
V	調査結果のまとめ	115
1	アンケート結果のまとめ	115
2	ヒアリング結果のまとめ	119
3	調査結果全体をふまえた課題の整理	122
	資料編	127
1	調査票（市民アンケート）	127
2	調査票（団体アンケート①）	143
3	調査票（団体アンケート②）	155

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「第4次越谷市地域福祉計画、地域福祉活動計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）」を策定するにあたり、計画の基礎資料として、市民や福祉関係団体、事業者の方々の意見を把握することを目的として実施しました。

2 調査対象

（1）アンケート

- ① 市内在住 16 歳以上の市民 3,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）
- ② 地域で活動する団体 904 団体（自治会、社会福祉法人など）
- ③ 連携協定締結先企業 11 事業所

（2）ヒアリング

- ① 地域で活動する団体 39 団体（団体アンケートで参加意向のあった団体から抽出）
- ② 市内の大学 3 大学

3 調査期間

- （1）令和6年7月～同年8月
- （2）令和6年9月～同年10月

4 調査方法

- （1）郵送配布、郵送・Web 回答（団体、企業については、一部メールで配布）
- （2）対面によるヒアリングと参加者による意見出し（付せんに記入）

5 実施状況

（1）アンケート回収状況

項目	配布	回収数	回収率
市民	3,000	1,271	42.4%
団体	904	689	76.2%
企業	11	7	63.6%

(2) 団体アンケート実施状況

No.	分類	対象団体（915団体）
1	地域	自治会
2		民生委員・児童委員協議会
3		ふれあいサロン
4		社会福祉法人
5		地域支え合い会議
6		保護司会
7		更生保護女性会
8	高齢	地域包括支援センター
9		介護施設
10		老人クラブ連合会
11	障がい	障がい者等基幹相談支援センター
12		障害福祉サービス事業所
13		障害者福祉センターこばと館登録団体
14	子ども	子育て支援ネットワークサークル・団体
15		こども食堂
16		子どもの学習支援団体
17		障がい児支援事業所
18	生活困窮	生活困窮者支援団体
19	若者・外国人	市内大学サークル・団体
20		ひきこもり支援団体
21		多文化共生に関わる団体
22	ボランティア	ボランティアセンター登録団体
23	企業	協定締結先企業

(3) ヒアリング実施状況

団体

日時	参加団体（39団体）
9月17日（火） 13:30～14:30	越谷地区保護司会越谷支部会
9月26日（木）① 14:00～15:00	ふれあいサロン野中のバラ ふれあいサロンひまわり ふれあいサロン銀杏 立野自治会 蒲生東町自治会 伊原新田自治会 鷺越自治会 新方地区民生委員・児童委員協議会
9月26日（木）② 15:20～16:20	にこにこサロン ほのぼのクラブ 増林地区支え合い会議 弥栄町二丁目自治会 弥栄町三丁目自治会 森西川自治会 鯛之島自治会 桜井地区民生委員・児童委員協議会 増林地区民生委員・児童委員協議会
9月26日（木）③ 16:40～17:40	6丁目話咲サロン 自死遺族分かち合い支えあいの会 おおきな木 東五あじさいサロン 桜井笑顔の会 西方シティハウス自治会 中町西自治会
9月27日（金）① 10:30～11:30	NPO 法人越谷らるご
9月27日（金）② 13:00～13:30	越谷地区更生保護女性会
10月1日（火） 15:00～16:00	生活自立相談「よりそい」
10月3日（木）① 14:00～15:00	介護者の会朝顔 居宅介護支援事業所げんき コープみらい越谷介護センター 合同会社ムーブオン 応援プラン 地域包括支援センター大袋 船渡ふるとね会
10月3日（木）② 15:20～16:20	点字はなみずき ホープサロンリンク NPO 法人視覚障がい者支援協会・ひかりの森 社会福祉法人埼玉福祉会神明苑
10月3日（木）③ 16:40～17:40	子育てサロン-オリヴィエ- NPO 法人ファミリーリンク越谷

※順不同

大学

日時	参加団体（3団体）
9月13日（金） 09:30～10:00	埼玉東萌短期大学
9月26日（木） 10:00～12:00	埼玉県立大学 文教大学

6 報告書のみかた

(1) アンケート

- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の各項目の回答の合計を足し上げた場合、回答者数を上回るため、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、省略した表現を用いることがあります。
- 自由記述は、意見の内容は、原則として、回答者自身の書いた文章表現をそのまま記録しています。
- 回答内容について、(趣旨を変えない範囲で)一部誤字脱字等を修正したり、個人や団体等が特定されないように一部を書き換えたり、趣旨が分かりやすい様に加筆したり、正式名称に書き直していることがあります。

(2) ヒアリング

- 意見の内容は、原則として、参加者自身の発言や付箋に記入された意見等の文章表現をそのまま記録しています。
- 参加者が記入した内容について、(趣旨を変えない範囲で)一部誤字脱字等を修正したり、趣旨が分かりやすい様に加筆したり、正式名称に書き直していることがあります。

Ⅱ（１） 調査結果：市民アンケート

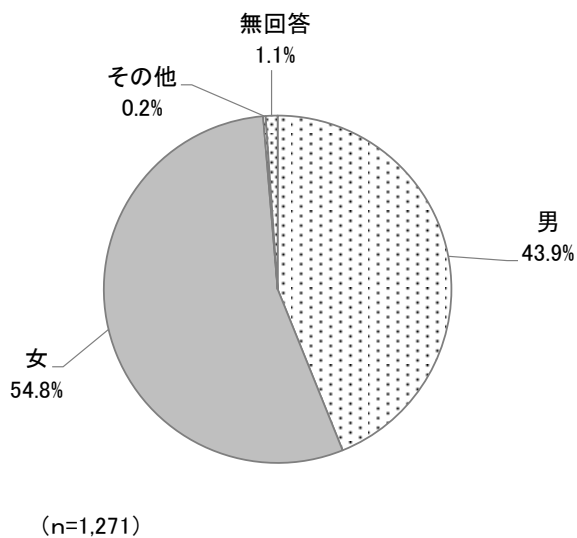
Ⅱ（１） 調査結果：市民アンケート

1 本人について

① 性別

問1 あなたの性別をお聞かせください。（１つに○）

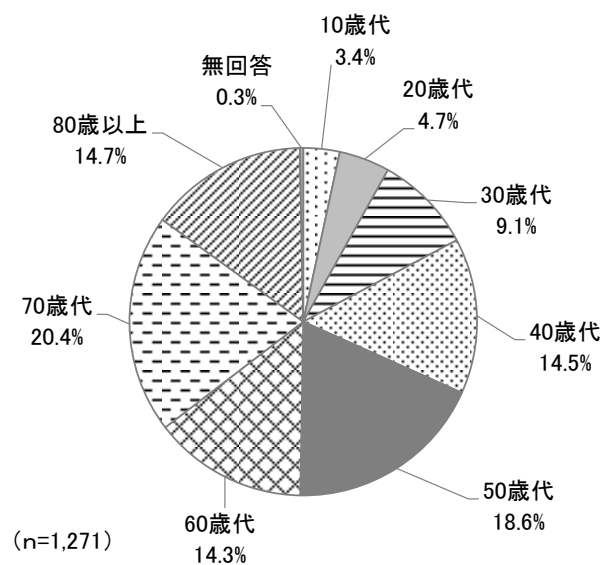
性別は、「女」が54.8%、「男」が43.9%となっています。



② 年齢

問2 あなたの現在の年齢をお聞かせください。（１つに○）

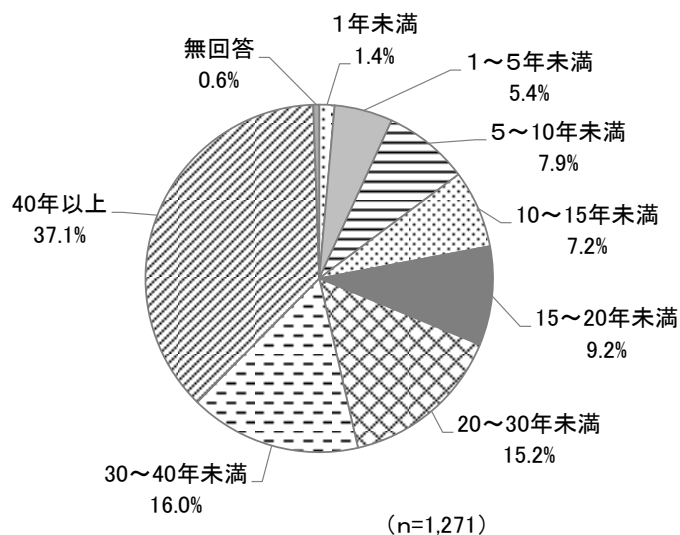
年齢は、「70歳代」が20.4%と最も多く、次いで「50歳代」が18.6%となっています。



③ 居住年数

問3あなたは越谷市に住んで何年になりますか。(1つに○)

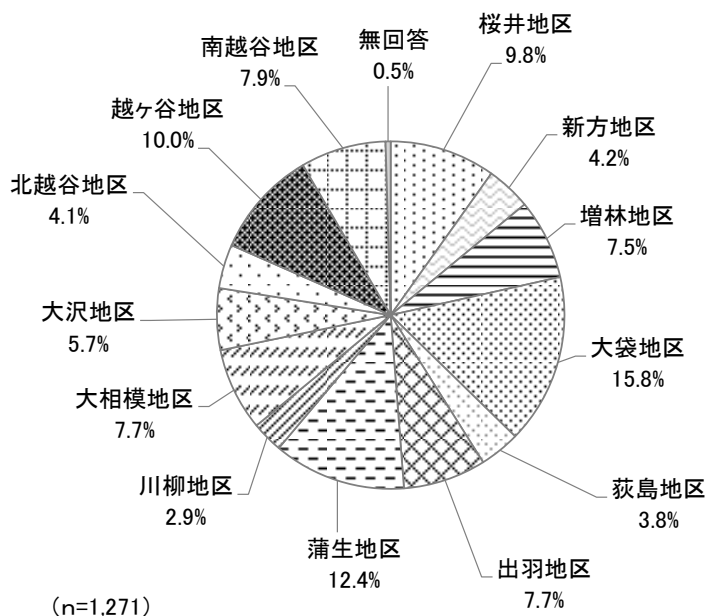
居住年数は、「40年以上」が37.1%と最も多く、次いで「30～40年未満」が16.0%となっています。



④ 居住地区

問4お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

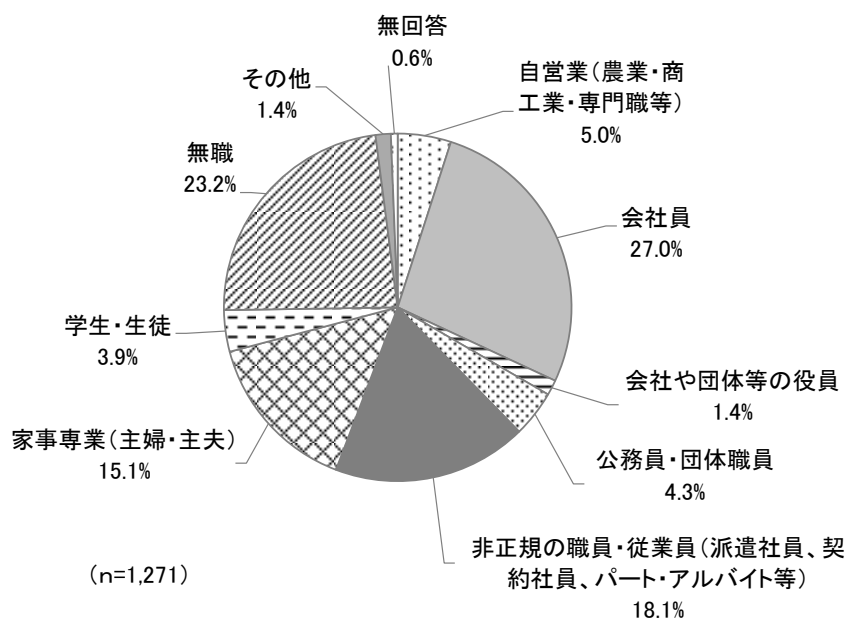
居住地区は、「大袋地区」が15.8%と最も多く、次いで「蒲生地区」が12.4%となっています。



⑤ 職業

問5 ご職業は何ですか。(1つに○)

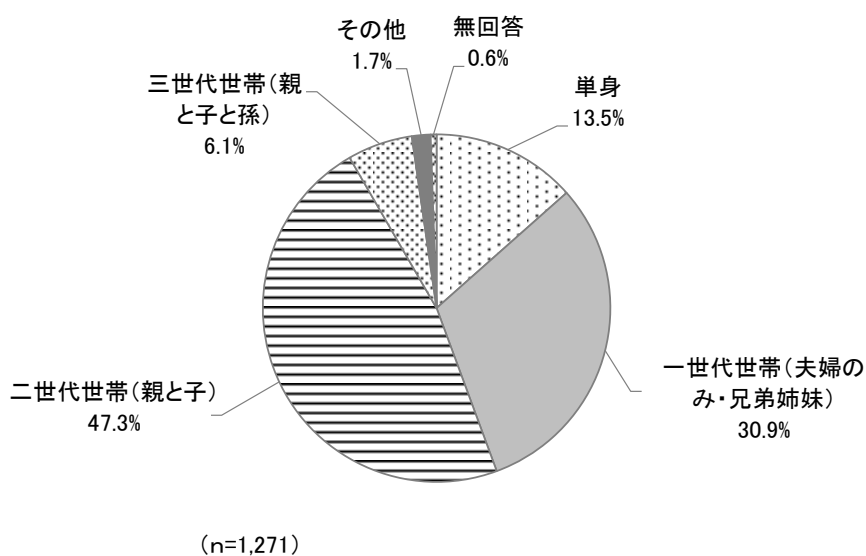
職業は、「会社員」が27.0%と最も多く、次いで「無職」が23.2%となっています。



⑥ 家族構成

問6 ご家族の構成についてお答えください。(1つに○)

家族構成は、「二世世代世帯(親と子)」が47.3%と最も多く、次いで「一世世代世帯(夫婦のみ・兄弟姉妹)」が30.9%となっています。

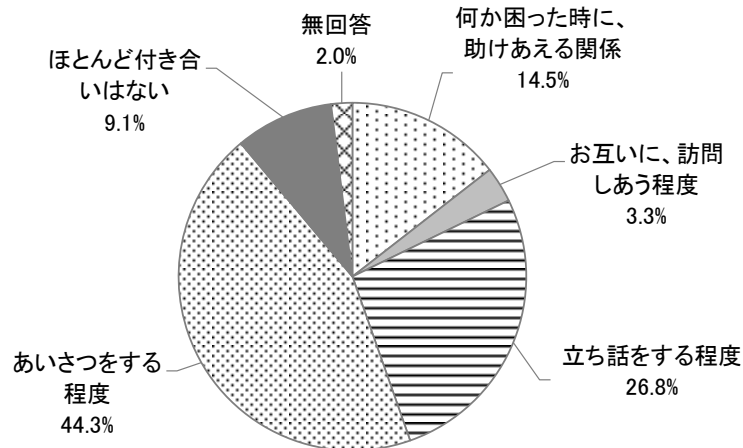


2 地域とのつながりや地域活動について

① 近所とのつきあい

問7あなたは、ご近所の方との付き合いをどの程度していますか。（1つに○）

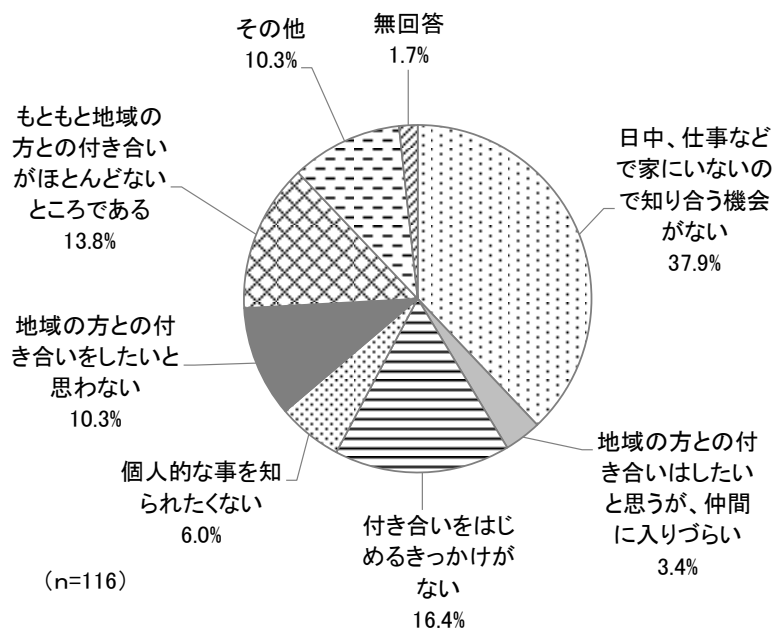
近所とのつきあいは、「あいさつをする程度」が44.3%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が26.8%となっています。



(n=1,271)

問7-1（問7で「5.ほとんど付き合いはない」とお答えの方に）その理由に最も近いものは何ですか。（1つに○）

近所付き合いがない理由は、「日中、仕事などで家にいないので知り合う機会がない」が37.9%と最も多く、次いで「付き合いをはじめるきっかけがない」が16.4%となっています。

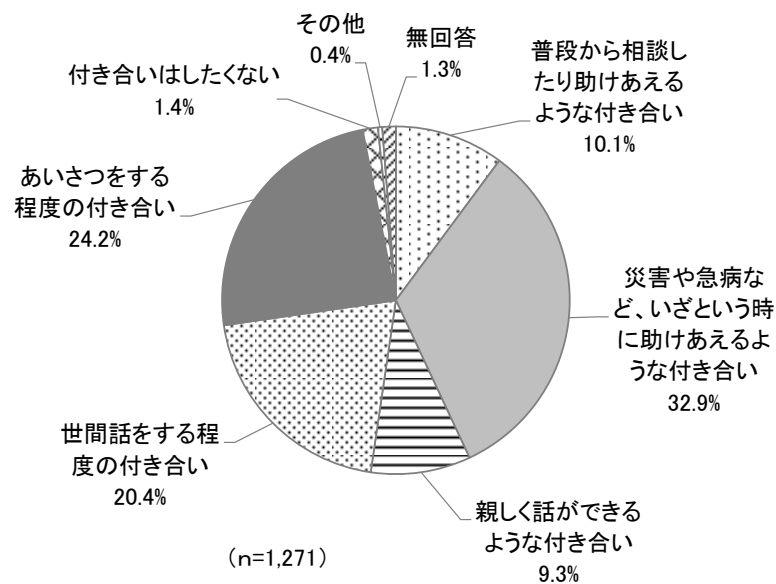


(n=116)

② 近所との付き合いの希望

問8 ご近所の方との付き合いはどの程度が望ましいと考えますか。(1つに○)

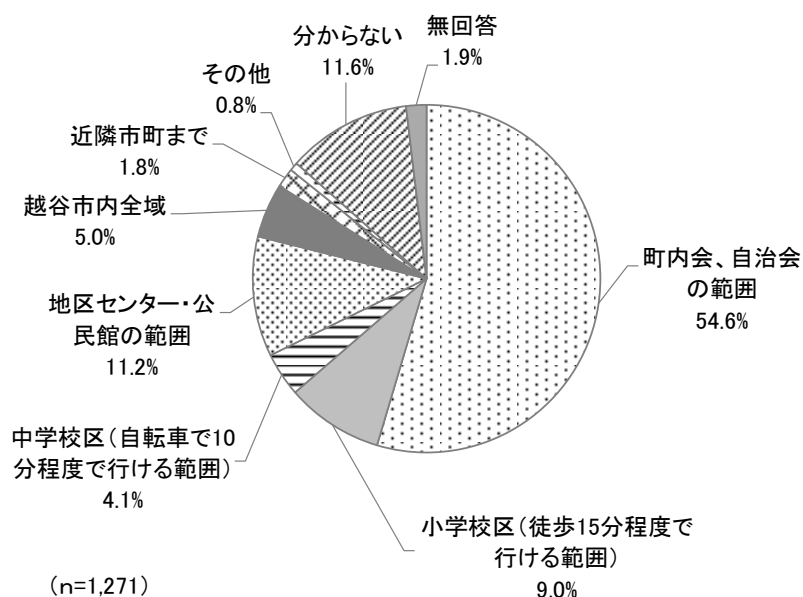
近所との付き合いの希望は、「災害や急病など、いざという時に助けあえるような付き合い」が32.9%と最も多く、次いで「あいさつをする程度の付き合い」が24.2%となっています。



③ 地域コミュニティの範囲

問9 あなたが考える、地域コミュニティの範囲はどれですか。(1つに○)

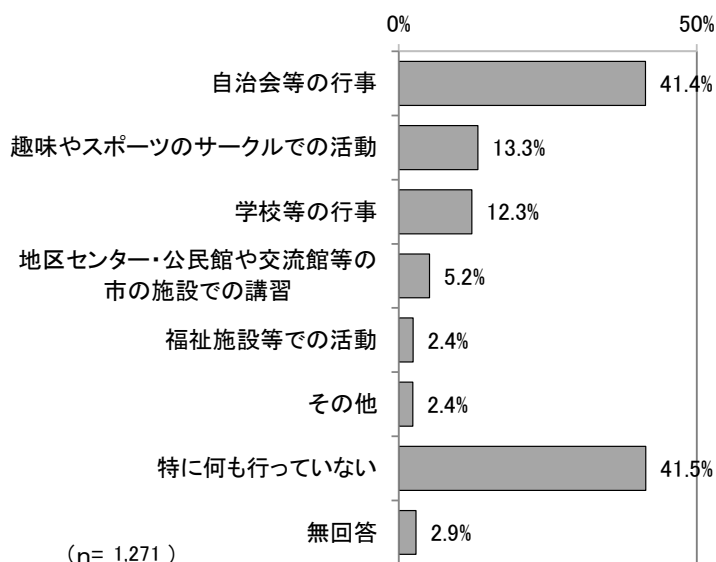
地域コミュニティの範囲は、「町内会、自治会の範囲」が54.6%と最も多く、次いで「分からない」が11.6%となっています。



④ 地域活動への参加

問10あなたは、お住まいの地域でどのような活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域活動への参加は、「特に何も行ってない」が41.5%と最も多く、次いで「自治会等の行事」が41.4%となっています。



年代別でみると、60歳代以上は「自治会等の行事」が最も多くなっています。また、10歳代は「学校等の行事」が2番目に多くなっています。

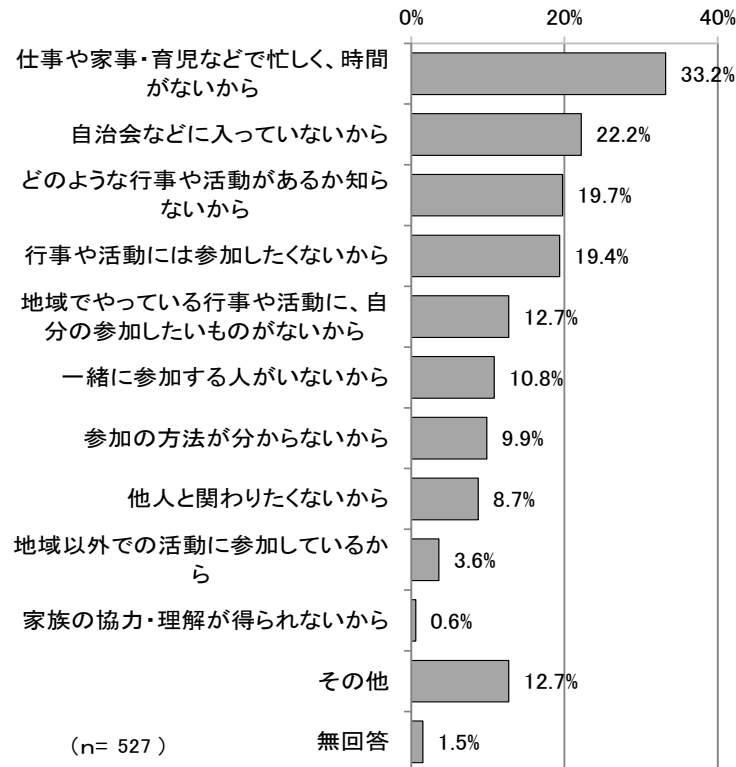
【年代別】

		回答者数	自治会等の行事	学校等の行事	福祉施設等での活動	趣味やスポーツのサークルでの活動	地区センター・公民館や交流館等の市の施設での講習	その他	特に何も行ってない	無回答
全体	人数	1,271	526	156	31	169	66	30	527	37
	構成比		41.4%	12.3%	2.4%	13.3%	5.2%	2.4%	41.5%	2.9%
10歳代	人数	43	10	17	0	3	0	0	19	0
	構成比		23.3%	39.5%	0.0%	7.0%	0.0%	0.0%	44.2%	0.0%
20歳代	人数	60	11	3	1	5	0	1	38	2
	構成比		18.3%	5.0%	1.7%	8.3%	0.0%	1.7%	63.3%	3.3%
30歳代	人数	116	34	30	1	6	4	3	63	4
	構成比		29.3%	25.9%	0.9%	5.2%	3.4%	2.6%	54.3%	3.4%
40歳代	人数	184	75	69	3	21	5	1	76	3
	構成比		40.8%	37.5%	1.6%	11.4%	2.7%	0.5%	41.3%	1.6%
50歳代	人数	236	98	31	8	20	9	4	114	2
	構成比		41.5%	13.1%	3.4%	8.5%	3.8%	1.7%	48.3%	0.8%
60歳代	人数	182	90	3	1	16	5	4	74	6
	構成比		49.5%	1.6%	0.5%	8.8%	2.7%	2.2%	40.7%	3.3%
70歳代	人数	259	128	1	11	65	30	9	81	5
	構成比		49.4%	0.4%	4.2%	25.1%	11.6%	3.5%	31.3%	1.9%
80歳以上	人数	187	79	2	6	33	13	8	61	13
	構成比		42.2%	1.1%	3.2%	17.6%	7.0%	4.3%	32.6%	7.0%
無回答	人数	4	1	0	0	0	0	0	1	2
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問10-1（問10で「7.特に何も行っていない」とお答えの方に）参加していない主な理由をお聞かせください。（〇は3つまで）

参加していない理由は、「仕事や家事・育児などで忙しく、時間がないから」が33.2%と最も多く、次いで「自治会などに入っていないから」が22.2%となっています。



年代別でみると、10歳代で「どのような行事や活動があるか知らないから」、70歳代以上で「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」が最も多くなっています（80歳以上は「自治会などに入っていないから」も同率1位）。

【年代別】

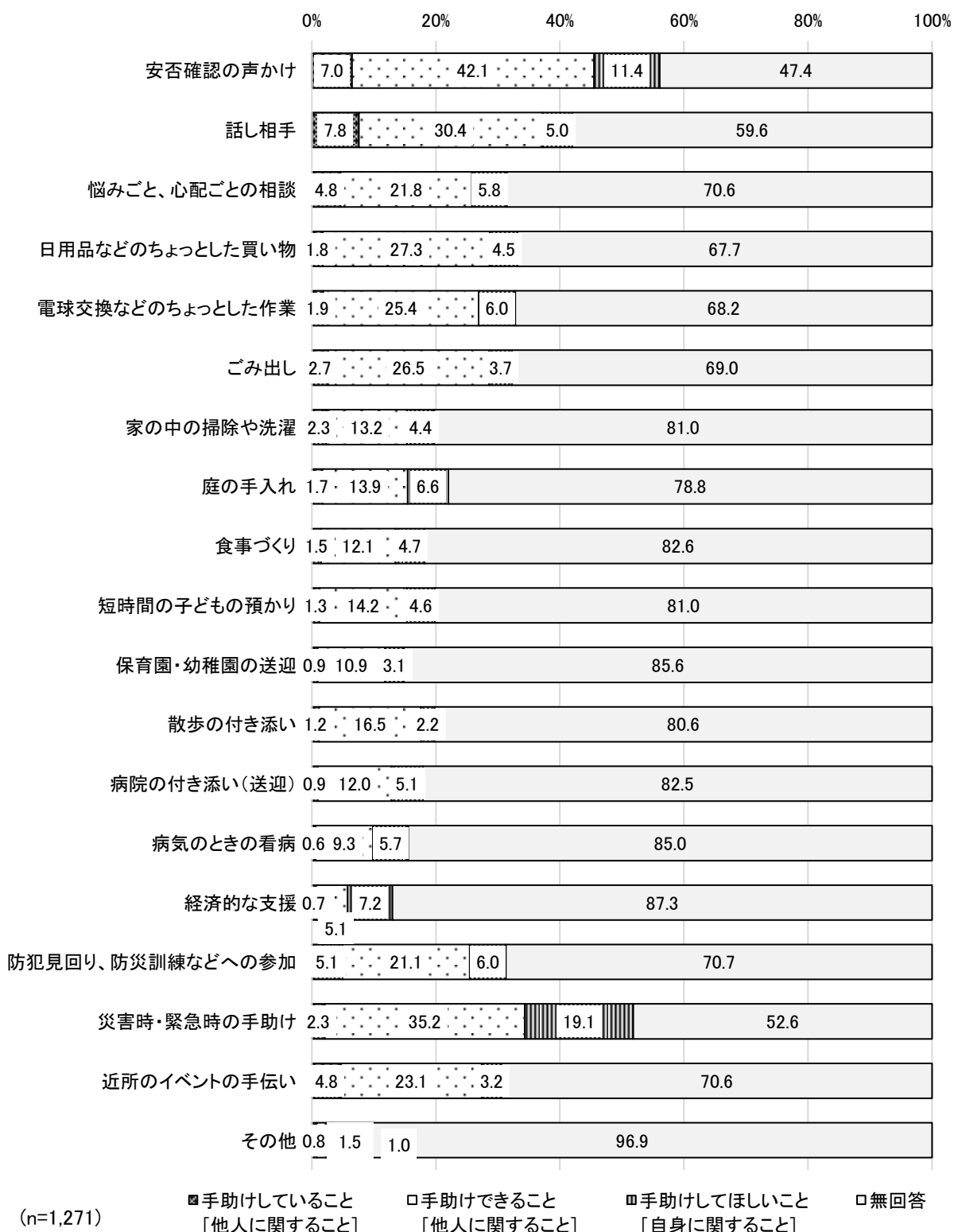
		回答者数	自治会などに入っていないから	仕事や家事・育児などで忙しく、時間がないから	一緒に参加する人がいないから	地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから	参加の方法が分からないから	家族の協力・理解が得られないから	どのような行事や活動があるか知らないから	地域以外での活動に参加しているから	他人と関わりたくないから	行事や活動には参加したくないから	その他	無回答
全体	人数	527	117	175	57	67	52	3	104	19	46	102	67	8
	構成比		22.2%	33.2%	10.8%	12.7%	9.9%	0.6%	19.7%	3.6%	8.7%	19.4%	12.7%	1.5%
10歳代	人数	19	5	4	4	1	4	0	10	1	1	4	2	0
	構成比		26.3%	21.1%	21.1%	5.3%	21.1%	0.0%	52.6%	5.3%	5.3%	21.1%	10.5%	0.0%
20歳代	人数	38	5	16	6	3	4	0	10	0	2	7	1	0
	構成比		13.2%	42.1%	15.8%	7.9%	10.5%	0.0%	26.3%	0.0%	5.3%	18.4%	2.6%	0.0%
30歳代	人数	63	15	23	7	10	8	0	13	1	9	12	7	0
	構成比		23.8%	36.5%	11.1%	15.9%	12.7%	0.0%	20.6%	1.6%	14.3%	19.0%	11.1%	0.0%
40歳代	人数	76	19	41	11	5	6	0	19	6	5	18	4	1
	構成比		25.0%	53.9%	14.5%	6.6%	7.9%	0.0%	25.0%	7.9%	6.6%	23.7%	5.3%	1.3%
50歳代	人数	114	29	47	8	17	7	1	18	1	7	23	8	0
	構成比		25.4%	41.2%	7.0%	14.9%	6.1%	0.9%	15.8%	0.9%	6.1%	20.2%	7.0%	0.0%
60歳代	人数	74	21	27	7	7	11	0	15	3	9	15	5	0
	構成比		28.4%	36.5%	9.5%	9.5%	14.9%	0.0%	20.3%	4.1%	12.2%	20.3%	6.8%	0.0%
70歳代	人数	81	14	15	9	15	9	1	14	6	11	14	12	2
	構成比		17.3%	18.5%	11.1%	18.5%	11.1%	1.2%	17.3%	7.4%	13.6%	17.3%	14.8%	2.5%
80歳以上	人数	61	9	1	5	9	3	1	5	1	2	8	27	5
	構成比		14.8%	1.6%	8.2%	14.8%	4.9%	1.6%	8.2%	1.6%	3.3%	13.1%	44.3%	8.2%
無回答	人数	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
	構成比		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

⑤ 地域での手助け

問11 あなたは、地域で困っている人に現在「手助けしていること」や、困っている人がいる場合に「手助けできること」はありますか。また、現在、あなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

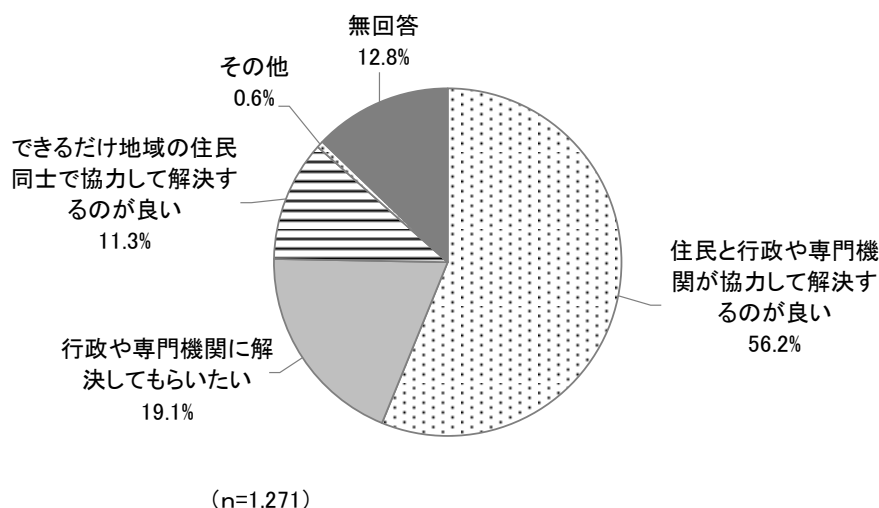
「手助けできること〔他人に関すること〕」は、「安否確認の声かけ」、「話し相手」、「災害時・緊急時の手助け」において30%以上となっています。また、「手助けしてほしいこと〔自身に関すること〕」は、「安否確認の声かけ」、「災害時・緊急時の手助け」が10%以上となっています。



⑥ 地域の問題の解決方法

問1 2地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(1つに○)

地域の問題の解決方法は、「住民と行政や専門機関が協力して解決するのが良い」が56.2%と最も多く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」が19.1%となっています。



年代別でみると、70歳代以上は「できるだけ地域の住民同士で協力して解決するのが良い」が2番目に多くなっています。

【年代別】

		回答者数	住民と行政や専門機関が協力して解決するのが良い	行政や専門機関に解決してもらいたい	できるだけ地域の住民同士で協力して解決するのが良い	その他	無回答
全体	人数	1,271	714	243	143	8	163
	構成比		56.2%	19.1%	11.3%	0.6%	12.8%
10歳代	人数	43	18	10	5	0	10
	構成比		41.9%	23.3%	11.6%	0.0%	23.3%
20歳代	人数	60	29	14	9	0	8
	構成比		48.3%	23.3%	15.0%	0.0%	13.3%
30歳代	人数	116	59	24	7	2	24
	構成比		50.9%	20.7%	6.0%	1.7%	20.7%
40歳代	人数	184	99	45	11	1	28
	構成比		53.8%	24.5%	6.0%	0.5%	15.2%
50歳代	人数	236	145	49	18	0	24
	構成比		61.4%	20.8%	7.6%	0.0%	10.2%
60歳代	人数	182	115	39	13	0	15
	構成比		63.2%	21.4%	7.1%	0.0%	8.2%
70歳代	人数	259	154	35	44	2	24
	構成比		59.5%	13.5%	17.0%	0.8%	9.3%
80歳以上	人数	187	93	27	36	3	28
	構成比		49.7%	14.4%	19.3%	1.6%	15.0%
無回答	人数	4	2	0	0	0	2
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

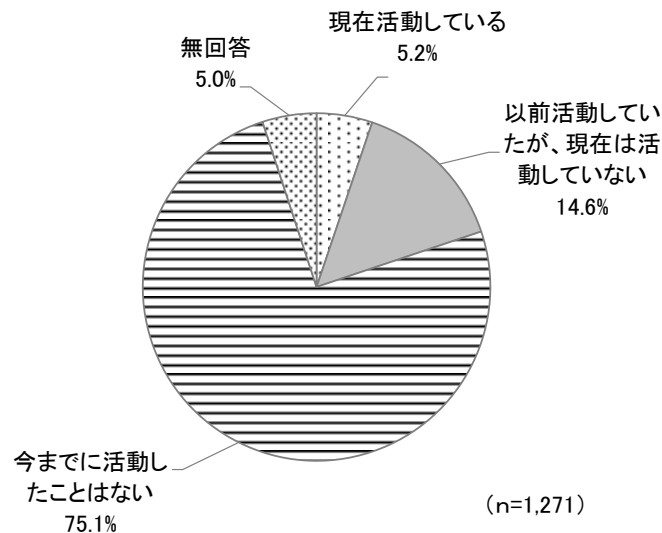
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

3 ボランティア・NPO 活動について

① ボランティアや NPO 活動の経験

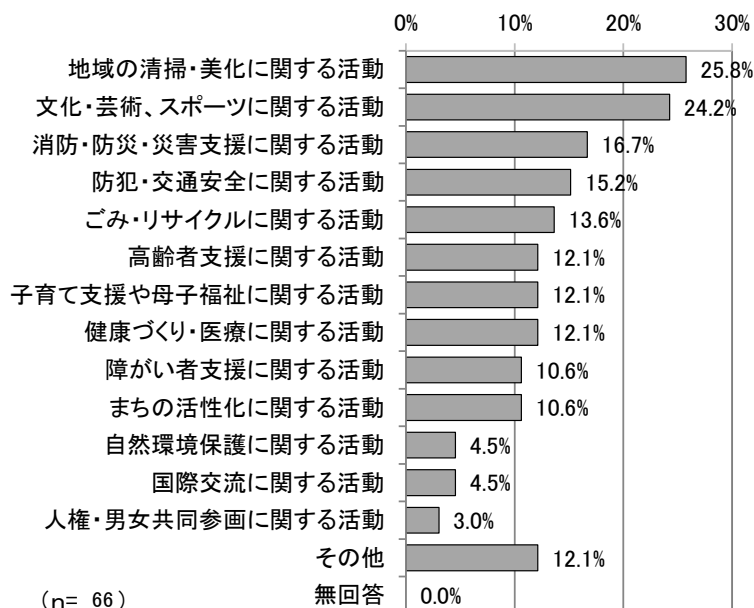
問13 これまでにボランティアやNPOで活動したことがありますか。(1つに○)

ボランティアや NPO 活動の経験は、「今までに活動したことはない」が 75.1%と最も多く、次いで「以前活動していたが、現在は活動していない」が 14.6%となっています。



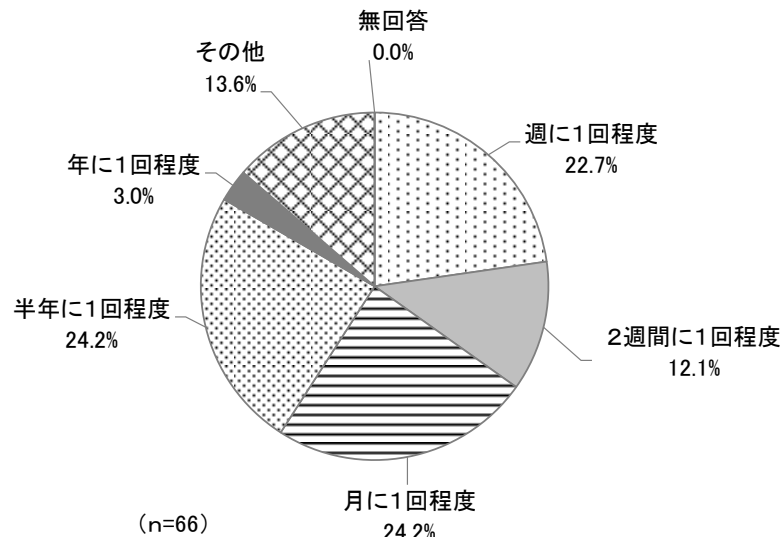
問13-1 (問13で「1. 現在活動している」とお答えの方に) 現在どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

現在している活動は、「地域の清掃・美化に関する活動」が 25.8%と最も多く、次いで「文化・芸術、スポーツに関する活動」が 24.2%となっています。



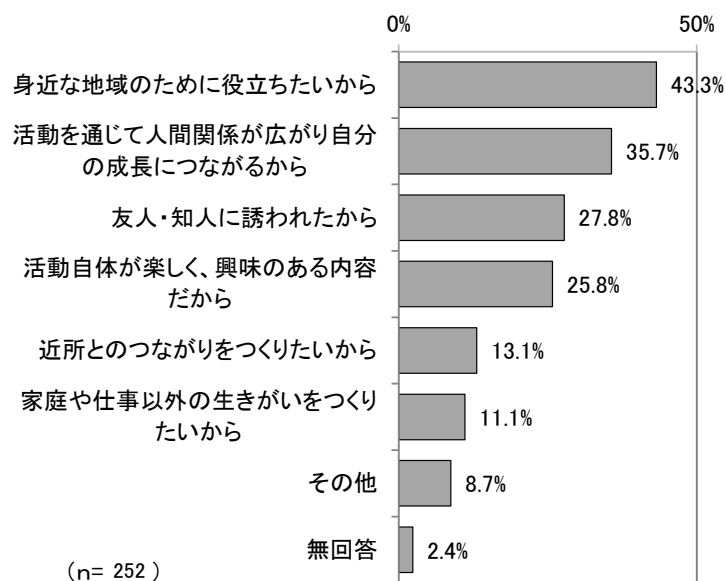
問13-2（問13で「1. 現在活動している」とお答えの方に）どれくらいの頻度で活動していますか。（1つに○）

活動頻度は、「月に1回程度」と「半年に1回程度」がそれぞれ24.2%と最も多くなっています。



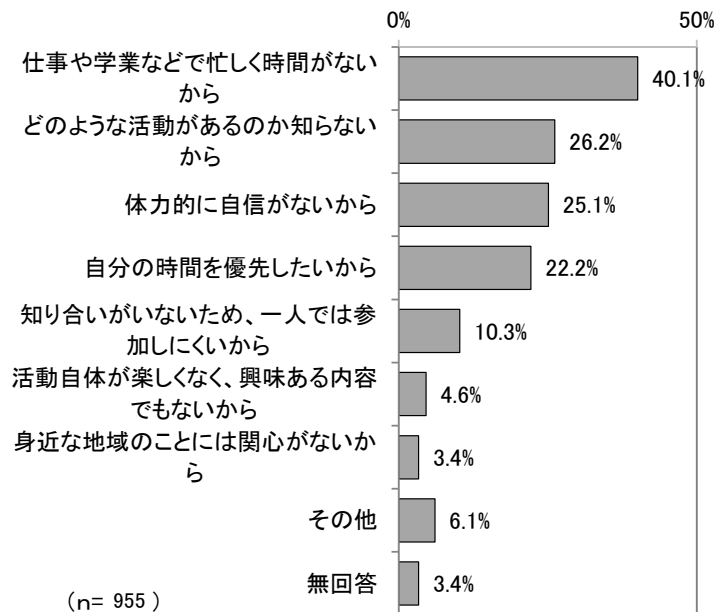
問13-3（問13で「1. 現在活動している」、または「2. 以前活動していたが、現在は活動していない」とお答えの方に）ボランティア活動やNPO活動に参加している（していた）主な理由は何ですか。（○は3つまで）

ボランティア活動やNPO活動に参加している主な理由は、「身近な地域のために役立ちたいから」が43.3%と最も多く、次いで「活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから」が35.7%となっています。



問13-4（問13で「3. 今までに活動したことはない」とお答えの方に）あなたがボランティア活動やNPO活動に参加していない主な理由をお聞かせください。（〇は2つまで）

ボランティア活動やNPO活動に参加していない主な理由は、「仕事や学業などで忙しく時間がないから」が40.1%と最も多く、次いで「どのような活動があるのか知らないから」が26.2%となっています。



年代別でみると、70歳代以上は「体力的に自信がないから」が最も多くなっています。

【年代別】

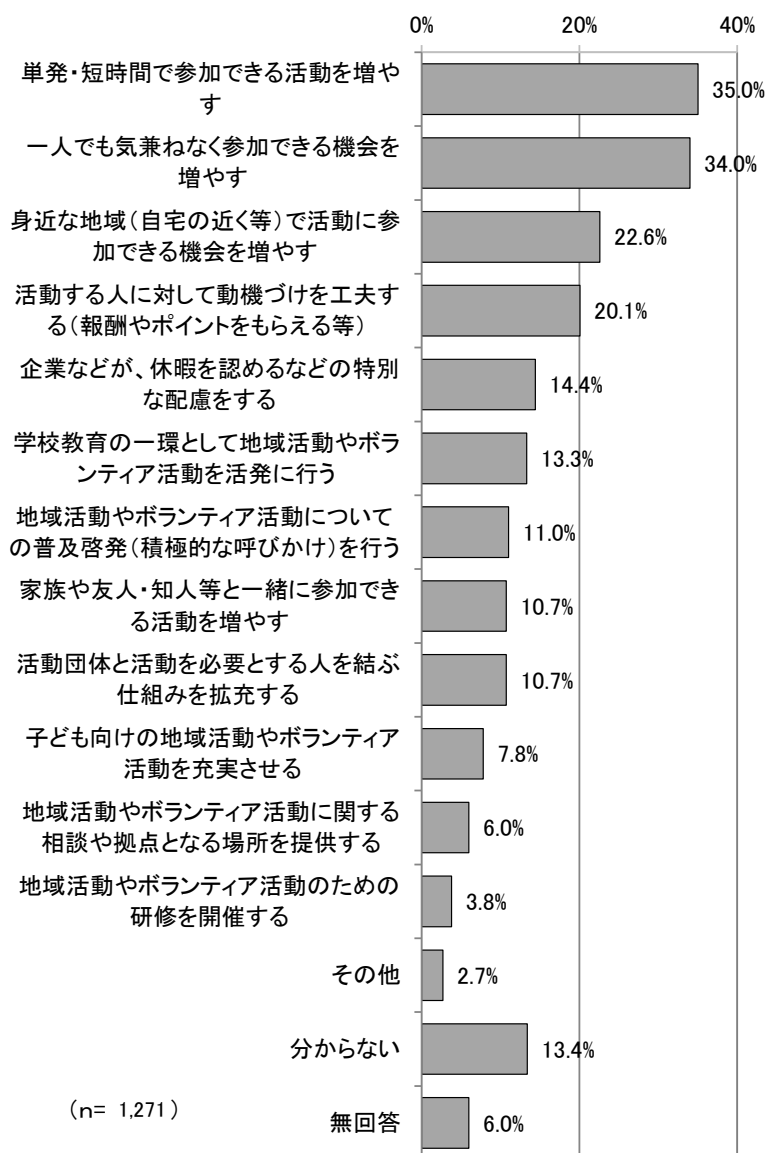
		回答者数	活動自体が楽しくなく、興味ある内容でもないから	身近な地域のことに興味がないから	仕事や学業などで忙しく時間がないから	どのような活動があるのか知らないから	体力的に自信がないから	自分の時間を優先したいから	知り合いがいないため、一人では参加しにくいから	その他	無回答
全体	人数	955	44	32	383	250	240	212	98	58	32
	構成比		4.6%	3.4%	40.1%	26.2%	25.1%	22.2%	10.3%	6.1%	3.4%
10歳代	人数	31	0	2	17	9	0	5	5	0	1
	構成比		0.0%	6.5%	54.8%	29.0%	0.0%	16.1%	16.1%	0.0%	3.2%
20歳代	人数	44	6	6	20	7	3	18	2	1	0
	構成比		13.6%	13.6%	45.5%	15.9%	6.8%	40.9%	4.5%	2.3%	0.0%
30歳代	人数	86	6	3	47	19	9	29	7	4	2
	構成比		7.0%	3.5%	54.7%	22.1%	10.5%	33.7%	8.1%	4.7%	2.3%
40歳代	人数	151	9	4	98	38	17	38	12	3	3
	構成比		6.0%	2.6%	64.9%	25.2%	11.3%	25.2%	7.9%	2.0%	2.0%
50歳代	人数	199	8	8	108	56	29	43	24	9	3
	構成比		4.0%	4.0%	54.3%	28.1%	14.6%	21.6%	12.1%	4.5%	1.5%
60歳代	人数	143	6	6	55	47	37	28	17	9	5
	構成比		4.2%	4.2%	38.5%	32.9%	25.9%	19.6%	11.9%	6.3%	3.5%
70歳代	人数	178	5	2	31	50	83	37	17	15	8
	構成比		2.8%	1.1%	17.4%	28.1%	46.6%	20.8%	9.6%	8.4%	4.5%
80歳以上	人数	121	4	1	6	23	62	13	14	17	10
	構成比		3.3%	0.8%	5.0%	19.0%	51.2%	10.7%	11.6%	14.0%	8.3%
無回答	人数	2	0	0	1	1	0	1	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと

問14 ボランティア活動・NPO活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

ボランティアやNPO活動を広げるためには、「単発・短時間で参加できる活動を増やす」が35.0%と最も多く、次いで「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」が34.0%となっています。



年代別でみると、10 歳代で「学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う」、20 歳代で「活動する人に対して動機づけを工夫する（報酬やポイントをもらえる等）、50 歳代、70 歳代、80 歳以上で「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」が最も多くなっています。

【年代別】

		回答者数	単発・短時間で参加できる活動を増やす	活動する人に対して動機づけを工夫する（報酬やポイントをもらえる等）	身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす	一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす	家族や友人・知人等と一緒に参加できる活動を増やす	企業などが、休暇を認めるなどの特別な配慮をする	学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う	子ども向けの地域活動やボランティア活動を充実させる	地域活動やボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する	地域活動やボランティア活動のための研修を開催する	活動団体と活動必要とする人を結びつめを拡充する	地域活動やボランティア活動についての普及啓発（積極的な呼びかけ）を行う	その他	分からない	無回答
全体	人数	1,271	445	255	287	432	136	183	169	99	76	48	136	140	34	170	76
	構成比		35.0%	20.1%	22.6%	34.0%	10.7%	14.4%	13.3%	7.8%	6.0%	3.8%	10.7%	11.0%	2.7%	13.4%	6.0%
10歳代	人数	43	11	12	7	10	8	2	14	6	0	1	2	4	0	6	0
	構成比		25.6%	27.9%	16.3%	23.3%	18.6%	4.7%	32.6%	14.0%	0.0%	2.3%	4.7%	9.3%	0.0%	14.0%	0.0%
20歳代	人数	60	14	24	7	17	9	16	4	5	4	1	3	4	2	7	2
	構成比		23.3%	40.0%	11.7%	28.3%	15.0%	26.7%	6.7%	8.3%	6.7%	1.7%	5.0%	6.7%	3.3%	11.7%	3.3%
30歳代	人数	116	41	40	20	31	15	27	14	17	0	2	8	5	5	15	2
	構成比		35.3%	34.5%	17.2%	26.7%	12.9%	23.3%	12.1%	14.7%	0.0%	1.7%	6.9%	4.3%	4.3%	12.9%	1.7%
40歳代	人数	184	85	54	31	59	13	50	22	25	7	3	24	13	7	19	3
	構成比		46.2%	29.3%	16.8%	32.1%	7.1%	27.2%	12.0%	13.6%	3.8%	1.6%	13.0%	7.1%	3.8%	10.3%	1.6%
50歳代	人数	236	92	55	47	94	27	38	34	19	17	3	26	25	5	31	3
	構成比		39.0%	23.3%	19.9%	39.8%	11.4%	16.1%	14.4%	8.1%	7.2%	1.3%	11.0%	10.6%	2.1%	13.1%	1.3%
60歳代	人数	182	77	28	45	68	16	27	24	10	20	14	25	29	8	21	4
	構成比		42.3%	15.4%	24.7%	37.4%	8.8%	14.8%	13.2%	5.5%	11.0%	7.7%	13.7%	15.9%	4.4%	11.5%	2.2%
70歳代	人数	259	88	27	81	101	27	17	38	9	22	16	35	41	4	31	20
	構成比		34.0%	10.4%	31.3%	39.0%	10.4%	6.6%	14.7%	3.5%	8.5%	6.2%	13.5%	15.8%	1.5%	12.0%	7.7%
80歳以上	人数	187	35	15	49	52	21	5	19	7	6	8	13	18	3	40	40
	構成比		18.7%	8.0%	26.2%	27.8%	11.2%	2.7%	10.2%	3.7%	3.2%	4.3%	7.0%	9.6%	1.6%	21.4%	21.4%
無回答	人数	4	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%

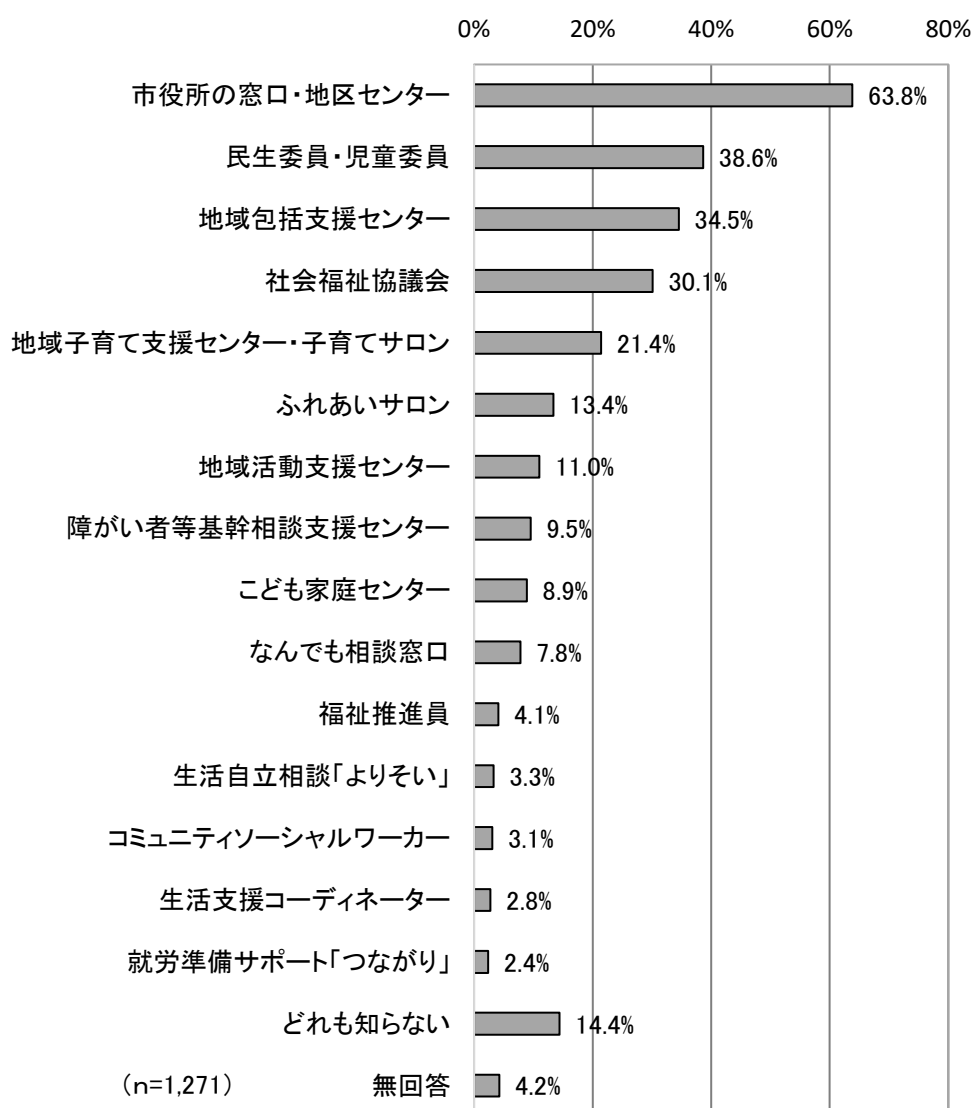
1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

4 地域生活における不安や悩み・相談窓口に関して

① 地域福祉の拠点や組織の認知度

問15あなたは、次のような地域福祉の拠点や組織を知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

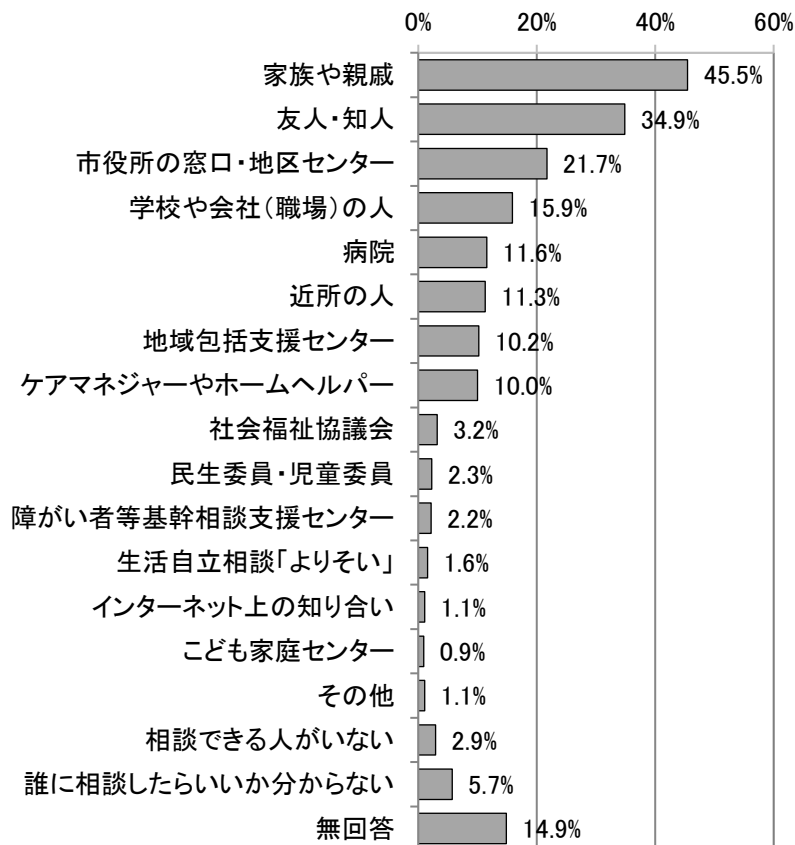
地域福祉の拠点や組織の認知度は、「市役所の窓口・地区センター」が63.8%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が38.6%となっています。



② 相談先

問16 日常生活で困ったことがあった際に、実際に相談したことがある人（もしくは窓口等）は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

相談先は、「家族や親戚」が45.5%と最も多く、次いで「友人・知人」が34.9%となっています。



(n= 1,271)

年代別でみると、20 歳代は「友人・知人」が最も多くなっています。また、70 歳代は「市役所の窓口・地区センター」、80 歳代以上は「ケアマネジャーやホームヘルパー」が 2 番目に多くなっています。

【年代別】

		回答者数	市役所の 窓口・地 区セン ター	社会福祉 協議会	民生委 員・児童 委員	地域包括 支援セン ター	障がい者 等基幹相 談支援セ ンター	こども家 庭セン ター	生活自立 相談「より そい」	家族や親 戚	学校や会 社(職場) の人
全体	人数	1,271	276	41	29	130	28	12	20	578	202
	構成比		21.7%	3.2%	2.3%	10.2%	2.2%	0.9%	1.6%	45.5%	15.9%
10歳代	人数	43	1	0	0	0	0	0	0	27	12
	構成比		2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.8%	27.9%
20歳代	人数	60	8	0	0	1	2	0	1	30	16
	構成比		13.3%	0.0%	0.0%	1.7%	3.3%	0.0%	1.7%	50.0%	26.7%
30歳代	人数	116	25	3	2	2	3	3	2	66	45
	構成比		21.6%	2.6%	1.7%	1.7%	2.6%	2.6%	1.7%	56.9%	38.8%
40歳代	人数	184	38	6	1	13	5	8	2	99	48
	構成比		20.7%	3.3%	0.5%	7.1%	2.7%	4.3%	1.1%	53.8%	26.1%
50歳代	人数	236	63	11	2	18	5	0	7	126	53
	構成比		26.7%	4.7%	0.8%	7.6%	2.1%	0.0%	3.0%	53.4%	22.5%
60歳代	人数	182	40	7	4	25	2	1	2	84	23
	構成比		22.0%	3.8%	2.2%	13.7%	1.1%	0.5%	1.1%	46.2%	12.6%
70歳代	人数	259	69	8	10	40	6	0	4	92	4
	構成比		26.6%	3.1%	3.9%	15.4%	2.3%	0.0%	1.5%	35.5%	1.5%
80歳以上	人数	187	31	6	10	31	5	0	2	53	1
	構成比		16.6%	3.2%	5.3%	16.6%	2.7%	0.0%	1.1%	28.3%	0.5%
無回答	人数	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%

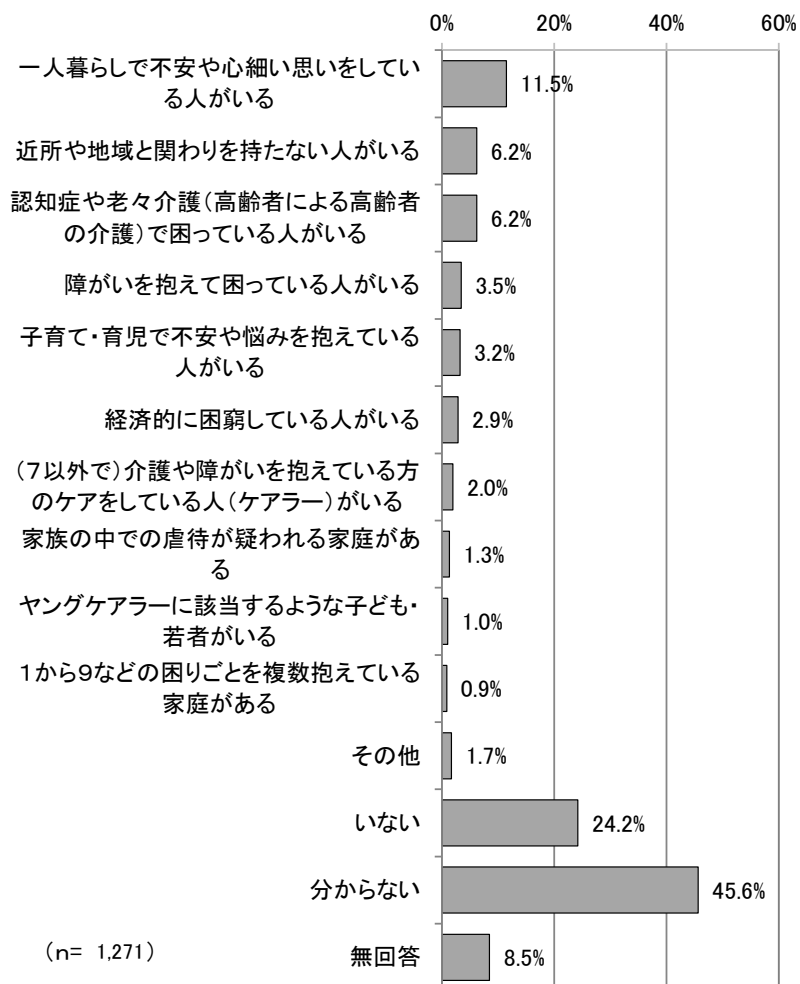
		近所の人	友人・知 人	ケアマネ ジャーや ホームヘ ルパー	病院	インター ネット上 の知り合 い	その他	相談でき る人がい ない	誰に相談 したらいい かわからない	無回答
全体	人数	144	443	127	147	14	14	37	73	189
	構成比	11.3%	34.9%	10.0%	11.6%	1.1%	1.1%	2.9%	5.7%	14.9%
10歳代	人数	0	23	0	2	0	0	3	7	2
	構成比	0.0%	53.5%	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	7.0%	16.3%	4.7%
20歳代	人数	0	33	1	4	0	0	5	4	6
	構成比	0.0%	55.0%	1.7%	6.7%	0.0%	0.0%	8.3%	6.7%	10.0%
30歳代	人数	6	63	2	15	5	1	5	12	8
	構成比	5.2%	54.3%	1.7%	12.9%	4.3%	0.9%	4.3%	10.3%	6.9%
40歳代	人数	20	81	10	20	7	1	3	12	22
	構成比	10.9%	44.0%	5.4%	10.9%	3.8%	0.5%	1.6%	6.5%	12.0%
50歳代	人数	33	90	28	31	2	2	3	8	17
	構成比	14.0%	38.1%	11.9%	13.1%	0.8%	0.8%	1.3%	3.4%	7.2%
60歳代	人数	19	59	24	24	0	1	5	11	30
	構成比	10.4%	32.4%	13.2%	13.2%	0.0%	0.5%	2.7%	6.0%	16.5%
70歳代	人数	38	68	30	29	0	5	7	9	52
	構成比	14.7%	26.3%	11.6%	11.2%	0.0%	1.9%	2.7%	3.5%	20.1%
80歳以上	人数	28	26	32	22	0	4	6	10	50
	構成比	15.0%	13.9%	17.1%	11.8%	0.0%	2.1%	3.2%	5.3%	26.7%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

③ 身近な支援者

問17 あなた自身も含め、現在お住まいの地域で、気にかかる人（支援が必要そうな人）はいいますか。（あてはまるものすべてに○）

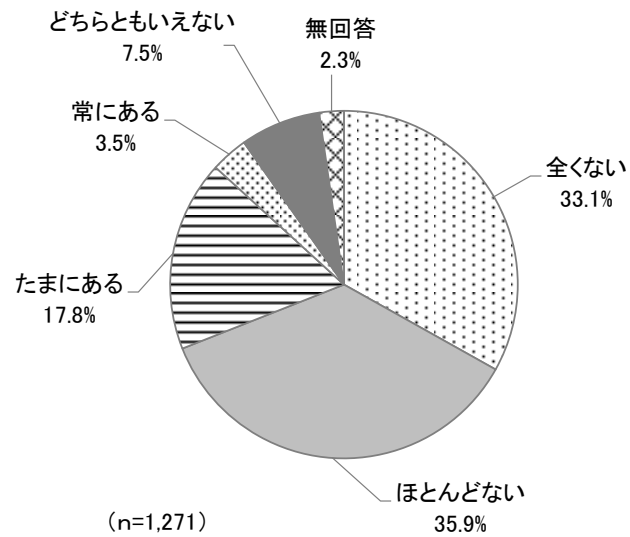
身近な支援者は、「分からない」が45.6%と最も多く、次いで「いない」が24.2%となっています。



④ 孤独や孤立の状況

問18あなたは普段の生活の中で、孤独や孤立を感じることはありますか。(1つに○)

孤独や孤立を感じることは、「ほとんどない」が35.9%と最も多く、次いで「全くない」が33.1%となっています。



年代別でみると、10 歳代、40 歳代は「全くない」が最も多くなっています。また、『ある』（「たまにある」と「常にある」の合計）の割合が最も高いのは 80 歳以上、最も低いのは 50 歳代となっています。

【年代別】

		回答者数	全くない	ほとんどない	たまにある	常にある	どちらともいえない	無回答
全体	人数	1,271	421	456	226	44	95	29
	構成比		33.1%	35.9%	17.8%	3.5%	7.5%	2.3%
10歳代	人数	43	17	15	10	0	1	0
	構成比		39.5%	34.9%	23.3%	0.0%	2.3%	0.0%
20歳代	人数	60	18	19	14	2	6	1
	構成比		30.0%	31.7%	23.3%	3.3%	10.0%	1.7%
30歳代	人数	116	37	43	21	3	11	1
	構成比		31.9%	37.1%	18.1%	2.6%	9.5%	0.9%
40歳代	人数	184	75	57	32	2	16	2
	構成比		40.8%	31.0%	17.4%	1.1%	8.7%	1.1%
50歳代	人数	236	82	91	32	6	23	2
	構成比		34.7%	38.6%	13.6%	2.5%	9.7%	0.8%
60歳代	人数	182	60	70	32	6	10	4
	構成比		33.0%	38.5%	17.6%	3.3%	5.5%	2.2%
70歳代	人数	259	84	102	43	10	15	5
	構成比		32.4%	39.4%	16.6%	3.9%	5.8%	1.9%
80歳以上	人数	187	47	58	42	15	13	12
	構成比		25.1%	31.0%	22.5%	8.0%	7.0%	6.4%
無回答	人数	4	1	1	0	0	0	2
	構成比		25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

世帯構成別でみると、単身は「たまにある」が最も多く、『ある』（「たまにある」と「常にある」の合計）の割合も約 44%となっています。

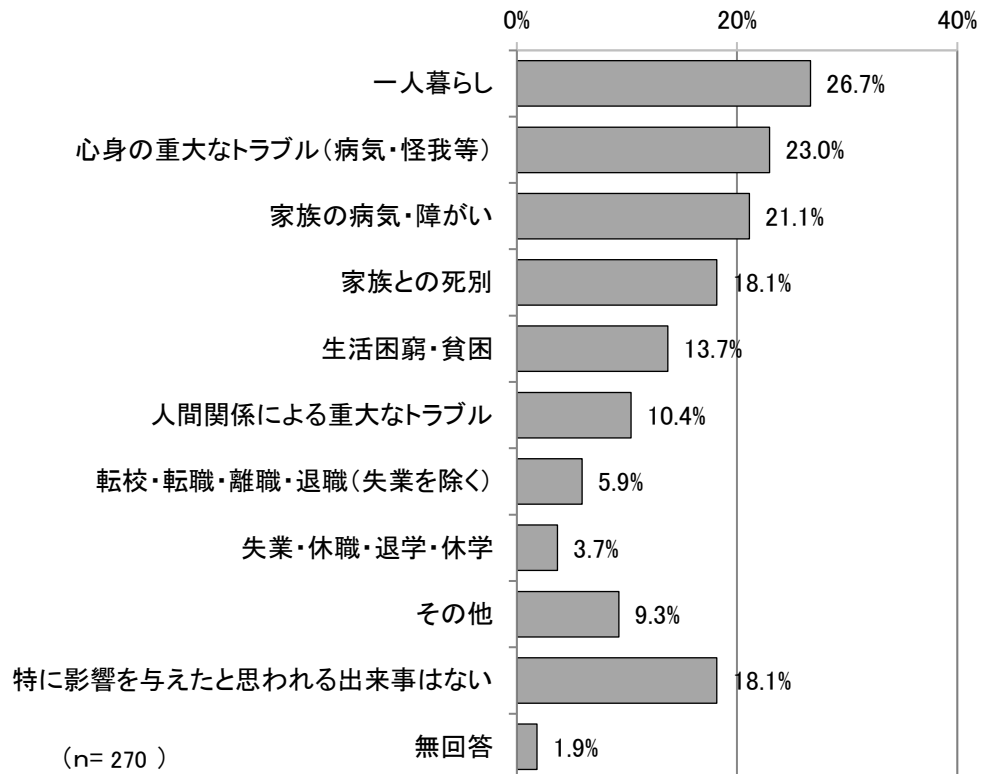
【世帯構成別】

		回答者数	全くない	ほとんどない	たまにある	常にある	どちらともいえない	無回答
全体	人数	1,271	421	456	226	44	95	29
	構成比		33.1%	35.9%	17.8%	3.5%	7.5%	2.3%
単身	人数	171	32	42	56	20	11	10
	構成比		18.7%	24.6%	32.7%	11.7%	6.4%	5.8%
一世代世帯(夫婦のみ・兄弟姉妹)	人数	393	136	158	59	9	28	3
	構成比		34.6%	40.2%	15.0%	2.3%	7.1%	0.8%
二世帯世帯(親と子)	人数	601	212	229	91	11	48	10
	構成比		35.3%	38.1%	15.1%	1.8%	8.0%	1.7%
三世帯世帯(親と子と孫)	人数	77	37	20	11	3	5	1
	構成比		48.1%	26.0%	14.3%	3.9%	6.5%	1.3%
その他	人数	22	4	5	7	1	3	2
	構成比		18.2%	22.7%	31.8%	4.5%	13.6%	9.1%
無回答	人数	7	0	2	2	0	0	3
	構成比		0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問18-1（問18で「3. たまにある」「4. 常にある」とお答えの方に）孤独や孤立を感じる要因として考えられるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

孤独や孤立を感じる要因は、「一人暮らし」が26.7%と最も多く、次いで「心身の重大なトラブル（病気・怪我等）」が23.0%となっています。



年代別でみると、40 歳代以下は「特に影響を与えたと思われる出来事はない」が最も多くなっています（20 歳代は「人間関係による重大なトラブル」も同率 1 位）。

【年代別】

		回答者数	家族との死別	一人暮らし	心身の重大なトラブル(病気・怪我等)	転校・転職・離職・退職(失業を除く)	人間関係による重大なトラブル	家族の病気・障がい	生活困窮・貧困	失業・休職・退学・休学	その他	特に影響を与えたと思われる出来事はない	無回答
全体	人数	270	49	72	62	16	28	57	37	10	25	49	5
	構成比		18.1%	26.7%	23.0%	5.9%	10.4%	21.1%	13.7%	3.7%	9.3%	18.1%	1.9%
10歳代	人数	10	0	0	1	0	1	0	0	0	2	6	0
	構成比		0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%
20歳代	人数	16	1	3	2	0	4	1	1	0	1	4	0
	構成比		6.3%	18.8%	12.5%	0.0%	25.0%	6.3%	6.3%	0.0%	6.3%	25.0%	0.0%
30歳代	人数	24	0	6	2	4	5	3	5	2	1	7	0
	構成比		0.0%	25.0%	8.3%	16.7%	20.8%	12.5%	20.8%	8.3%	4.2%	29.2%	0.0%
40歳代	人数	34	4	2	2	2	2	4	2	0	5	13	0
	構成比		11.8%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	14.7%	38.2%	0.0%
50歳代	人数	38	6	6	8	4	11	12	8	3	2	5	1
	構成比		15.8%	15.8%	21.1%	10.5%	28.9%	31.6%	21.1%	7.9%	5.3%	13.2%	2.6%
60歳代	人数	38	9	12	9	5	2	9	11	4	4	4	0
	構成比		23.7%	31.6%	23.7%	13.2%	5.3%	23.7%	28.9%	10.5%	10.5%	10.5%	0.0%
70歳代	人数	53	15	19	21	0	3	11	4	1	4	6	1
	構成比		28.3%	35.8%	39.6%	0.0%	5.7%	20.8%	7.5%	1.9%	7.5%	11.3%	1.9%
80歳以上	人数	57	14	24	17	1	0	17	6	0	6	4	3
	構成比		24.6%	42.1%	29.8%	1.8%	0.0%	29.8%	10.5%	0.0%	10.5%	7.0%	5.3%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

世帯構成別でみると、一世代世帯は「家族の病気・障がい」、二世代世帯および三世代世帯は「特に影響を与えたと思われる出来事はない」が最も多くなっています。

【世帯構成別】

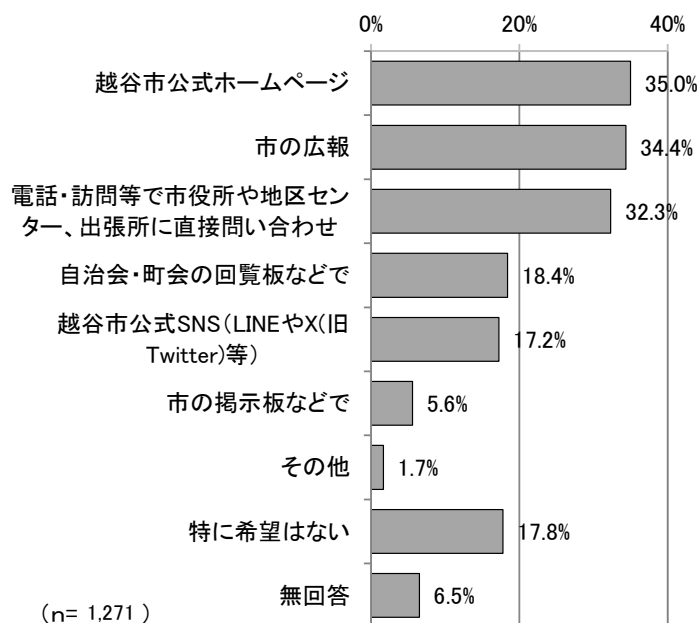
		回答者数	家族との死別	一人暮らし	心身の重大なトラブル(病気・怪我等)	転校・転職・離職・退職(失業を除く)	人間関係による重大なトラブル	家族の病気・障がい	生活困窮・貧困	失業・休職・退学・休学	その他	特に影響を与えたと思われる出来事はない	無回答
全体	人数	270	49	72	62	16	28	57	37	10	25	49	5
	構成比		18.1%	26.7%	23.0%	5.9%	10.4%	21.1%	13.7%	3.7%	9.3%	18.1%	1.9%
単身	人数	76	23	65	14	5	3	5	15	1	2	2	1
	構成比		30.3%	85.5%	18.4%	6.6%	3.9%	6.6%	19.7%	1.3%	2.6%	2.6%	1.3%
一世代世帯(夫婦のみ・兄弟姉妹)	人数	68	12	3	19	4	8	24	7	4	10	14	1
	構成比		17.6%	4.4%	27.9%	5.9%	11.8%	35.3%	10.3%	5.9%	14.7%	20.6%	1.5%
二世代世帯(親と子)	人数	102	11	2	22	7	15	25	14	5	10	27	2
	構成比		10.8%	2.0%	21.6%	6.9%	14.7%	24.5%	13.7%	4.9%	9.8%	26.5%	2.0%
三世代世帯(親と子と孫)	人数	14	2	0	4	0	1	2	1	0	1	5	0
	構成比		14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	35.7%	0.0%
その他	人数	8	1	1	3	0	1	1	0	0	2	1	0
	構成比		12.5%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
無回答	人数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

⑤ 行政からの情報・お知らせ

問19 悩みや不安、困り事を解決するための行政情報やお知らせを知るために、あなたが希望する媒体や手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

行政からの情報・お知らせを知るために希望する媒体や手段は、「越谷市公式ホームページ」が35.0%と最も多く、次いで「市の広報」が34.4%となっています。



年代別でみると、10歳代で「特に希望はない」、20歳代で「越谷市公式SNS (LINEやX(旧Twitter)等)」、60歳代以上で「市の広報」が最も多くなっています(70歳代は「電話・訪問等で市役所や地区センター、出張所に直接問い合わせ」も同率1位)。

【年代別】

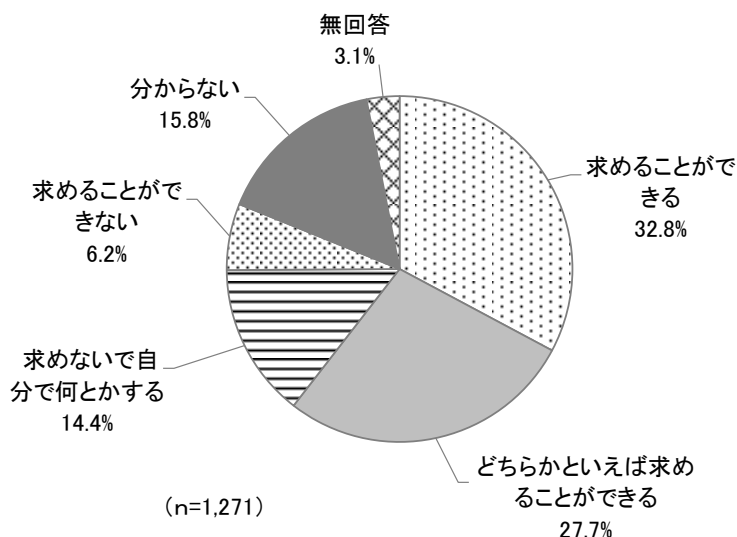
		回答者数	電話・訪問 等で市役 所や地区 センター、 出張所に 直接問い 合わせ	市の広報	市の掲 示板など で	自治会・町 会の回覧 板などで	越谷市公 式ホーム ページ	越谷市公 式SNS (LINEや X(旧 Twitter) 等)	その他	特に希望 はない	無回答
全体	人数	1,271	411	437	71	234	445	219	21	226	83
	構成比		32.3%	34.4%	5.6%	18.4%	35.0%	17.2%	1.7%	17.8%	6.5%
10歳代	人数	43	4	7	5	5	10	11	0	21	0
	構成比		9.3%	16.3%	11.6%	11.6%	23.3%	25.6%	0.0%	48.8%	0.0%
20歳代	人数	60	10	13	2	5	18	21	0	20	2
	構成比		16.7%	21.7%	3.3%	8.3%	30.0%	35.0%	0.0%	33.3%	3.3%
30歳代	人数	116	18	25	5	15	55	50	5	25	5
	構成比		15.5%	21.6%	4.3%	12.9%	47.4%	43.1%	4.3%	21.6%	4.3%
40歳代	人数	184	52	57	11	31	98	62	2	27	3
	構成比		28.3%	31.0%	6.0%	16.8%	53.3%	33.7%	1.1%	14.7%	1.6%
50歳代	人数	236	85	84	22	42	135	40	6	31	5
	構成比		36.0%	35.6%	9.3%	17.8%	57.2%	16.9%	2.5%	13.1%	2.1%
60歳代	人数	182	72	76	6	32	66	22	1	28	13
	構成比		39.6%	41.8%	3.3%	17.6%	36.3%	12.1%	0.5%	15.4%	7.1%
70歳代	人数	259	110	110	15	63	51	10	3	38	19
	構成比		42.5%	42.5%	5.8%	24.3%	19.7%	3.9%	1.2%	14.7%	7.3%
80歳以上	人数	187	59	65	5	41	11	3	4	36	34
	構成比		31.6%	34.8%	2.7%	21.9%	5.9%	1.6%	2.1%	19.3%	18.2%
無回答	人数	4	1	0	0	0	1	0	0	0	2
	構成比		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

⑥ 災害時の受援力

問20 災害時などの有事の際に誰かの助けが必要な時に、あなたは誰かを頼ったり、助けを求めたりすることができますか。(1つに○)

災害時の受援力は、「求めることができる」が32.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば求めることができる」が27.7%となっています。



性別でみると、『求めない』(「求めないで自分で何とかする」と「求めることができない」の合計)の割合は、男性が女性を約9ポイント上回っています。

【性別】

		回答者数	求めることができる	どちらかといえば求めることができる	求めないで自分で何とかする	求めることができない	分からない	無回答
全体	人数	1,271	417	352	183	79	201	39
	構成比		32.8%	27.7%	14.4%	6.2%	15.8%	3.1%
男性	人数	558	165	142	115	29	92	15
	構成比		29.6%	25.4%	20.6%	5.2%	16.5%	2.7%
女性	人数	696	247	207	67	48	106	21
	構成比		35.5%	29.7%	9.6%	6.9%	15.2%	3.0%
その他	人数	3	2	1	0	0	0	0
	構成比		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	人数	14	3	2	1	2	3	3
	構成比		21.4%	14.3%	7.1%	14.3%	21.4%	21.4%

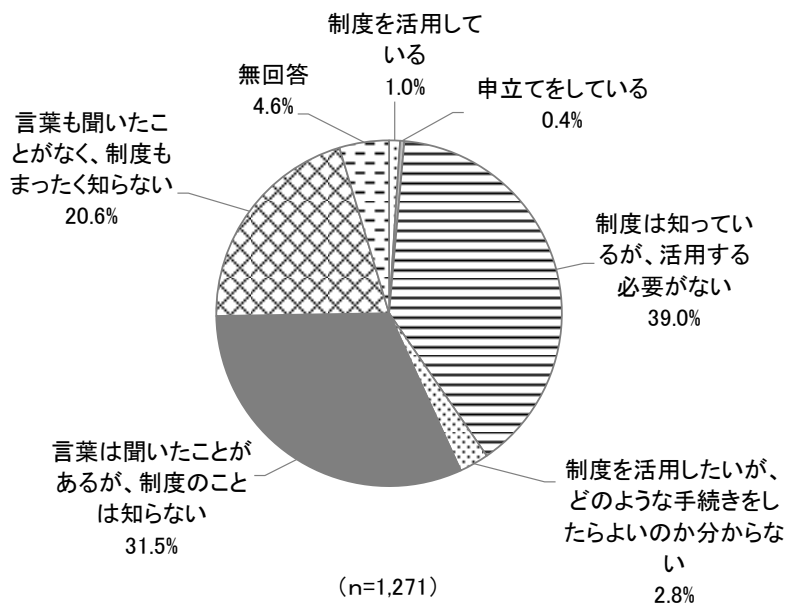
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

5 成年後見制度に関して

① 成年後見制度の認知度

問21 あなたは「成年後見制度」について知っていますか。(1つに○)

成年後見制度の認知度は、「制度は知っているが、活用する必要がない」が39.0%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」が31.5%となっています。



年代別でみると、20歳代以下は「言葉も聞いたことがなく、制度もまったく知らない」、40歳代および50歳代は「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」が最も多くなっています。

【年代別】

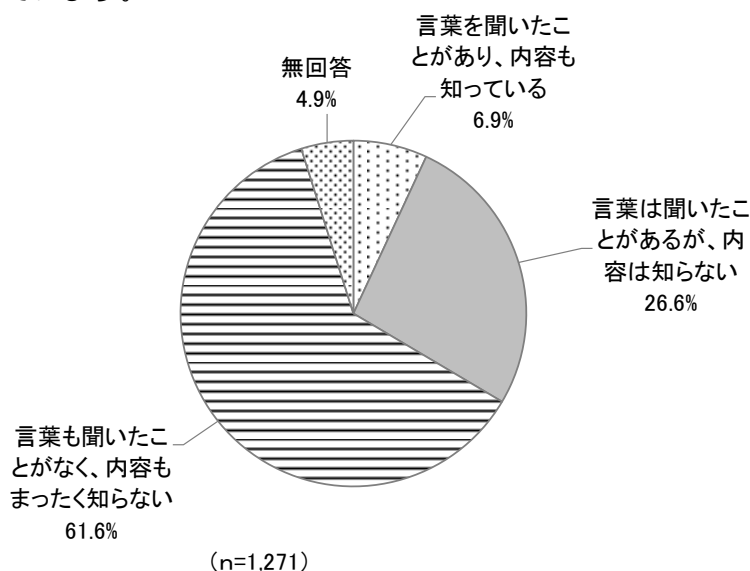
		回答者数	制度を活用している	申立てをしている	制度は知っているが、活用する必要がない	制度を活用したいが、どのような手続きをしたらよいのか分からない	言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない	言葉も聞いたことがなく、制度もまったく知らない	無回答
全体	人数	1,271	13	5	496	35	401	262	59
	構成比		1.0%	0.4%	39.0%	2.8%	31.5%	20.6%	4.6%
10歳代	人数	43	0	0	5	1	9	28	0
	構成比		0.0%	0.0%	11.6%	2.3%	20.9%	65.1%	0.0%
20歳代	人数	60	0	1	15	3	17	22	2
	構成比		0.0%	1.7%	25.0%	5.0%	28.3%	36.7%	3.3%
30歳代	人数	116	1	0	40	0	37	36	2
	構成比		0.9%	0.0%	34.5%	0.0%	31.9%	31.0%	1.7%
40歳代	人数	184	1	2	69	7	71	31	3
	構成比		0.5%	1.1%	37.5%	3.8%	38.6%	16.8%	1.6%
50歳代	人数	236	2	0	80	10	93	48	3
	構成比		0.8%	0.0%	33.9%	4.2%	39.4%	20.3%	1.3%
60歳代	人数	182	2	0	84	4	58	29	5
	構成比		1.1%	0.0%	46.2%	2.2%	31.9%	15.9%	2.7%
70歳代	人数	259	5	0	130	4	76	28	16
	構成比		1.9%	0.0%	50.2%	1.5%	29.3%	10.8%	6.2%
80歳以上	人数	187	2	2	72	6	39	40	26
	構成比		1.1%	1.1%	38.5%	3.2%	20.9%	21.4%	13.9%
無回答	人数	4	0	0	1	0	1	0	2
	構成比		0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

② 「成年後見センターこしがや」の認知度

問22あなたは、「成年後見センターこしがや」について知っていますか。(1つに○)

「成年後見センターこしがや」の認知度は、「言葉も聞いたことがなく、内容もまったく知らない」が61.6%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が26.6%となっています。



年代別でみると、すべての年代で「言葉も聞いたことがなく、内容もまったく知らない」が最も多くなっています。

【年代別】

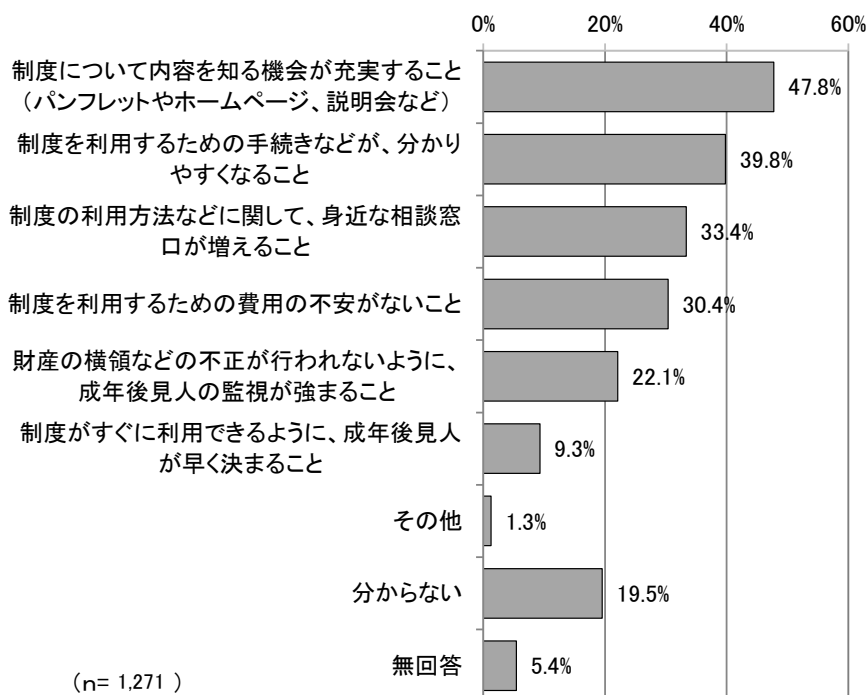
		回答者数	言葉を聞いたことがあり、内容も知っている	言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	言葉も聞いたことがなく、内容もまったく知らない	無回答
全体	人数	1,271	88	338	783	62
	構成比		6.9%	26.6%	61.6%	4.9%
10歳代	人数	43	1	3	39	0
	構成比		2.3%	7.0%	90.7%	0.0%
20歳代	人数	60	2	10	46	2
	構成比		3.3%	16.7%	76.7%	3.3%
30歳代	人数	116	3	17	95	1
	構成比		2.6%	14.7%	81.9%	0.9%
40歳代	人数	184	7	35	137	5
	構成比		3.8%	19.0%	74.5%	2.7%
50歳代	人数	236	13	61	159	3
	構成比		5.5%	25.8%	67.4%	1.3%
60歳代	人数	182	10	51	115	6
	構成比		5.5%	28.0%	63.2%	3.3%
70歳代	人数	259	35	96	110	18
	構成比		13.5%	37.1%	42.5%	6.9%
80歳以上	人数	187	17	65	80	25
	構成比		9.1%	34.8%	42.8%	13.4%
無回答	人数	4	0	0	2	2
	構成比		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

③ 成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと

問23 成年後見制度が利用しやすいものとなるために、どの様なことが必要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

成年後見制度を利用しやすくするために必要なことは、「制度について内容を知る機会が充実すること（パンフレットやホームページ、説明会など）」が47.8%と最も多く、次いで「制度を利用するための手続きなどが、分かりやすくなること」が39.8%となっています。



世帯構成別でみると、単身は「制度の利用方法などに関して、身近な相談窓口が増えること」が2番目に多くなっています。

【世帯構成別】

		回答者数	制度について内容を知る機会が充実すること (パンフレットやホームページ、説明会など)	制度の利用方法などに関して、身近な相談窓口が増えること	制度を利用するための手続きなどが、分かりやすくなること	制度がすぐに利用できるように、成年後見人が早く決まること	制度を利用するための費用の不安がないこと	財産の横領などの不正が行われないように、成年後見人の監視が強まること	その他	分からない	無回答
全体	人数	1,271	607	424	506	118	386	281	16	248	69
	構成比		47.8%	33.4%	39.8%	9.3%	30.4%	22.1%	1.3%	19.5%	5.4%
単身	人数	171	61	50	46	12	41	24	4	38	21
	構成比		35.7%	29.2%	26.9%	7.0%	24.0%	14.0%	2.3%	22.2%	12.3%
一世代世帯(夫婦のみ・兄弟姉妹)	人数	393	192	146	166	41	133	101	6	66	17
	構成比		48.9%	37.2%	42.2%	10.4%	33.8%	25.7%	1.5%	16.8%	4.3%
二世世代世帯(親と子)	人数	601	310	193	250	54	174	128	6	121	23
	構成比		51.6%	32.1%	41.6%	9.0%	29.0%	21.3%	1.0%	20.1%	3.8%
三世世代世帯(親と子と孫)	人数	77	36	26	36	6	31	22	0	15	3
	構成比		46.8%	33.8%	46.8%	7.8%	40.3%	28.6%	0.0%	19.5%	3.9%
その他	人数	22	7	7	7	5	6	5	0	6	2
	構成比		31.8%	31.8%	31.8%	22.7%	27.3%	22.7%	0.0%	27.3%	9.1%
無回答	人数	7	1	2	1	0	1	1	0	2	3
	構成比		14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	28.6%	42.9%

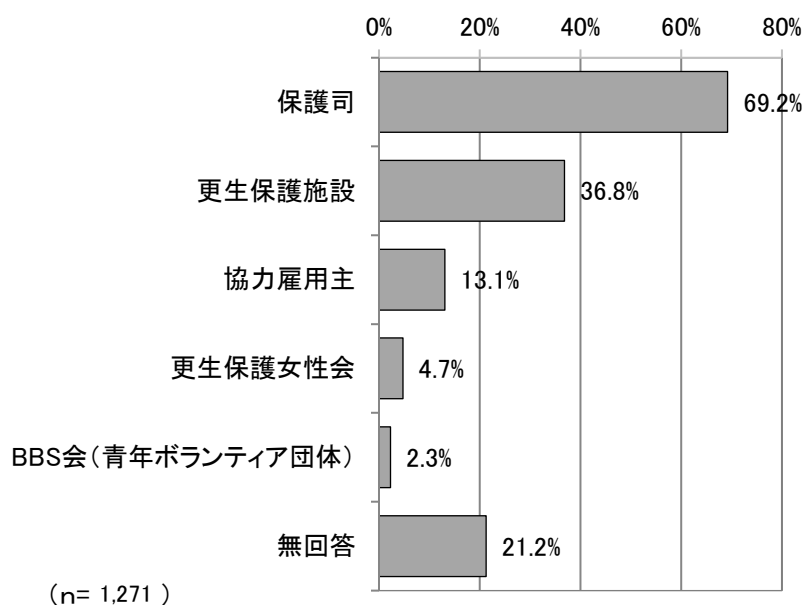
1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

6 再犯防止に関して

① 民間協力者の認知度

問24あなたは、犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすることに協力する民間協力者として次の方々がいることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

民間協力者の認知度は、「保護司」が69.2%と最も多く、次いで「更生保護施設」が36.8%となっています。



年代別でみると、10歳代は「更生保護施設」が最も多くなっています。

【年代別】

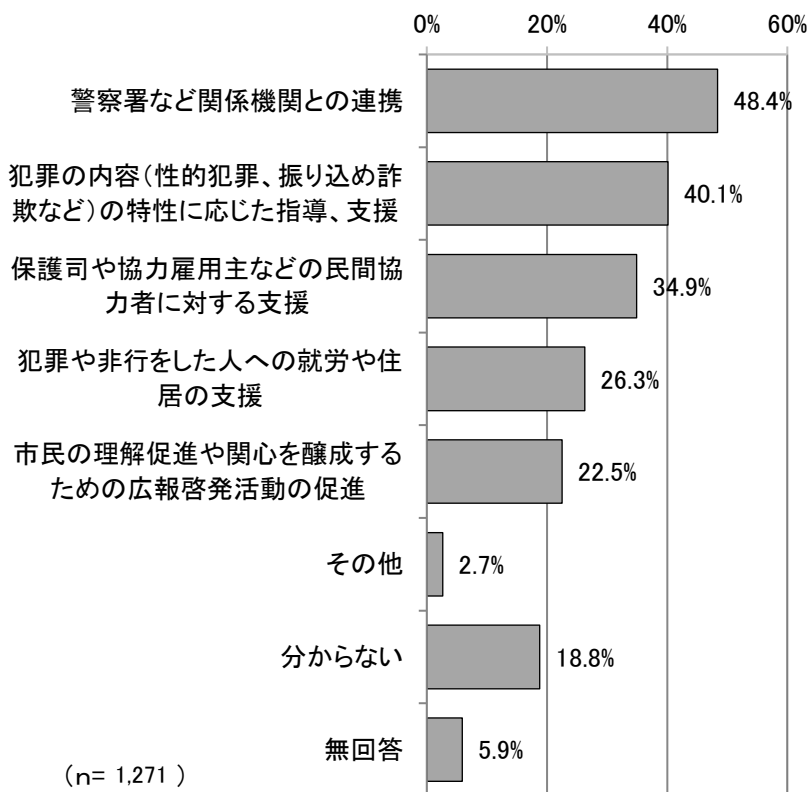
		回答者数	保護司	更生保護女性会	BBS会(青年ボランティア団体)	協力雇用主	更生保護施設	無回答
全体	人数	1,271	880	60	29	166	468	270
	構成比		69.2%	4.7%	2.3%	13.1%	36.8%	21.2%
10歳代	人数	43	16	1	3	2	21	16
	構成比		37.2%	2.3%	7.0%	4.7%	48.8%	37.2%
20歳代	人数	60	24	3	4	5	22	23
	構成比		40.0%	5.0%	6.7%	8.3%	36.7%	38.3%
30歳代	人数	116	64	7	8	12	57	33
	構成比		55.2%	6.0%	6.9%	10.3%	49.1%	28.4%
40歳代	人数	184	111	6	4	15	85	42
	構成比		60.3%	3.3%	2.2%	8.2%	46.2%	22.8%
50歳代	人数	236	174	6	3	39	102	32
	構成比		73.7%	2.5%	1.3%	16.5%	43.2%	13.6%
60歳代	人数	182	155	4	1	27	65	22
	構成比		85.2%	2.2%	0.5%	14.8%	35.7%	12.1%
70歳代	人数	259	207	20	2	50	83	45
	構成比		79.9%	7.7%	0.8%	19.3%	32.0%	17.4%
80歳以上	人数	187	127	13	4	16	33	55
	構成比		67.9%	7.0%	2.1%	8.6%	17.6%	29.4%
無回答	人数	4	2	0	0	0	0	2
	構成比		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

② 再犯防止で力を入れていくべき施策

問25 越谷市は、再犯防止に関してどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

再犯防止で力を入れていくべき施策は、「警察署など関係機関との連携」が48.4%と最も多く、次いで「犯罪の内容(性的犯罪、振り込め詐欺など)の特性に応じた指導、支援」が40.1%となっています。



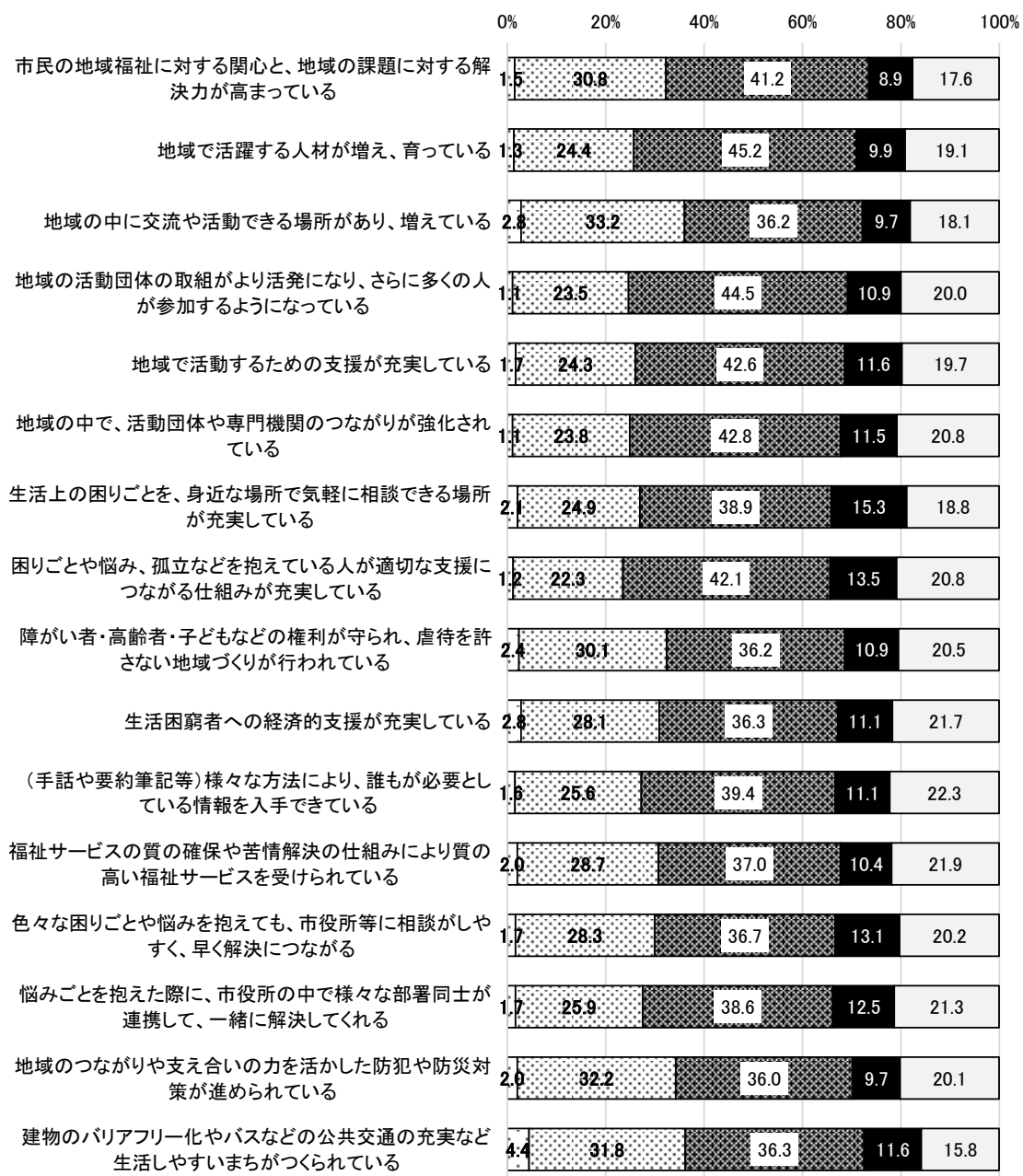
7 越谷市の地域福祉全般について

① 越谷市の地域福祉の現状について

問26 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。(項目ごとに1つ〇)

いずれの項目も「あまりできていない」が最も多くなっています。

『できている』(「できている」と「ある程度できている」の合計)が最も多いのは「建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつくられている」である一方、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「困りごとや悩み、孤立などを抱えている人が適切な支援につながる仕組みが充実している」となっています。



(n=1,271) □できている □ある程度できている ■あまりできていない ■ほとんどできていない □無回答

② 越谷市の福祉に関する意見・要望・提案

問27 越谷市の福祉についてご意見・ご要望・ご提案等がありましたら、お書きください。

(自由記述の記載内容の中から、第3次越谷市地域福祉計画の施策体系に合わせて主な意見を抜粋し、以下に整理)

●基本目標1「市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します」

<地域や地域福祉に対する関心・近所づきあい>

- ・人と人のつながりはどこまでがいいのかそれぞれ違うのでその辺の問題があると思います。年の差などもあると思います。その辺の事をうまくやってもらえたらと思います。

<地域福祉の担い手・育成>

- ・少子・高齢化が進む昨今に地域福祉には期待するところが大きいです。ほとんどの人が仕事や家事、子育て、介護と忙しく、睡眠時間を削って日々の生活をこなしていると思います。その中でなかなか地域のボランティアや近所の人を助ける等、現実的にできないのが現状です。しかし、中にはボランティアをやりたい、貢献したいという人もいるでしょうから、そういう人をボランティア活動につなげる働きがあるといいと感じます。

<地域活動団体への参加促進・活動支援>

- ・自治会活動に長年、役員として参画しておりますが、自治会員の退会者が増えております。理由の多くは、「子供が大きくなったから…」など、自分の関心事のみの理由だけであり、地域の「相互支援」という観点、価値観が軽視されてきています。防災、防犯等を含め、困っている人がいたら声をかけるという風土の醸成、そして、自治会活動が、越谷市が求めている活動であることを、もっとPRして頂きたいと思っています。

●基本目標2「適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します」

＜身近な地域における連携・協働＞

- ・福祉の仕事に長年従事していましたので、地域福祉の大切さを知っています。福祉に関連する施設や機関のさらなる充実を願っています。

＜支援が必要な人の把握、孤立・孤独の防止＞

- ・福祉活動について市民の中で十分に理解して知っている方と全く知らない方などが極端かと考えます。本当に困っている方に手の届く自治体でありますよう願います。日々の業務ありがとうございます。

＜成年後見制度、権利擁護（虐待防止を含む）＞

- ・障がい者のため、アンケートに回答出来ません。毎年、同じ内容の書類、申請、手続きがありますが、親も高齢で、どうにかならないでしょうか。

＜身近な地域での相談＞

- ・事故や災害など、表面的に見て誰もが分かる問題は共有しやすいですが、個人の心情については明るい面は受け入れられても、暗い面について語る事が、建前の付き合いを守らない非常識な人と思われるか、受け流されるかのどちらかです。そうした事に向き合える人間関係が、互いが助け合える地域福祉になるのだと思います。

＜福祉に関する認知度や情報発信＞

- ・親を介護しましたが、仕事と介護の両立は非常にキツイものがありました。最終的には親の心身の状態で受け入れてくれる施設にお願いするほかなく、地域性も多様に選択肢も絵空事でした。これからの人口減少社会、地域で解決するのはさらに厳しくなるのではないのでしょうか。行政サービスへのアクセシビリティを充実させておくことで備えておいたほうがよいと考えます。

＜福祉のサービス・支援＞

- ・福祉が充実してこそが越谷の発展につながると思います。年齢に関係なく、元気で生活が出来る時は福祉を意識しませんが、人はいずれ、市、国の福祉サービスの提供を受けることになります。“資金難”などという事がないように、税金をつぎ込んでいくべきと思います。

●基本目標3「一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくります」

<多様な生活課題への支援>

- ・障がいをもった人がもう少し安心して安定した生活ができるようなサービスがあると良い。

<防災・防犯>

- ・越谷市についてはまだ状況が分かりません。福祉については、5市1町の中で進んでいるのではないかと考えています。我家に障がいを持っている子どもが居るのでその子を中心に家族が動いています。一番不安なのは災害時に避難する場所です。福祉関係の場所は1番先に開所しないので困っています。知的、自閉症の子のため医療（受診先）遊び場など遠く他県まで迷惑のかからない場所へ行きます。そういう子の環境を整えるための情報などの専門家が少ないような気がします。療育は遠くまで通っていましたが、越谷ももっと専門性の施設が有ると将来に少し光がさすのではと思っています。福祉関係の仕事をしていましたのでこの先ボランティアもやりたいと思っています。越谷市の福祉行政に期待しております。

<生活しやすい環境づくり>

- ・子どもや障がいのある人、高齢者などだれでも利用できる施設が（お店、公園など）増えると嬉しい。特に公園のトイレの多様化。
- ・高齢者がふえる中、コミュニティバス等の充実を検討してほしい。

<住まいや仕事の支援の充実>

- ・身近に身体・精神に障がいを抱えた人がいるため、そのような人が、地域で自分らしく生活できるサポートがあるとありがたいです。就労や住まい（1人暮らし）の相談機関や施設の充実を望みます。子育て世代や障がい者にとっても暮らしやすい地域になってほしいです。

Ⅱ（２）調査結果：団体アンケート① （地域活動団体）

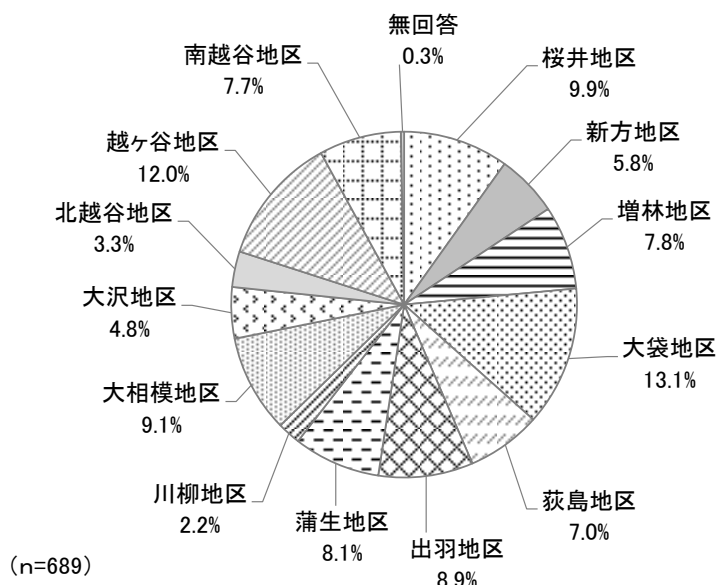
Ⅱ（２） 調査結果：団体アンケート①（地域活動団体）

1 団体の概要について

① 住所

問1 貴団体の所在地についてご記入ください。（1つに○）

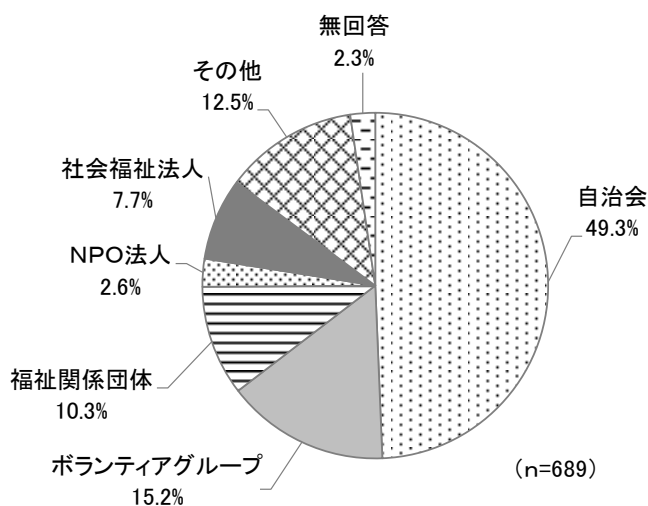
住所は、「大袋地区」が13.1%と最も多く、次いで「越ヶ谷地区」が12.0%となっています。



② 組織形態

問2 貴団体の組織形態についてご記入ください。（1つに○）

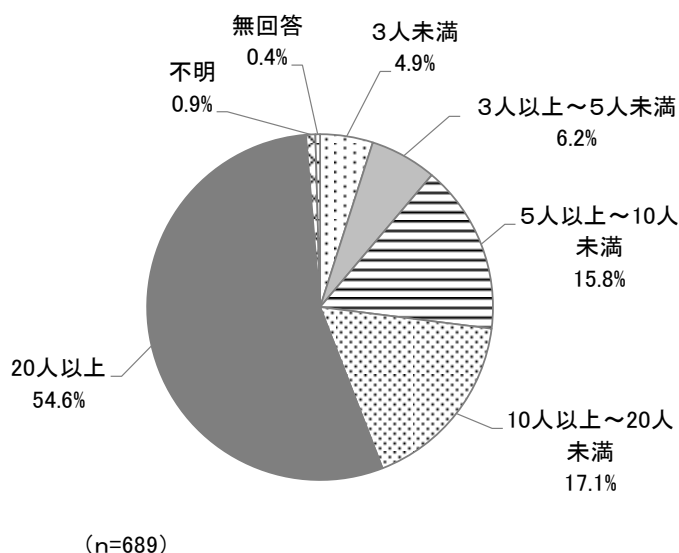
組織形態は、「自治会」が49.3%と最も多く、次いで「ボランティアグループ」が15.2%となっています。



③ 構成員の人数

問3 貴団体の現在の構成員（会員、スタッフなど）は何人ですか。分かる範囲でご記入ください。（1つに○）

構成員は、「20人以上」が54.6%と最も多く、次いで「10人以上～20人未満」が17.1%となっています。



組織形態別でみると、福祉関係団体、NPO法人、社会福祉法人は「5人以上10人未満」が2番目に多くなっています。

【組織形態別】

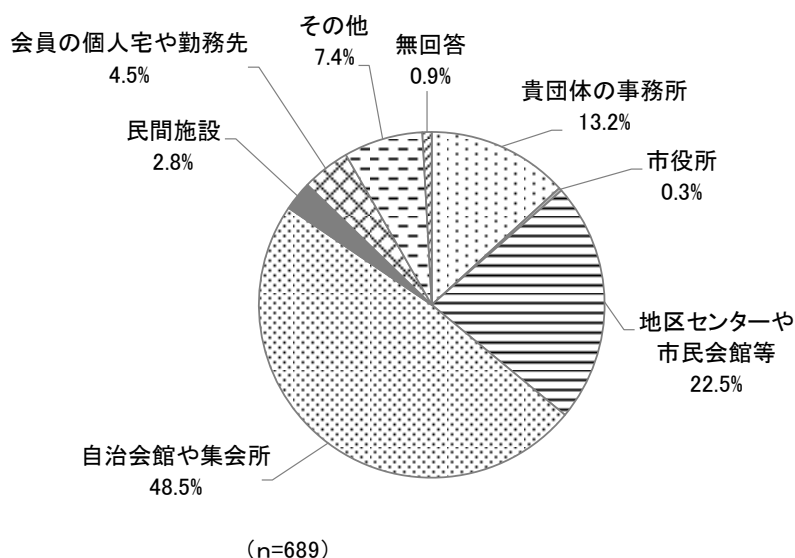
		回答者数	3人未満	3人以上～5人未満	5人以上～10人未満	10人以上～20人未満	20人以上	不明	無回答
全体	人数	689	34	43	109	118	376	6	3
	構成比		4.9%	6.2%	15.8%	17.1%	54.6%	0.9%	0.4%
自治会	人数	340	5	13	32	57	228	4	1
	構成比		1.5%	3.8%	9.4%	16.8%	67.1%	1.2%	0.3%
ボランティアグループ	人数	105	7	9	26	28	33	2	0
	構成比		6.7%	8.6%	24.8%	26.7%	31.4%	1.9%	0.0%
福祉関係団体	人数	71	4	4	16	15	32	0	0
	構成比		5.6%	5.6%	22.5%	21.1%	45.1%	0.0%	0.0%
NPO法人	人数	18	2	1	4	3	8	0	0
	構成比		11.1%	5.6%	22.2%	16.7%	44.4%	0.0%	0.0%
社会福祉法人	人数	53	3	3	12	5	29	0	1
	構成比		5.7%	5.7%	22.6%	9.4%	54.7%	0.0%	1.9%
その他	人数	86	12	10	16	8	40	0	0
	構成比		14.0%	11.6%	18.6%	9.3%	46.5%	0.0%	0.0%
無回答	人数	16	1	3	3	2	6	0	1
	構成比		6.3%	18.8%	18.8%	12.5%	37.5%	0.0%	6.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

④ 活動場所

問4 貴団体の活動場所はどこですか。中心的な場所をお答えください。（1つに○）

活動場所は、「自治会館や集会所」が48.5%と最も多く、次いで「地区センターや市民会館等」が22.5%となっています。



組織形態別でみると、最も多いのは、ボランティアグループ、福祉関係団体で「地区センターや市民会館等」、NPO法人、社会福祉法人で「貴団体の事務所」となっています。

【組織形態別】

		回答者数	貴団体の事務所	市役所	地区センターや市民会館等	自治会館や集会所	民間施設	会員の個人宅や勤務先	その他	無回答
全体	人数	689	91	2	155	334	19	31	51	6
	構成比		13.2%	0.3%	22.5%	48.5%	2.8%	4.5%	7.4%	0.9%
自治会	人数	340	12	0	21	279	1	12	11	4
	構成比		3.5%	0.0%	6.2%	82.1%	0.3%	3.5%	3.2%	1.2%
ボランティアグループ	人数	105	1	1	53	26	4	5	15	0
	構成比		1.0%	1.0%	50.5%	24.8%	3.8%	4.8%	14.3%	0.0%
福祉関係団体	人数	71	14	0	37	9	1	3	7	0
	構成比		19.7%	0.0%	52.1%	12.7%	1.4%	4.2%	9.9%	0.0%
NPO法人	人数	18	11	0	3	0	0	2	2	0
	構成比		61.1%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
社会福祉法人	人数	53	27	0	12	3	7	1	3	0
	構成比		50.9%	0.0%	22.6%	5.7%	13.2%	1.9%	5.7%	0.0%
その他	人数	86	22	1	24	11	6	8	13	1
	構成比		25.6%	1.2%	27.9%	12.8%	7.0%	9.3%	15.1%	1.2%
無回答	人数	16	4	0	5	6	0	0	0	1
	構成比		25.0%	0.0%	31.3%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%

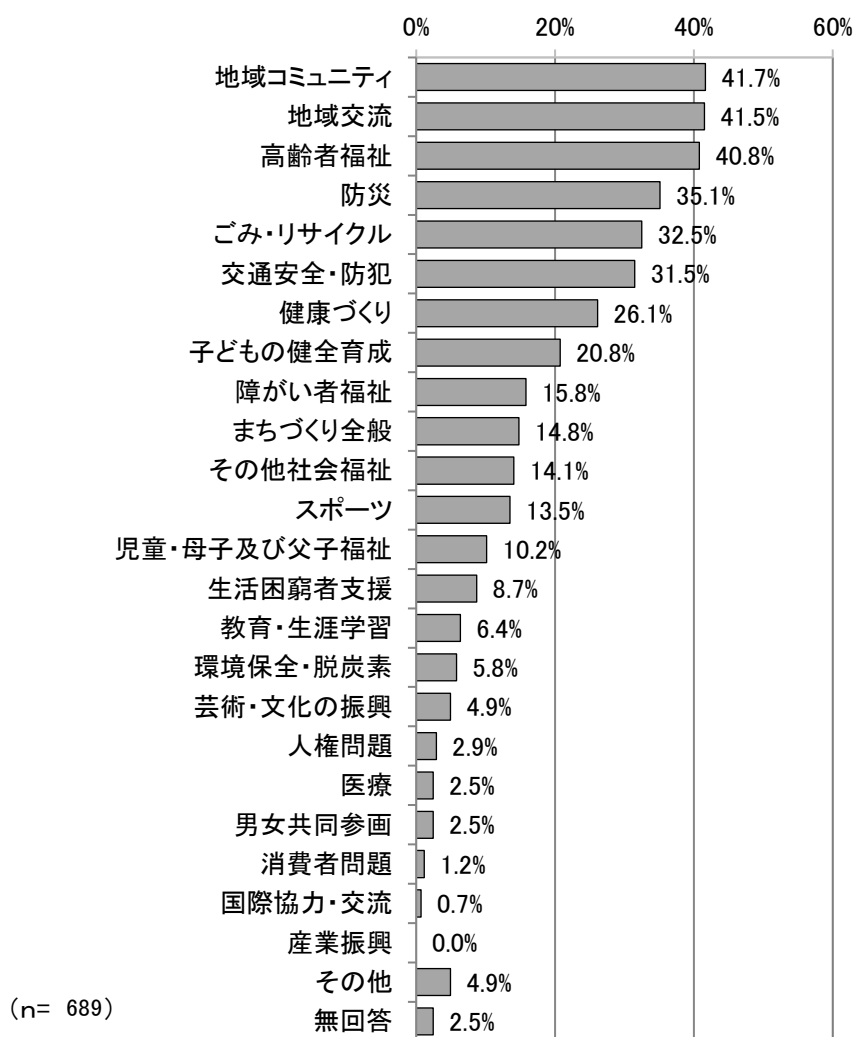
1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

2 団体の地域活動状況について

① 主な活動等

問5 貴団体が行っている主な活動等はどの分野ですか。(あてはまるものすべてに○)

主な活動等は、「地域コミュニティ」が 41.7%、「地域交流」が 41.5%で多くなっています。



組織形態別でみると、最も多いのは、自治会で「防災」、ボランティアグループ、福祉関係団体、社会福祉法人で「高齢者福祉」、NPO 法人で「障がい者福祉」となっています。

【組織形態別】

		回答者数	健康づくり	児童・母子 及び父子 福祉	高齢者福 祉	障がい者 福祉	生活困窮 者支援	その他社 会福祉	医療	環境保全・ 脱炭素	ごみ・リサ イクル	消費者問 題	まちづくり 全般	交通安全・ 防犯
全体	人数	689	180	70	281	109	60	97	17	40	224	8	102	217
	構成比		26.1%	10.2%	40.8%	15.8%	8.7%	14.1%	2.5%	5.8%	32.5%	1.2%	14.8%	31.5%
自治会	人数	340	84	12	87	9	10	28	3	37	218	3	79	190
	構成比		24.7%	3.5%	25.6%	2.6%	2.9%	8.2%	0.9%	10.9%	63.5%	0.9%	23.2%	55.9%
ボランティアグループ	人数	105	37	13	57	19	7	12	3	1	3	1	3	9
	構成比		35.2%	12.4%	54.3%	18.1%	6.7%	11.4%	2.9%	1.0%	2.9%	1.0%	2.9%	8.6%
福祉関係団体	人数	71	19	14	39	29	16	24	2	0	0	2	6	6
	構成比		26.8%	19.7%	54.9%	40.8%	22.5%	33.8%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	8.5%	8.5%
NPO法人	人数	18	2	7	4	13	1	1	0	0	1	0	2	0
	構成比		11.1%	38.9%	22.2%	72.2%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	0.0%
社会福祉法人	人数	53	9	11	32	15	12	10	2	0	0	1	5	2
	構成比		17.0%	20.8%	60.4%	28.3%	22.6%	18.9%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	9.4%	3.8%
その他	人数	86	21	11	54	21	13	19	7	1	2	1	7	7
	構成比		24.4%	12.8%	62.8%	24.4%	15.1%	22.1%	8.1%	1.2%	2.3%	1.2%	8.1%	8.1%
無回答	人数	16	8	2	8	3	1	3	0	1	2	0	0	3
	構成比		50.0%	12.5%	50.0%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	18.8%

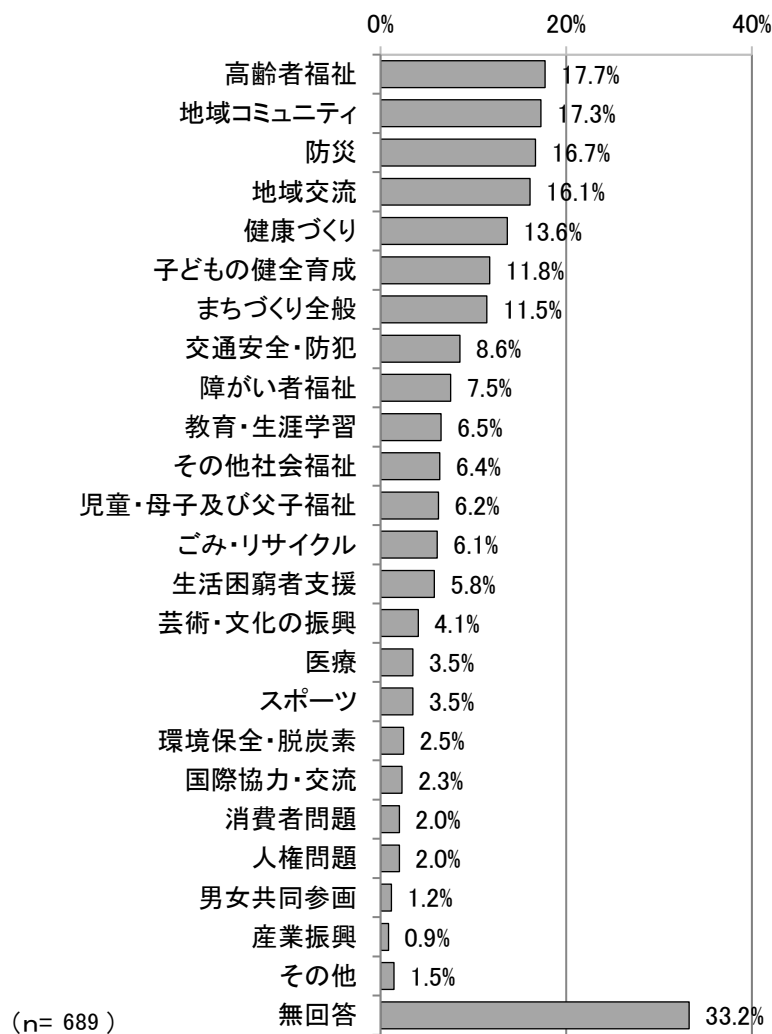
		防災	子どもの健 全育成	教育・生涯 学習	スポーツ	芸術・文化 の振興	男女共同 参画	人権問題	国際協力・ 交流	産業振興	地域交流	地域コミュ ニティ	その他	無回答
全体	人数	242	143	44	93	34	17	20	5	0	286	287	34	17
	構成比	35.1%	20.8%	6.4%	13.5%	4.9%	2.5%	2.9%	0.7%	0.0%	41.5%	41.7%	4.9%	2.5%
自治会	人数	218	75	12	80	11	10	2	0	0	169	187	9	11
	構成比	64.1%	22.1%	3.5%	23.5%	3.2%	2.9%	0.6%	0.0%	0.0%	49.7%	55.0%	2.6%	3.2%
ボランティアグループ	人数	3	17	9	1	12	2	0	3	0	46	36	9	0
	構成比	2.9%	16.2%	8.6%	1.0%	11.4%	1.9%	0.0%	2.9%	0.0%	43.8%	34.3%	8.6%	0.0%
福祉関係団体	人数	7	15	5	1	2	3	11	1	0	25	18	2	2
	構成比	9.9%	21.1%	7.0%	1.4%	2.8%	4.2%	15.5%	1.4%	0.0%	35.2%	25.4%	2.8%	2.8%
NPO法人	人数	0	6	5	0	1	1	3	0	0	5	3	1	0
	構成比	0.0%	33.3%	27.8%	0.0%	5.6%	5.6%	16.7%	0.0%	0.0%	27.8%	16.7%	5.6%	0.0%
社会福祉法人	人数	4	11	3	1	1	0	2	1	0	15	20	4	1
	構成比	7.5%	20.8%	5.7%	1.9%	1.9%	0.0%	3.8%	1.9%	0.0%	28.3%	37.7%	7.5%	1.9%
その他	人数	7	15	9	8	5	1	2	0	0	21	17	8	2
	構成比	8.1%	17.4%	10.5%	9.3%	5.8%	1.2%	2.3%	0.0%	0.0%	24.4%	19.8%	9.3%	2.3%
無回答	人数	3	4	1	2	2	0	0	0	0	5	6	1	1
	構成比	18.8%	25.0%	6.3%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.3%	37.5%	6.3%	6.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

② 今後取り組んでみたい活動

問6問5の選択肢のうち、貴団体が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。（いくつでも可）

今後取り組んでみたい活動は、「高齢者福祉」が 17.7%、「地域コミュニティ」が 17.3%で多くなっています。



組織形態別でみると、最も多いのは、自治会で「防災」、ボランティアグループ、社会福祉法人で「地域交流」、福祉関係団体で「地域コミュニティ」、NPO 法人で「まちづくり全般」となっています。

【組織形態別】

		回答者数	健康づくり	児童・母子 及び父子 福祉	高齢者福 祉	障がい者 福祉	生活困窮 者支援	その他社 会福祉	医療	環境保全・ 脱炭素	ごみ・リサ イクル	消費者問 題	まちづくり 全般	交通安全・ 防犯
全体	人数	689	94	43	122	52	40	44	24	17	42	14	79	59
	構成比		13.6%	6.2%	17.7%	7.5%	5.8%	6.4%	3.5%	2.5%	6.1%	2.0%	11.5%	8.6%
自治会	人数	340	59	17	74	10	15	15	5	14	35	5	41	43
	構成比		17.4%	5.0%	21.8%	2.9%	4.4%	4.4%	1.5%	4.1%	10.3%	1.5%	12.1%	12.6%
ボランティアグループ	人数	105	12	9	11	7	4	5	5	1	2	3	10	4
	構成比		11.4%	8.6%	10.5%	6.7%	3.8%	4.8%	4.8%	1.0%	1.9%	2.9%	9.5%	3.8%
福祉関係団体	人数	71	7	6	13	13	10	12	6	1	1	3	9	5
	構成比		9.9%	8.5%	18.3%	18.3%	14.1%	16.9%	8.5%	1.4%	1.4%	4.2%	12.7%	7.0%
NPO法人	人数	18	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	4	0
	構成比		0.0%	5.6%	11.1%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
社会福祉法人	人数	53	5	6	4	4	5	2	2	1	1	1	8	3
	構成比		9.4%	11.3%	7.5%	7.5%	9.4%	3.8%	3.8%	1.9%	1.9%	1.9%	15.1%	5.7%
その他	人数	86	7	4	16	13	4	7	5	0	2	2	5	3
	構成比		8.1%	4.7%	18.6%	15.1%	4.7%	8.1%	5.8%	0.0%	2.3%	2.3%	5.8%	3.5%
無回答	人数	16	4	0	2	3	1	3	1	0	1	0	2	1
	構成比		25.0%	0.0%	12.5%	18.8%	6.3%	18.8%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	12.5%	6.3%

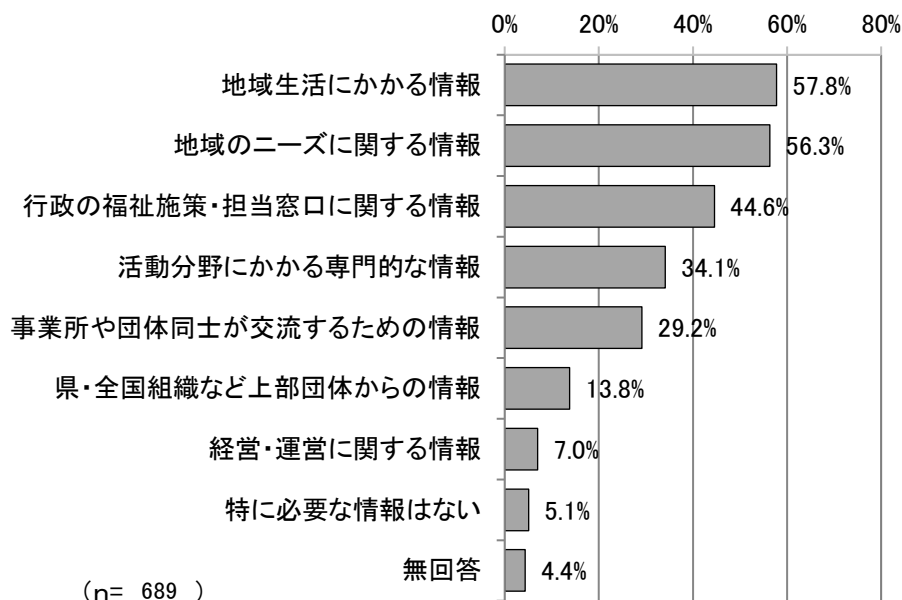
		防災	子どもの健 全育成	教育・生涯 学習	スポーツ	芸術・文化 の振興	男女共同 参画	人権問題	国際協力・ 交流	産業振興	地域交流	地域コミュ ニティ	その他	無回答
全体	人数	115	81	45	24	28	8	14	16	6	111	119	10	229
	構成比	16.7%	11.8%	6.5%	3.5%	4.1%	1.2%	2.0%	2.3%	0.9%	16.1%	17.3%	1.5%	33.2%
自治会	人数	81	43	19	15	14	6	4	8	3	44	56	4	102
	構成比	23.8%	12.6%	5.6%	4.4%	4.1%	1.8%	1.2%	2.4%	0.9%	12.9%	16.5%	1.2%	30.0%
ボランティアグループ	人数	6	13	10	2	6	0	1	2	3	14	13	0	41
	構成比	5.7%	12.4%	9.5%	1.9%	5.7%	0.0%	1.0%	1.9%	2.9%	13.3%	12.4%	0.0%	39.0%
福祉関係団体	人数	11	9	7	4	3	0	4	1	0	13	19	2	27
	構成比	15.5%	12.7%	9.9%	5.6%	4.2%	0.0%	5.6%	1.4%	0.0%	18.3%	26.8%	2.8%	38.0%
NPO法人	人数	1	2	1	0	1	0	0	1	0	2	2	0	9
	構成比	5.6%	11.1%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	50.0%
社会福祉法人	人数	10	7	5	1	0	0	3	1	0	18	14	0	14
	構成比	18.9%	13.2%	9.4%	1.9%	0.0%	0.0%	5.7%	1.9%	0.0%	34.0%	26.4%	0.0%	26.4%
その他	人数	6	7	3	1	2	1	2	2	0	17	14	3	31
	構成比	7.0%	8.1%	3.5%	1.2%	2.3%	1.2%	2.3%	2.3%	0.0%	19.8%	16.3%	3.5%	36.0%
無回答	人数	0	0	0	1	2	1	0	1	0	3	1	1	5
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	18.8%	6.3%	6.3%	31.3%

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字

③ 活動に必要な情報

問7地域での活動に必要な情報はどの様なものですか。(あてはまるものすべてに○)

活動に必要な情報は、「地域生活にかかる情報」が57.8%、「地域のニーズに関する情報」が56.3%で多くなっています。



組織形態別でみると、福祉関係団体、NPO 法人で「行政の福祉施設・担当窓口に関する情報」が最も多くなっています。また、2 番目に多いのは、NPO 法人で「活動分野にかかる専門的な情報」（「地域のニーズに関する情報」も同率2位）、社会福祉法人で「事業所や団体同士が交流するための情報」（「行政の福祉施策・担当窓口に関する情報」も同率2位）となっています。

【組織形態別】

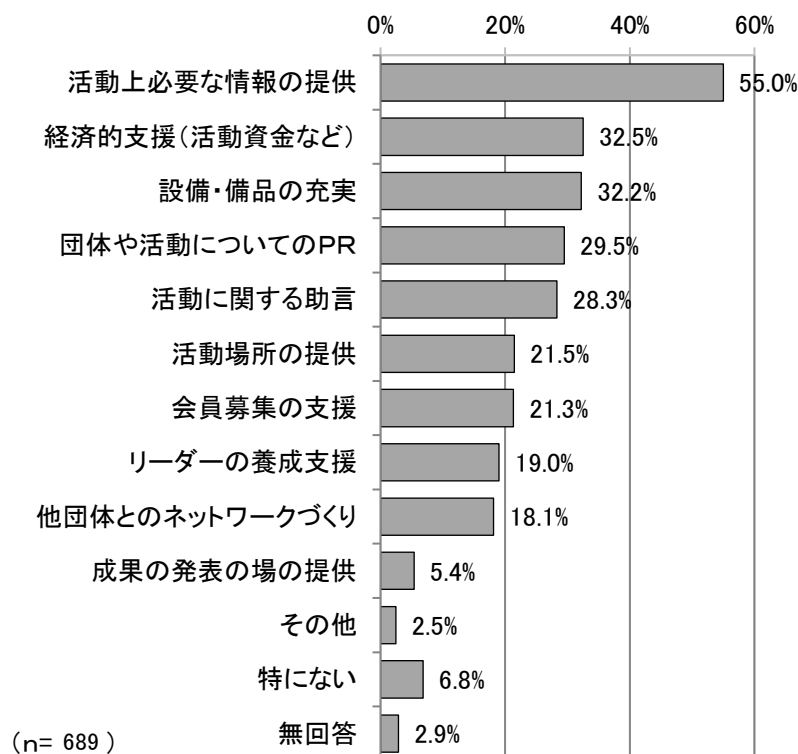
		回答者数	事業所や 団体同士 が交流す るための 情報	地域の ニーズに 関する情 報	行政の福 祉施策・担 当窓口に 関する情 報	活動分野 にかかる 専門的な 情報	地域生活 にかかる 情報	経営・運営 に関する 情報	県・全国組 織など上 部団体か らの情報	特に必要 な情報は ない	無回答
全体	人数	689	201	388	307	235	398	48	95	35	30
	構成比		29.2%	56.3%	44.6%	34.1%	57.8%	7.0%	13.8%	5.1%	4.4%
自治会	人数	340	56	181	119	76	229	16	34	16	19
	構成比		16.5%	53.2%	35.0%	22.4%	67.4%	4.7%	10.0%	4.7%	5.6%
ボランティアグループ	人数	105	30	51	38	35	43	6	12	12	5
	構成比		28.6%	48.6%	36.2%	33.3%	41.0%	5.7%	11.4%	11.4%	4.8%
福祉関係団体	人数	71	36	43	46	31	43	4	10	2	1
	構成比		50.7%	60.6%	64.8%	43.7%	60.6%	5.6%	14.1%	2.8%	1.4%
NPO法人	人数	18	8	10	11	10	6	4	7	0	1
	構成比		44.4%	55.6%	61.1%	55.6%	33.3%	22.2%	38.9%	0.0%	5.6%
社会福祉法人	人数	53	35	44	35	31	30	10	16	0	0
	構成比		66.0%	83.0%	66.0%	58.5%	56.6%	18.9%	30.2%	0.0%	0.0%
その他	人数	86	31	53	49	46	39	8	15	5	3
	構成比		36.0%	61.6%	57.0%	53.5%	45.3%	9.3%	17.4%	5.8%	3.5%
無回答	人数	16	5	6	9	6	8	0	1	0	1
	構成比		31.3%	37.5%	56.3%	37.5%	50.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

④ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援

問8 貴団体の活動を充実させるために、市役所・社会福祉協議会に期待する支援を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

市役所・社会福祉協議会に期待する支援は、「活動上必要な情報の提供」が55.0%と最も多くなっています。



組織形態別でみると、ボランティアグループ、NPO法人は「団体や活動についてのPR」が最も多くなっています。また、2番目に多いのは、自治会で「設備・備品の充実」、NPO法人で「経済的支援（活動資金など）」、社会福祉法人で「他団体とのネットワークづくり」となっています。

【組織形態別】

		回答者数	団体や活動についてのPR	活動上必要な情報の提供	活動場所の提供	会員募集の支援	リーダーの養成支援	経済的支援（活動資金など）	他団体とのネットワークづくり	活動に関する助言	設備・備品の充実	成果の発表の場の提供	その他	特になし	無回答
全体	人数	689	203	379	148	147	131	224	125	195	222	37	17	47	20
	構成比		29.5%	55.0%	21.5%	21.3%	19.0%	32.5%	18.1%	28.3%	32.2%	5.4%	2.5%	6.8%	2.9%
自治会	人数	340	45	178	53	58	64	119	28	93	147	6	8	28	14
	構成比		13.2%	52.4%	15.6%	17.1%	18.8%	35.0%	8.2%	27.4%	43.2%	1.8%	2.4%	8.2%	4.1%
ボランティアグループ	人数	105	49	49	30	27	18	32	17	25	20	10	3	10	1
	構成比		46.7%	46.7%	28.6%	25.7%	17.1%	30.5%	16.2%	23.8%	19.0%	9.5%	2.9%	9.5%	1.0%
福祉関係団体	人数	71	33	48	19	23	17	18	26	20	12	5	1	2	0
	構成比		46.5%	67.6%	26.8%	32.4%	23.9%	25.4%	36.6%	28.2%	16.9%	7.0%	1.4%	2.8%	0.0%
NPO法人	人数	18	12	9	7	7	2	11	5	4	6	3	2	0	0
	構成比		66.7%	50.0%	38.9%	38.9%	11.1%	61.1%	27.8%	22.2%	33.3%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%
社会福祉法人	人数	53	27	37	11	8	11	18	27	22	17	3	1	1	0
	構成比		50.9%	69.8%	20.8%	15.1%	20.8%	34.0%	50.9%	41.5%	32.1%	5.7%	1.9%	1.9%	0.0%
その他	人数	86	31	50	23	19	17	24	19	26	19	8	2	6	4
	構成比		36.0%	58.1%	26.7%	22.1%	19.8%	27.9%	22.1%	30.2%	22.1%	9.3%	2.3%	7.0%	4.7%
無回答	人数	16	6	8	5	5	2	2	3	5	1	2	0	0	1
	構成比		37.5%	50.0%	31.3%	31.3%	12.5%	12.5%	18.8%	31.3%	6.3%	12.5%	0.0%	0.0%	6.3%

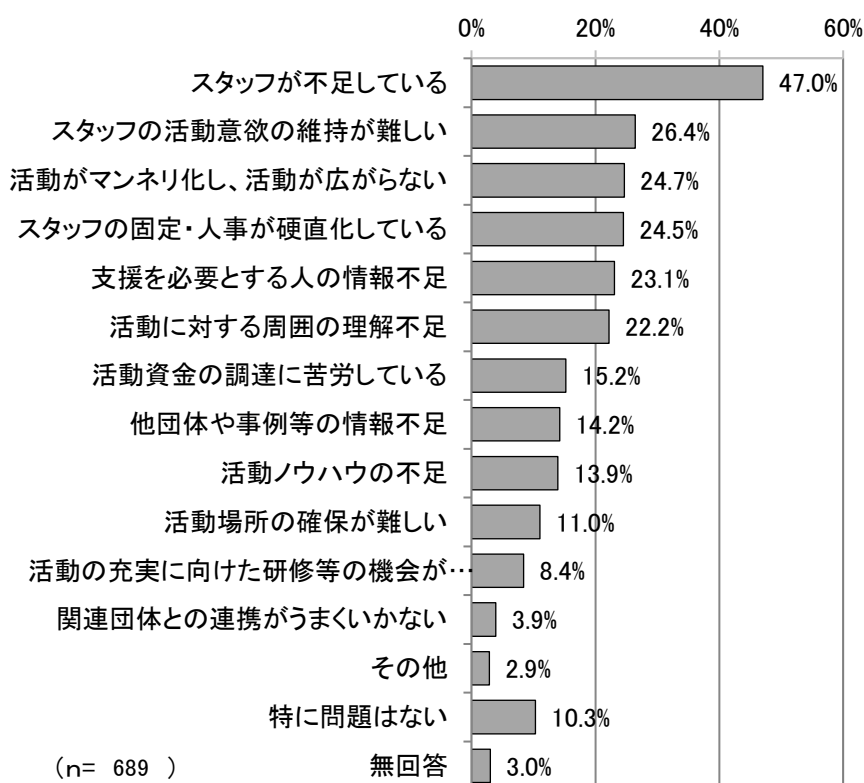
1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

3 活動上の課題や他の団体等との連携について

① 運営上の問題点・課題

問9 貴団体が地域活動を行う上での運営上の問題点・課題についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

運営上の問題点・課題は、「スタッフが不足している」が 47.0%と最も多く、次いで「スタッフの活動意欲の維持が難しい」が 26.4%となっています。



組織形態別でみると、2 番目に多いのは、ボランティアグループ、福祉関係団体、社会福祉法人で「支援を必要とする人の情報不足」、NPO 法人で「活動資金の調達に苦労している」となっています。

【組織形態別】

		回答者数	活動場所 の確保が 難しい	活動資金 の調達に 苦労してい る	スタッフが 不足してい る	スタッフの 固定・人事 が硬直化 している	活動がマ ンネリ化 し、活動が 広がらない	活動に対 する周囲 の理解不 足	関連団体 との連携 がうまくい かない
全体	人数	689	76	105	324	169	170	153	27
	構成比		11.0%	15.2%	47.0%	24.5%	24.7%	22.2%	3.9%
自治会	人数	340	37	53	169	117	119	85	5
	構成比		10.9%	15.6%	49.7%	34.4%	35.0%	25.0%	1.5%
ボランティアグループ	人数	105	8	17	42	22	14	12	1
	構成比		7.6%	16.2%	40.0%	21.0%	13.3%	11.4%	1.0%
福祉関係団体	人数	71	7	7	27	7	12	17	3
	構成比		9.9%	9.9%	38.0%	9.9%	16.9%	23.9%	4.2%
NPO法人	人数	18	2	9	12	3	1	6	2
	構成比		11.1%	50.0%	66.7%	16.7%	5.6%	33.3%	11.1%
社会福祉法人	人数	53	8	9	30	9	14	14	8
	構成比		15.1%	17.0%	56.6%	17.0%	26.4%	26.4%	15.1%
その他	人数	86	13	8	37	10	8	16	7
	構成比		15.1%	9.3%	43.0%	11.6%	9.3%	18.6%	8.1%
無回答	人数	16	1	2	7	1	2	3	1
	構成比		6.3%	12.5%	43.8%	6.3%	12.5%	18.8%	6.3%

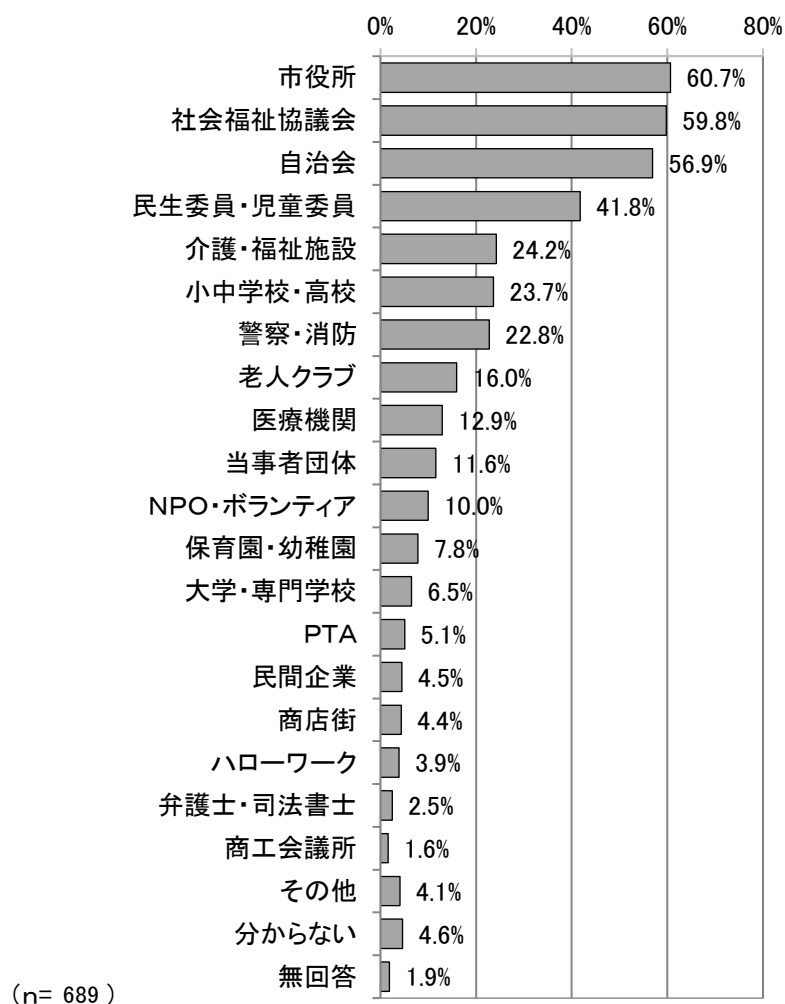
		スタッフの 活動意欲 の維持が 難しい	活動ノウ ハウの不 足	他団体や 事例等の 情報不足	活動の充 実に向け た研修等 の機会が ない	支援を必 要とする人 の情報不 足	その他	特に問題 はない	無回答
全体	人数	182	96	98	58	159	20	71	21
	構成比	26.4%	13.9%	14.2%	8.4%	23.1%	2.9%	10.3%	3.0%
自治会	人数	127	55	40	19	57	12	29	8
	構成比	37.4%	16.2%	11.8%	5.6%	16.8%	3.5%	8.5%	2.4%
ボランティアグループ	人数	11	5	15	10	25	1	17	5
	構成比	10.5%	4.8%	14.3%	9.5%	23.8%	1.0%	16.2%	4.8%
福祉関係団体	人数	18	7	8	7	25	2	9	3
	構成比	25.4%	9.9%	11.3%	9.9%	35.2%	2.8%	12.7%	4.2%
NPO法人	人数	2	2	1	2	5	0	1	0
	構成比	11.1%	11.1%	5.6%	11.1%	27.8%	0.0%	5.6%	0.0%
社会福祉法人	人数	11	10	15	8	21	2	1	1
	構成比	20.8%	18.9%	28.3%	15.1%	39.6%	3.8%	1.9%	1.9%
その他	人数	11	16	18	12	20	2	10	4
	構成比	12.8%	18.6%	20.9%	14.0%	23.3%	2.3%	11.6%	4.7%
無回答	人数	2	1	1	0	6	1	4	0
	構成比	12.5%	6.3%	6.3%	0.0%	37.5%	6.3%	25.0%	0.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

② 連携・協力関係

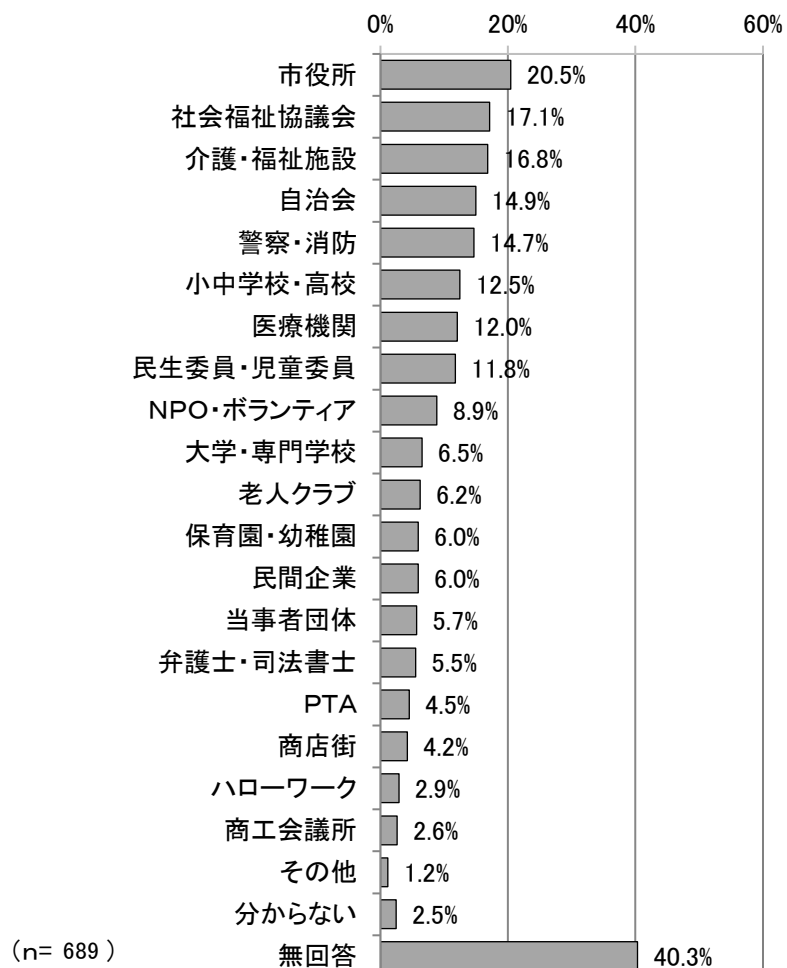
問10 貴団体は地域での活動を行う上で、以下の選択肢のような団体や組織と連携・協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

連携・協力関係は、「市役所」が60.7%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が59.8%となっています。



問11 問10の選択肢のうち、貴団体が今後連携・協力関係を深めたい団体や組織があれば、番号をご記入ください。（いくつでも可）

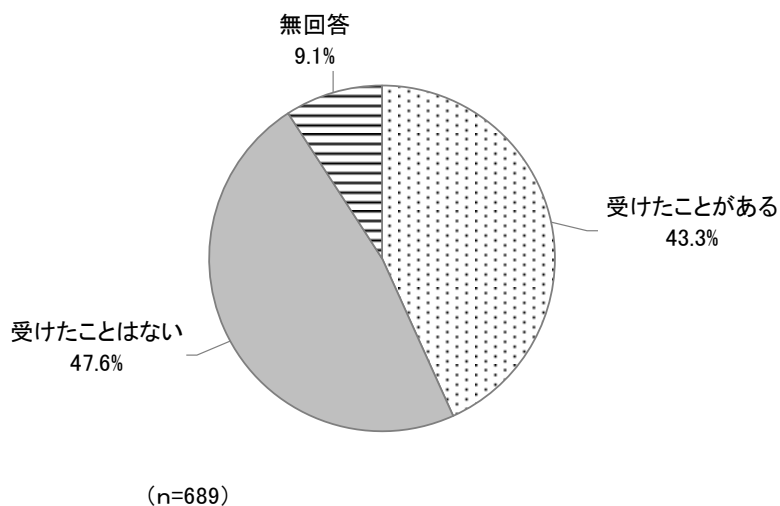
今後連携・協力関係を深めたい団体や組織は、「市役所」が20.5%と最も多く、次いで「社会福祉協議会」が17.1%となっています。



③ 困りごと等の相談

問1 2貴団体の活動を通して、市民の方から生活上の困りごと等の相談を受けたことがありますか。(1つに○)

困りごと等の相談は、「受けたことはない」が47.6%、「受けたことがある」が43.3%となっています。



組織形態別でみると、福祉関係団体、NPO 法人、社会福祉法人は「受けたことがある」が多くなっています。

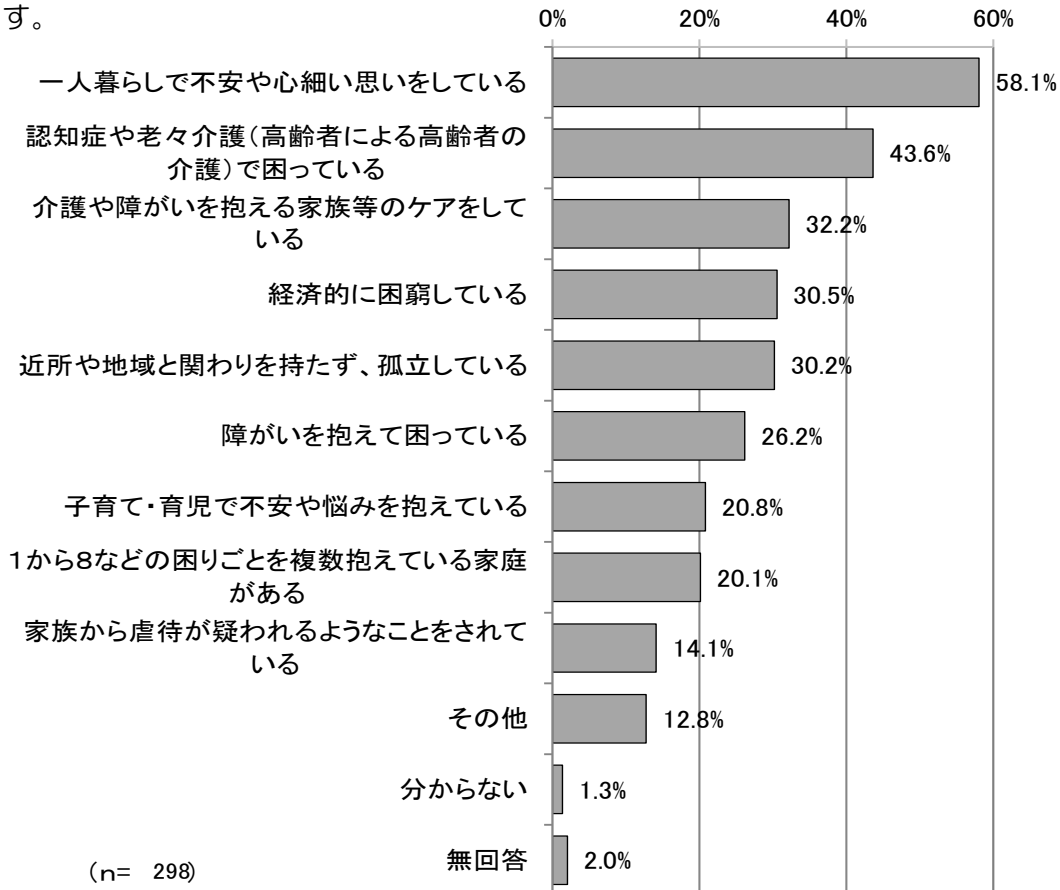
【組織形態別】

		回答者数	受けたこと がある	受けたこと はない	無回答
全体	人数	689	298	328	63
	構成比		43.3%	47.6%	9.1%
自治会	人数	340	115	193	32
	構成比		33.8%	56.8%	9.4%
ボランティアグループ	人数	105	36	60	9
	構成比		34.3%	57.1%	8.6%
福祉関係団体	人数	71	39	23	9
	構成比		54.9%	32.4%	12.7%
NPO法人	人数	18	16	1	1
	構成比		88.9%	5.6%	5.6%
社会福祉法人	人数	53	36	14	3
	構成比		67.9%	26.4%	5.7%
その他	人数	86	47	31	8
	構成比		54.7%	36.0%	9.3%
無回答	人数	16	9	6	1
	構成比		56.3%	37.5%	6.3%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

問12-1（問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に）どのような相談内容でしたか。（あてはまるものすべてに○）

相談内容は、「一人暮らしで不安や心細い思いをしている」が58.1%と最も多く、次いで「認知症や老々介護（高齢者による高齢者の介護）で困っている」が43.6%となっています。



組織形態別でみると、NPO法人は「経済的に困窮している」、「介護や障がいを抱える家族等のケアをしている」が最も多くなっています。

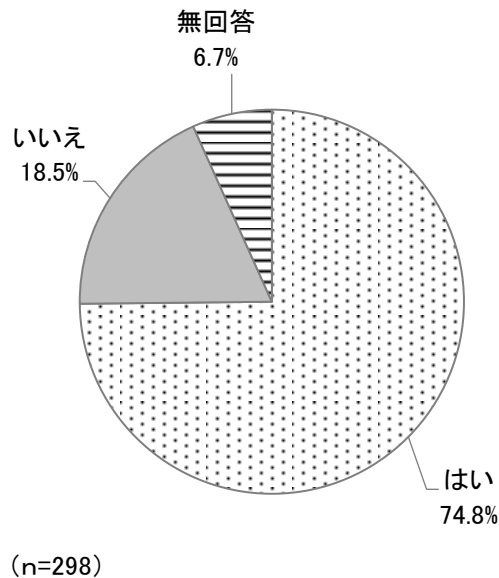
【組織形態別】

		回答者数	一人暮らしで不安や心細い思いをしている	近所や地域と関わりを持たず、孤立している	経済的に困窮している	認知症や老々介護（高齢者による高齢者の介護）で困っている	障がいを抱えて困っている	子育て・育児で不安や悩みを抱えている	介護や障がいを抱える家族等のケアをしている	家族から虐待が疑われるようなことをされている	1から8などの困りごとを複数抱えている家庭がある	その他	分からない	無回答
全体	人数	298	173	90	91	130	78	62	96	42	60	38	4	6
	構成比		58.1%	30.2%	30.5%	43.6%	26.2%	20.8%	32.2%	14.1%	20.1%	12.8%	1.3%	2.0%
自治会	人数	115	65	22	16	31	8	4	12	1	7	32	4	3
	構成比		56.5%	19.1%	13.9%	27.0%	7.0%	3.5%	10.4%	0.9%	6.1%	27.8%	3.5%	2.6%
ボランティアグループ	人数	36	21	8	8	11	8	12	10	3	5	3	0	0
	構成比		58.3%	22.2%	22.2%	30.6%	22.2%	33.3%	27.8%	8.3%	13.9%	8.3%	0.0%	0.0%
福祉関係団体	人数	39	28	17	14	25	16	10	16	5	12	0	0	1
	構成比		71.8%	43.6%	35.9%	64.1%	41.0%	25.6%	41.0%	12.8%	30.8%	0.0%	0.0%	2.6%
NPO法人	人数	16	7	4	10	7	9	8	10	5	6	1	0	1
	構成比		43.8%	25.0%	62.5%	43.8%	56.3%	50.0%	62.5%	31.3%	37.5%	6.3%	0.0%	6.3%
社会福祉法人	人数	36	20	15	19	18	14	11	18	15	17	0	0	0
	構成比		55.6%	41.7%	52.8%	50.0%	38.9%	30.6%	50.0%	41.7%	47.2%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	人数	47	29	21	23	32	20	15	24	12	11	2	0	1
	構成比		61.7%	44.7%	48.9%	68.1%	42.6%	31.9%	51.1%	25.5%	23.4%	4.3%	0.0%	2.1%
無回答	人数	9	3	3	1	6	3	2	6	1	2	0	0	0
	構成比		33.3%	33.3%	11.1%	66.7%	33.3%	22.2%	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

問1 2-2（問1 2で「1. 受けたことがある」とお答えの方に）解決または解決のきっかけに至りましたか。（1 つに○）

解決または解決のきっかけに至ったかは、「はい」が 74.8%と、次いで「いいえ」が 18.5%となっています。



問1 2-3（問1 2-2で「2. いいえ」とお答えの方に）相談を解決するために、必要と感じた（あったらいいなと感じた）ものがあれば、以下にお書きください。

（自由記述の記載内容の中から、テーマ別に分類し、主な意見を以下に整理）

○相談場所・窓口

- ・相談を受ける場所。安心して話しあえる、スペース。子育てサロンを実施していたとき、終了したあと、おかあさんどうしが個人的に話し合える自由スペースが、もっとあったらよかった。以前は少々あったが今はないようだ。

○情報

- ・相談内容に対して、的確な相談先、引き継げる施設、行政、社協の窓口、活動団体など地域での福祉的資源、キーパーソンについて豊富な情報を知り得ているといいと思います。

○人材

- ・若い人が参加してほしい。

○連携

- ・時々近所で介護団体（企業）の訪問等を見かけるが、役所と企業の連絡が密ならもっと実態が判明するのでは。

○行政の対応

- ・安否確認のシステム作り

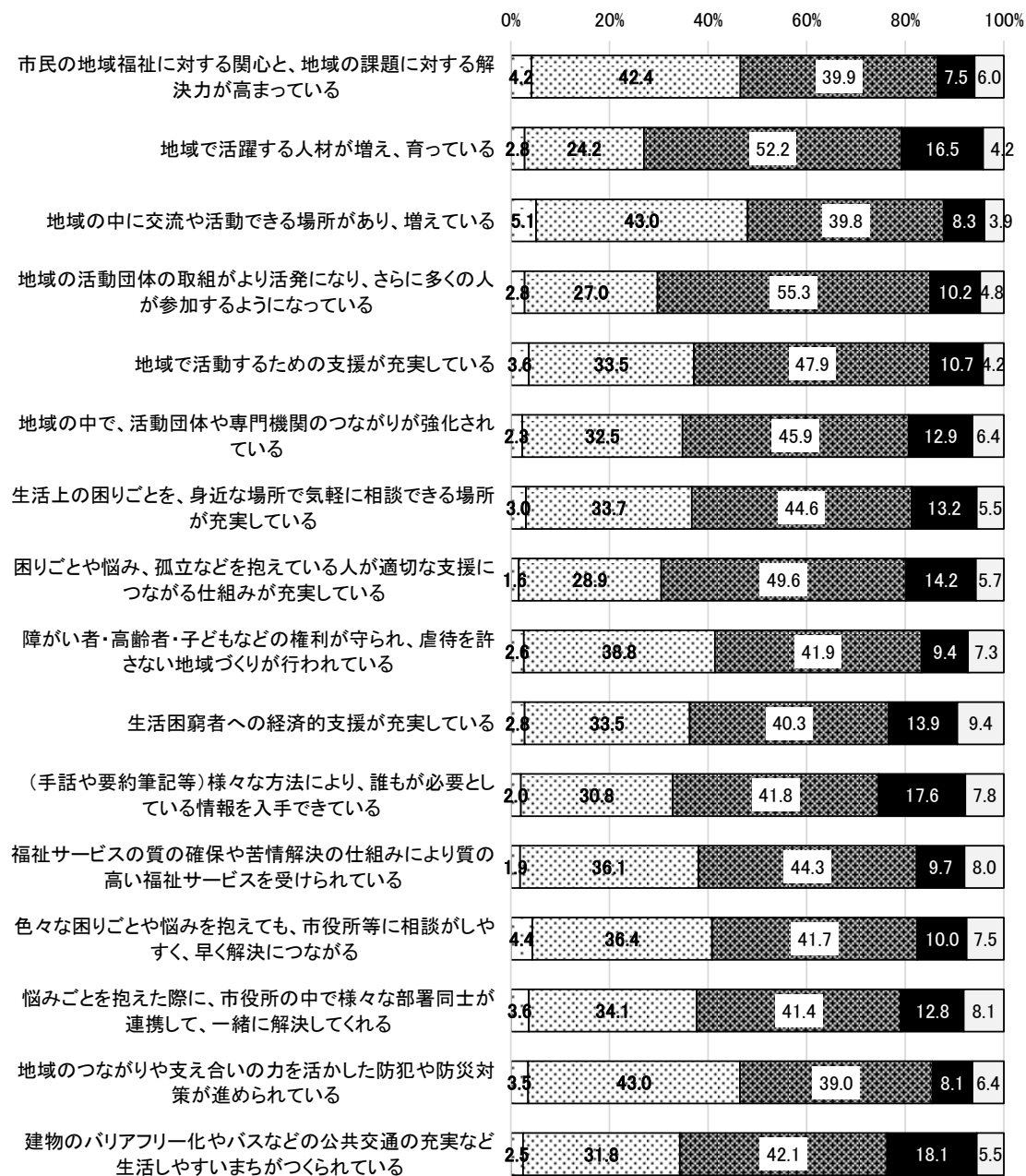
4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について

① 越谷市の地域福祉の現状

問13 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。(項目ごとに1つに○)

「市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題に対する解決力が高まっている」、「地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている」、「地域のつながりや支え合いの力を活かした防犯や防災対策が進められている」は「ある程度できている」が最も多くなっていますが、それ以外は「あまりできていない」が最も多くなっています。

『できている』(「できている」と「ある程度できている」の合計)が最も多いのは「地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている」である一方、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「地域で活躍する人材が増え、育っている」となっています。



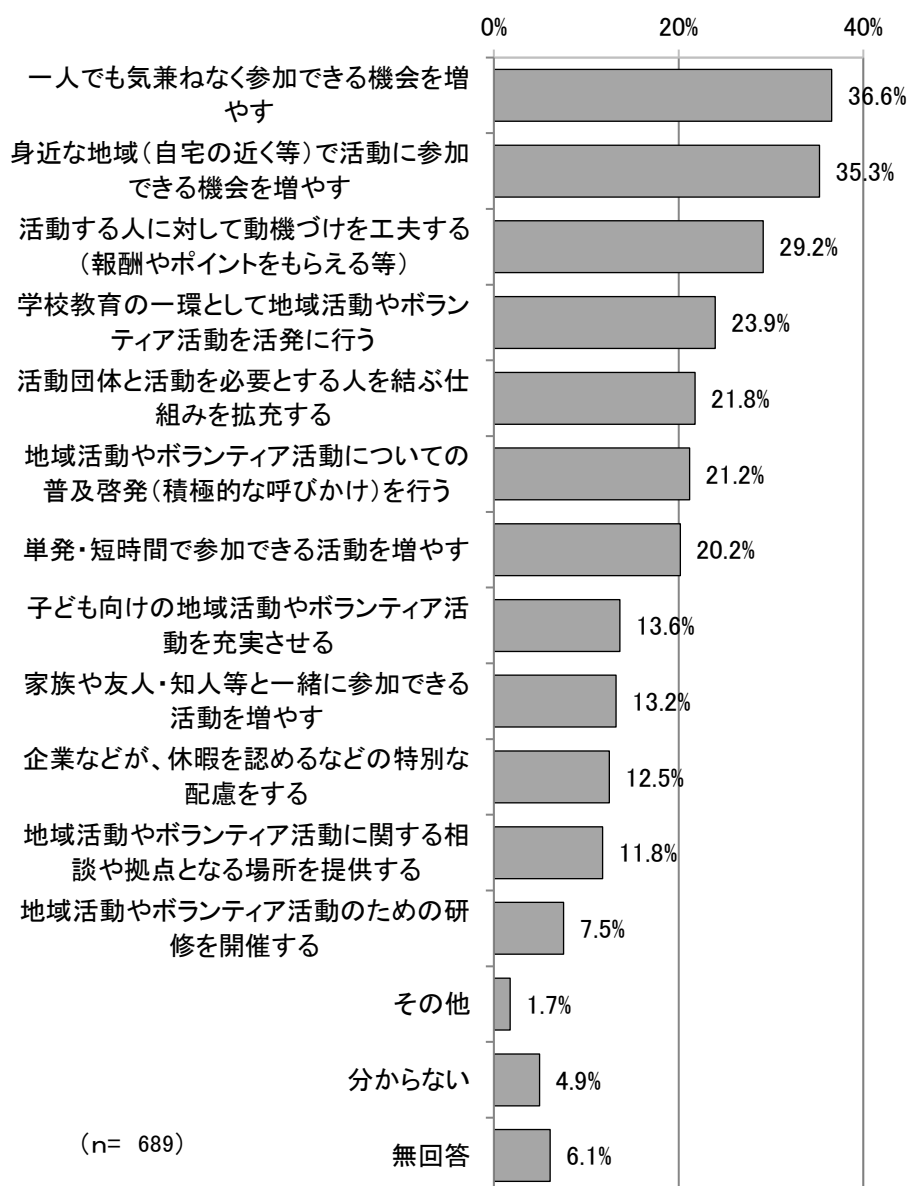
(n=689)

□できている □ある程度できている ■あまりできていない ■ほとんどできていない □無回答

② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと

問1 4ボランティア活動・NPO 活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

ボランティアや NPO 活動を広げるためには、「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」が 36.6%と最も多く、次いで「身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす」が 35.3%となっています。



組織形態別でみると、ボランティアグループ、福祉関係団体で「身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす」、NPO 法人で「活動団体と活動を必要とする人を結び仕組みを拡充する」、社会福祉法人で「活動する人に対して動機づけを工夫する（報酬やポイントをもたらえる等）」が最も多くなっています。

【組織形態別】

		回答者数	単発・短時間で参加できる活動を増やす	活動する人に対して動機づけを工夫する（報酬やポイントをもたらえる等）	身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす	一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす	家族や友人・知人等と一緒に参加できる活動を増やす	企業などが、休暇を認めるなどの特別な配慮をする	学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う
全体	人数	689	139	201	243	252	91	86	165
	構成比		20.2%	29.2%	35.3%	36.6%	13.2%	12.5%	23.9%
自治会	人数	340	65	102	117	118	54	36	75
	構成比		19.1%	30.0%	34.4%	34.7%	15.9%	10.6%	22.1%
ボランティアグループ	人数	105	18	30	41	40	10	10	32
	構成比		17.1%	28.6%	39.0%	38.1%	9.5%	9.5%	30.5%
福祉関係団体	人数	71	19	19	27	25	8	12	22
	構成比		26.8%	26.8%	38.0%	35.2%	11.3%	16.9%	31.0%
NPO法人	人数	18	3	4	4	6	2	5	5
	構成比		16.7%	22.2%	22.2%	33.3%	11.1%	27.8%	27.8%
社会福祉法人	人数	53	8	20	16	17	5	8	12
	構成比		15.1%	37.7%	30.2%	32.1%	9.4%	15.1%	22.6%
その他	人数	86	22	22	33	38	10	15	17
	構成比		25.6%	25.6%	38.4%	44.2%	11.6%	17.4%	19.8%
無回答	人数	16	4	4	5	8	2	0	2
	構成比		25.0%	25.0%	31.3%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%

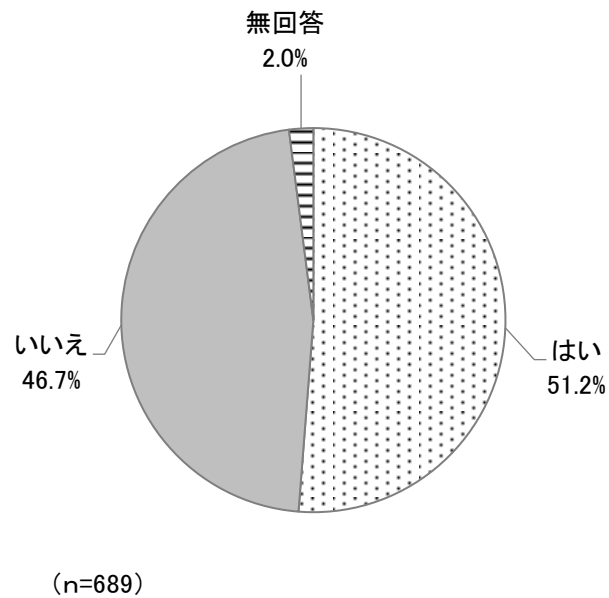
		子ども向けの地域活動やボランティア活動を充実させる	地域活動やボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する	地域活動やボランティア活動のための研修を開催する	活動団体と活動を必要とする人を結び仕組みを拡充する	地域活動やボランティア活動についての普及啓発（積極的な呼びかけ）を行う	その他	分からない	無回答
全体	人数	94	81	52	150	146	12	34	42
	構成比	13.6%	11.8%	7.5%	21.8%	21.2%	1.7%	4.9%	6.1%
自治会	人数	49	31	24	52	64	4	26	25
	構成比	14.4%	9.1%	7.1%	15.3%	18.8%	1.2%	7.6%	7.4%
ボランティアグループ	人数	17	10	8	33	28	1	1	4
	構成比	16.2%	9.5%	7.6%	31.4%	26.7%	1.0%	1.0%	3.8%
福祉関係団体	人数	8	17	7	15	15	0	0	5
	構成比	11.3%	23.9%	9.9%	21.1%	21.1%	0.0%	0.0%	7.0%
NPO法人	人数	2	2	2	8	4	1	0	1
	構成比	11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	22.2%	5.6%	0.0%	5.6%
社会福祉法人	人数	7	6	3	18	14	5	3	3
	構成比	13.2%	11.3%	5.7%	34.0%	26.4%	9.4%	5.7%	5.7%
その他	人数	9	11	8	21	18	1	3	3
	構成比	10.5%	12.8%	9.3%	24.4%	20.9%	1.2%	3.5%	3.5%
無回答	人数	2	4	0	3	3	0	1	1
	構成比	12.5%	25.0%	0.0%	18.8%	18.8%	0.0%	6.3%	6.3%

1位：全体が黒で白文字、2位：全体が灰色で太文字

③ 個別避難計画の認知度

問15 越谷市が推進している、越谷避難行動要支援者支援制度における「個別避難計画」についてご存じですか。(1 つに○)

個別避難計画の認知度は、「はい」が51.2%、「いいえ」が46.7%となっています。



(問16 (話し合いへの意向) については省略)

④ 越谷市の福祉に関する意見・要望・提案

問17 越谷市の福祉に対するご意見・ご要望・ご提案等がありましたら、お書きください。

(自由記述の記載内容の中から、テーマ別に分類し、主な意見を以下に整理)

○活動の担い手

- ・サロンを継続していくのに、協力員の確保が難しい。協力員も一緒に年を取っていくので、提供する側から、される側になっていくので、またチームを作るのが難しい。
- ・若い人のボランティアに関しての関心が薄い様に思います。何か新しい発想で若い人をボランティアにひきつける物が必要なのではないでしょうか。

○活動する場所

- ・独居高齢者と地域住民との交流の場が必要。
- ・保育園の支援センターだけでなく、子育て支援センターとしていつでも、誰でも、どこでも住んでいる人が利用できる場所を作ってほしいです。

○活動や地域に関する情報

- ・小規模な自治会のため、地域の活動自体が活発に行えない。福祉に関する対応は、他人に知られたくない個人の事情もあり、情報収集も難しい。
- ・個人情報保護法にさえぎられていて、本当に必要とされている方の情報が入ってこない。外に出られる障がい者は、色々な情報を得る事ができるし、元気だが、1人で孤立している方が、まだまだいるし、全て申請制度なので不便な面があると思う。

○地域の困りごとや相談

- ・私は障がい者福祉に携る者ですが、高齢・貧困なども含めて困りごとは地域で解決するという意識が大切かと思います。困っている人って、意外と自身の気持ちを発信できないので、周りの人がそれに気づき発信できればより良い越谷市になるのではないかと思います。
- ・高齢者の世帯で近隣の方との交流が少ない方は、困っていても、相談する場所がわからない方が多い。また、困っている事を認識されていない。

○他の団体・組織等との連携

- ・介護保険や障がいなど年齢によって対象がばっさり切られてしまうことなく、専門相談機関同士で連携をはかってくれる仕組みが整うといいなと思います。相談した方があちこちたらいまわしにされるのではなく、専門家同士でつながりをつくっていただくと相談しやすいですし、同じ話を何度も相談しなくて済むので市民の方も安心して生活していけると思います。

Ⅱ（３） 調査結果：団体アンケート② （企業）

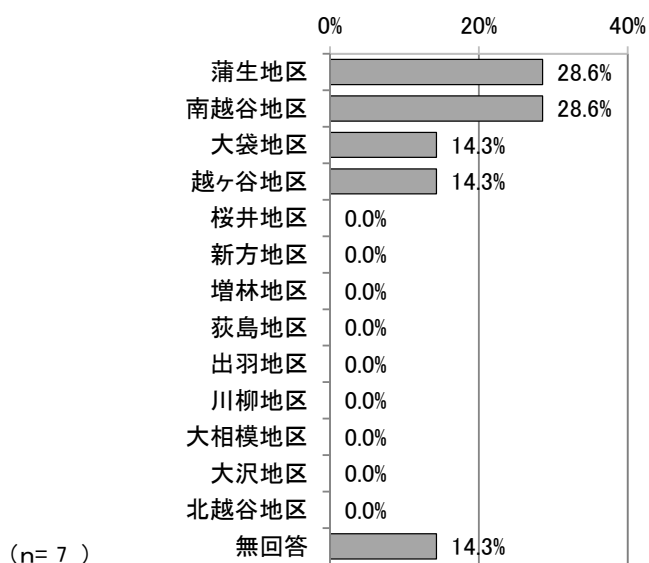
Ⅱ（３） 調査結果：団体アンケート②（企業）

1 事業所の概要について

① 住所

問1 貴事業所の所在地についてご記入ください。（1つに○）

所在地は、「蒲生地区」、「南越谷地区」がそれぞれ28.6%となっています。

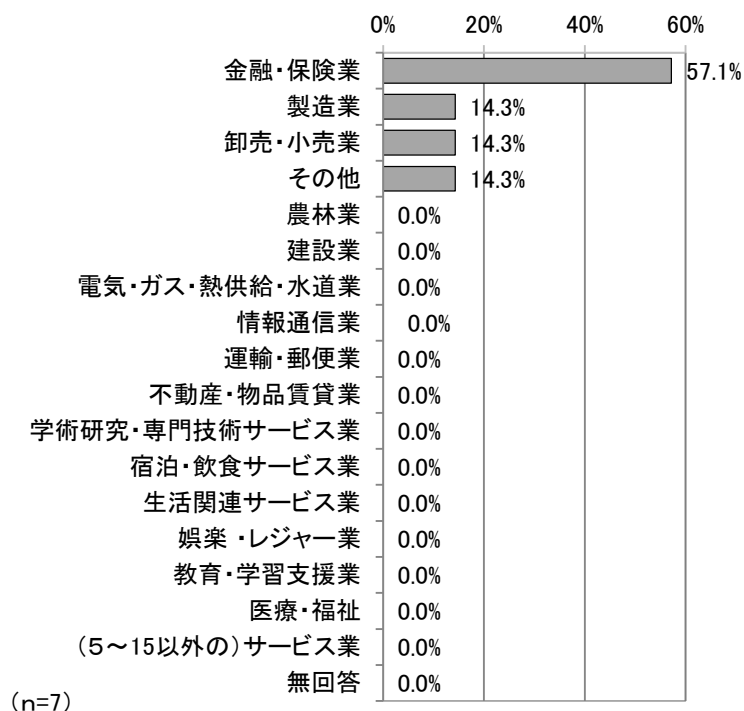


② 業種

問2 貴事業所の主な業種は次のうちどれにあたりますか。（1つに○）

（※複数ある場合は、主たるものをお答えください）

業種は、「金融・保険業」が57.1%と最も多くなっています

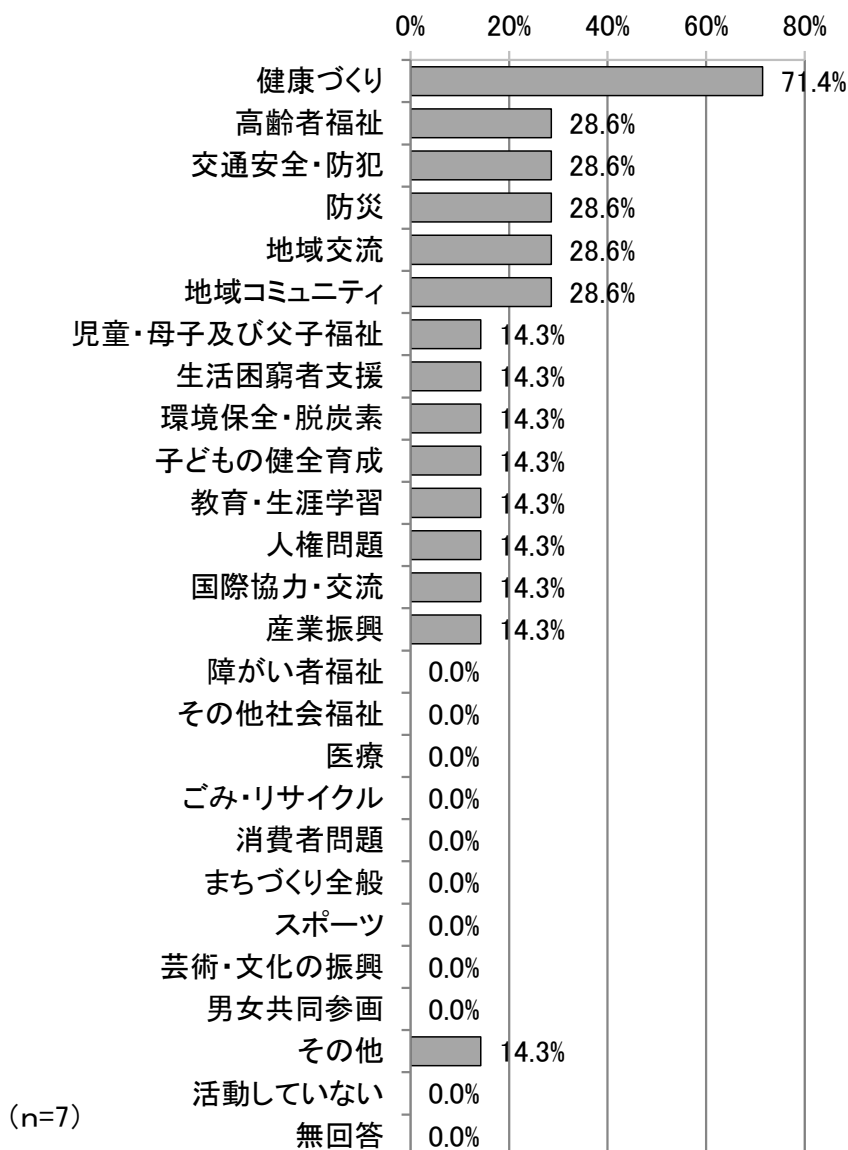


2 事業所の地域活動状況について

① 地域の課題解決に取り組んでいる主な活動等

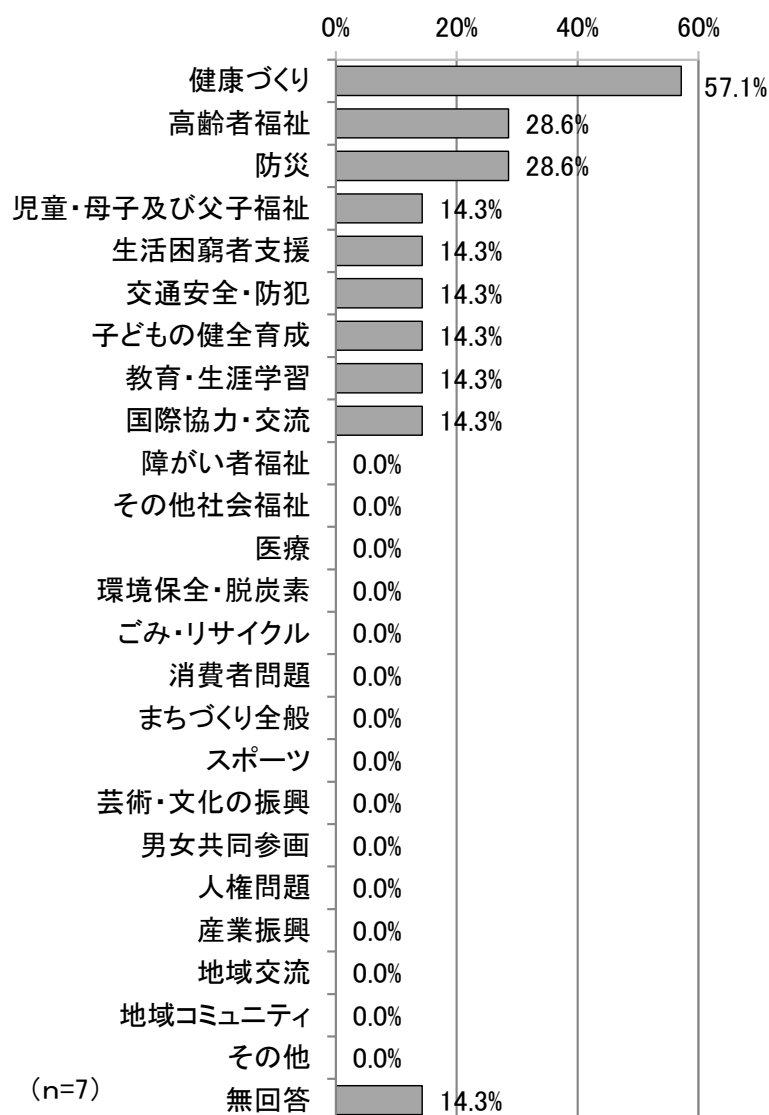
問3 貴事業所が越谷市において地域の課題解決に取り組んでいる主な活動等は何分野ですか。（あてはまるものすべてに○）

課題解決に取り組んでいる主な活動は、「健康づくり」が71.4%と最も多くなっています。



問4（問3で1～24のいずれかを選択した方に）問3の選択肢のうち、貴事業所で実施されている主な取組みをお答えください。（3つまで）

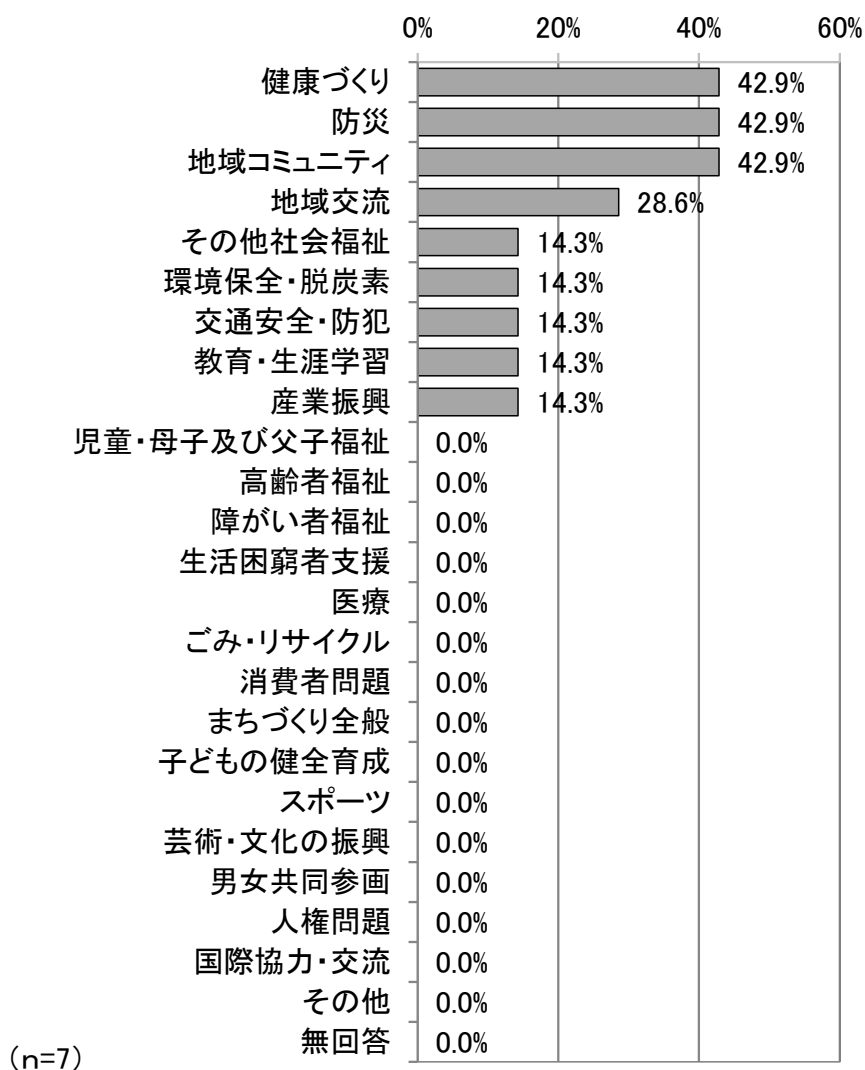
実施している主な活動は、「健康づくり」が57.1%と最も多くなっています



② 今後取り組んでみたい活動

問5問3の選択肢のうち、貴事業所が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。
(いくつでも可)

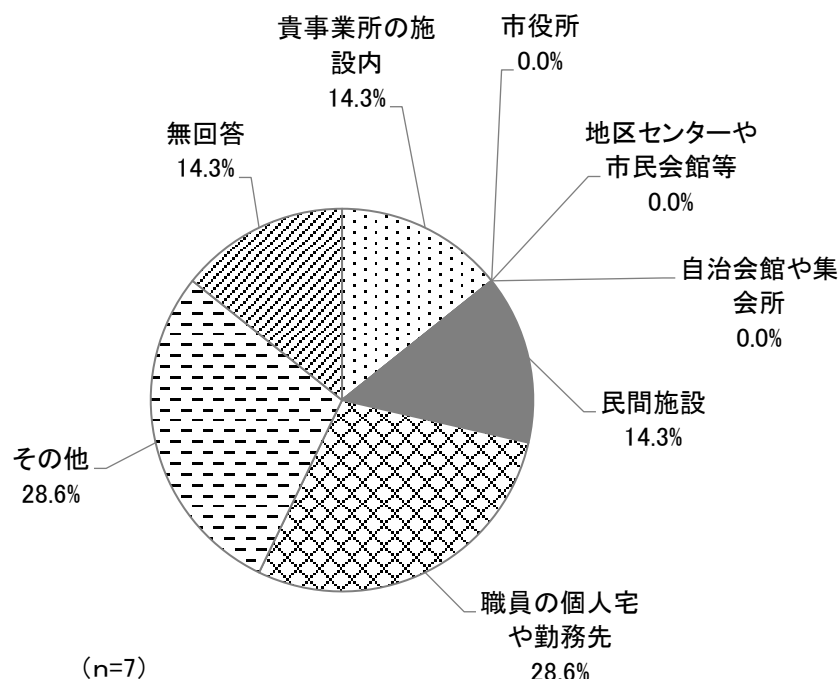
今後取り組んでみたい活動は、「健康づくり」、「防災」、「地域コミュニティ」がそれぞれ 42.9%となっています



③ 活動場所

問6 貴事業所が地域で活動する際の場所はどこですか。中心的な場所をお答えください。（1つに○）

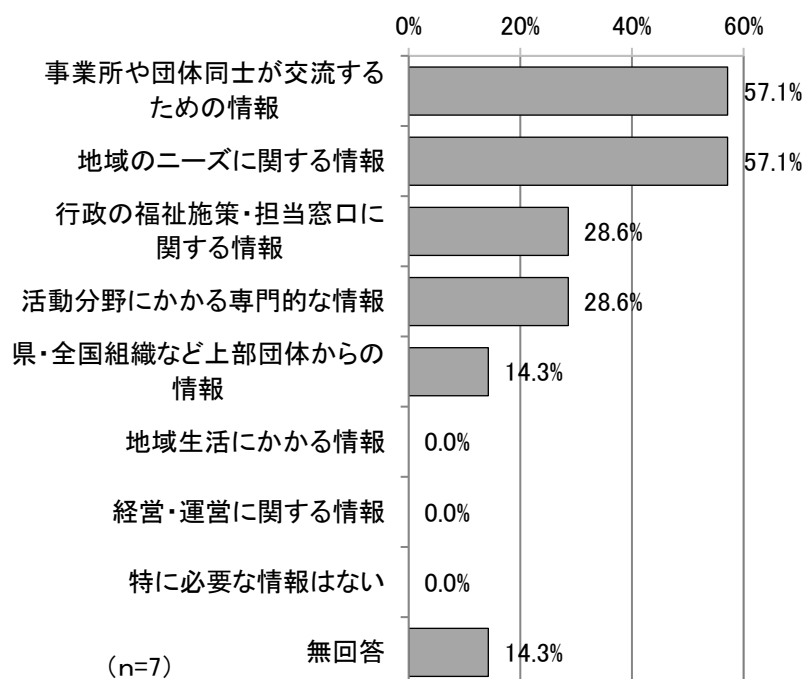
活動場所は、「職員の個人宅や勤務先」が28.6%と最も多くなっています。



④ 活動に必要な情報

問7 地域での活動に必要な情報はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

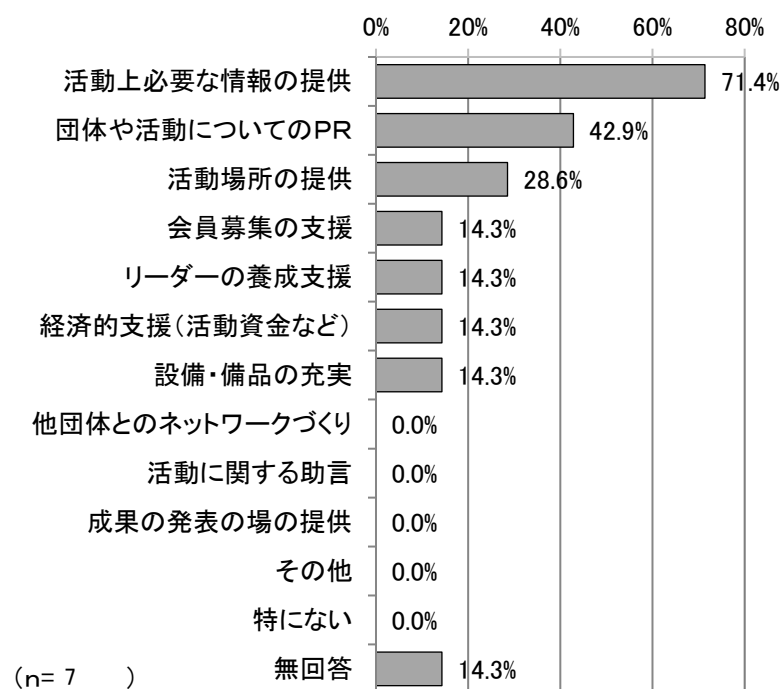
活動に必要な情報は、「事業所や団体同士が交流するための情報」、「地域のニーズに関する情報」がそれぞれ57.1%となっています。



⑤ 市役所・社会福祉協議会に期待する支援

問8 貴事業所の地域での活動を充実させるために、市役所・社会福祉協議会に期待する支援を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

市役所・社会福祉協議会に期待する支援は、「活動上必要な情報の提供」が71.4%と最も多くなっています。

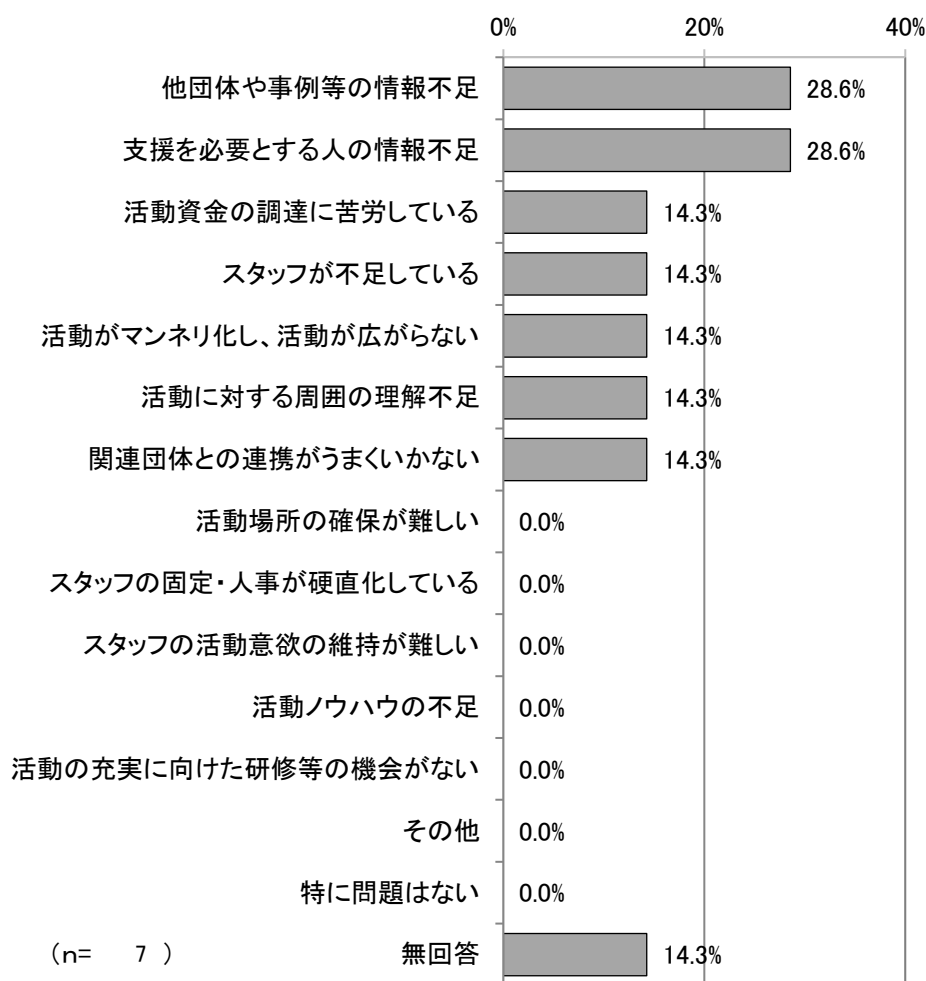


3 活動上の課題や他の団体等との連携について

① 運営上の問題点・課題

問9 貴事業所が地域活動を行う上での運営上の問題点・課題についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

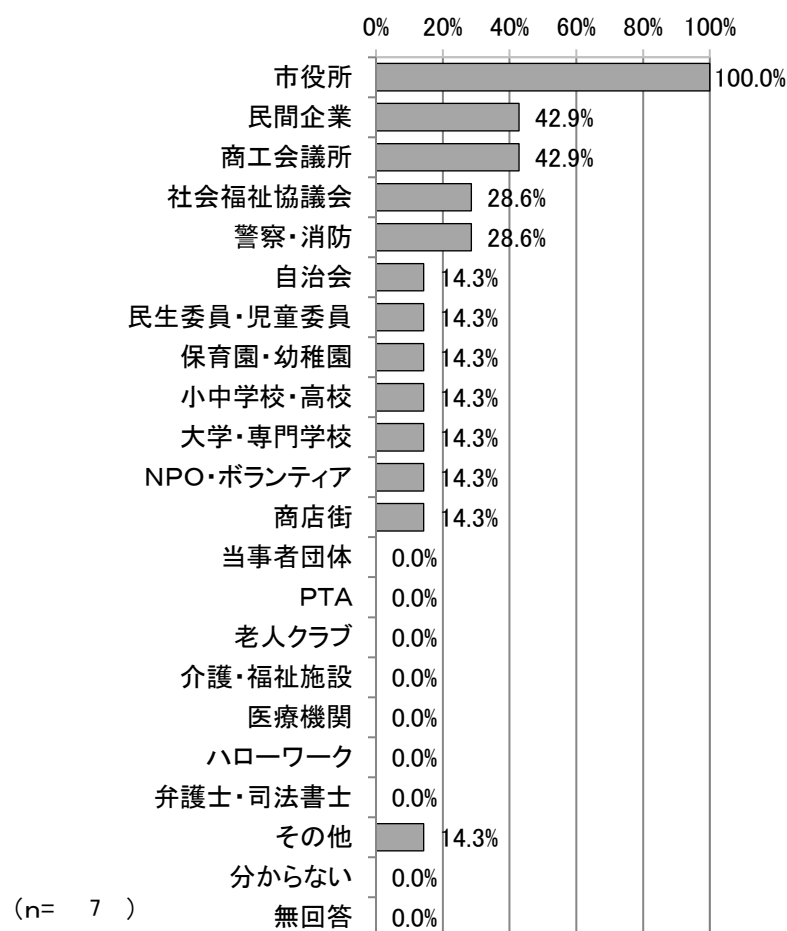
運営上の問題点・課題は、「他団体や事例等の情報不足」、「支援を必要とする人の情報不足」がそれぞれ 28.6%となっています。



② 連携・協力関係

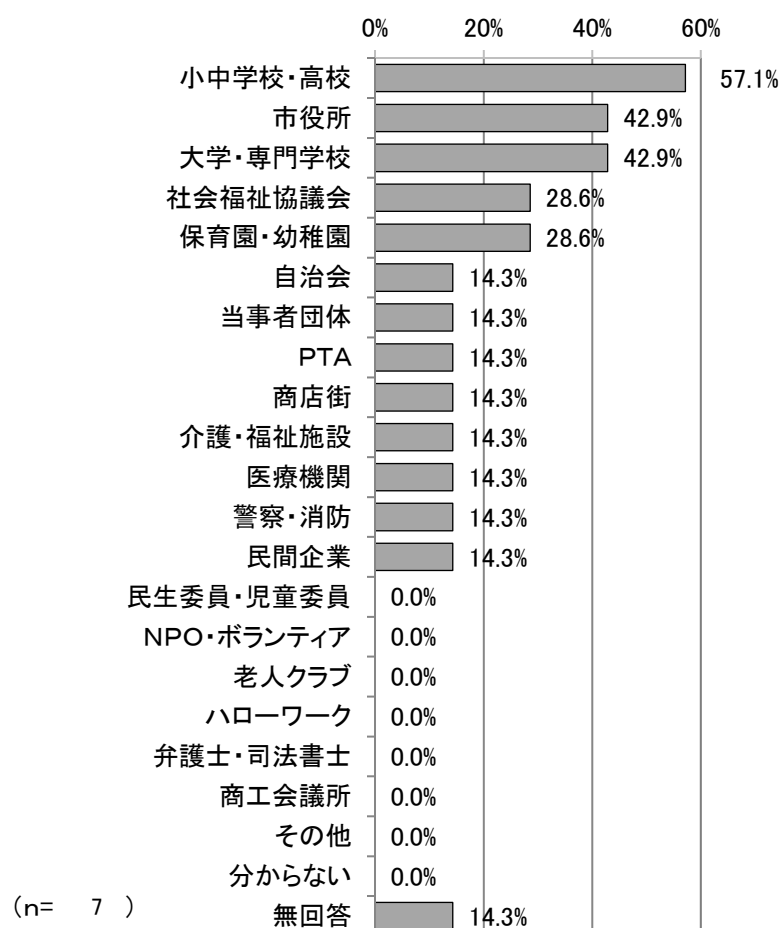
問10 貴事業所は地域での活動を行う上で、以下の選択肢のような団体や組織と連携・協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

連携・協力関係は、「市役所」が100%となっています。



問11 問10の選択肢のうち、貴事業所が今後連携・協力関係を深めたい団体や組織があれば、番号をご記入ください。(いくつでも可)

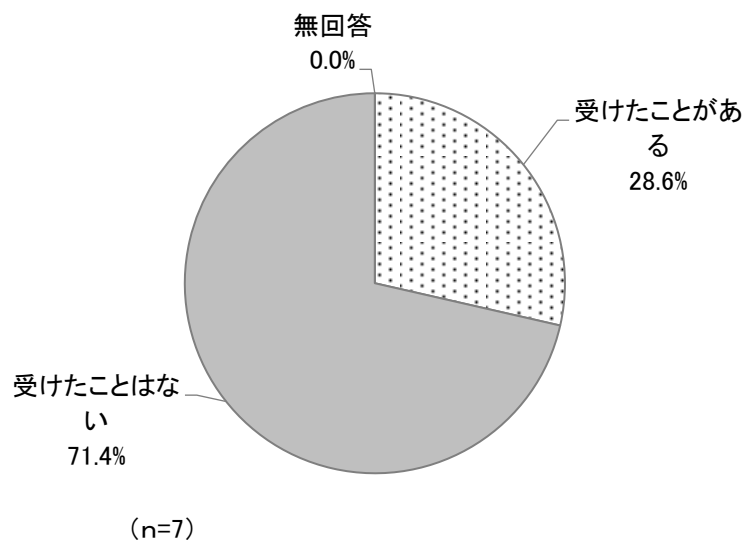
今後連携・協力関係を深めたい団体や組織は、「小中学校・高校」が57.1%と最も多くなっています。



③ 困りごと等の相談

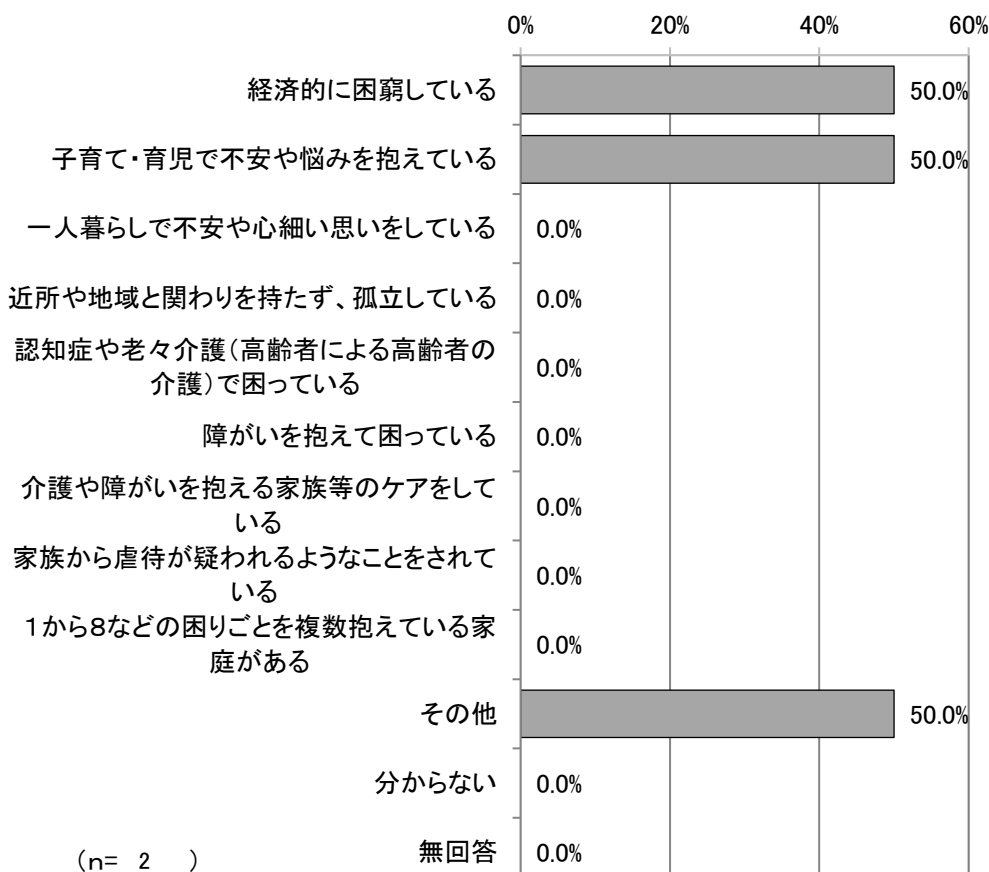
問12 貴事業所の活動を通して、市民の方から生活上の困りごと等の相談を受けたことがありますか。(1つに○)

困りごと等の相談は、「受けたことはない」が71.4%となっています。



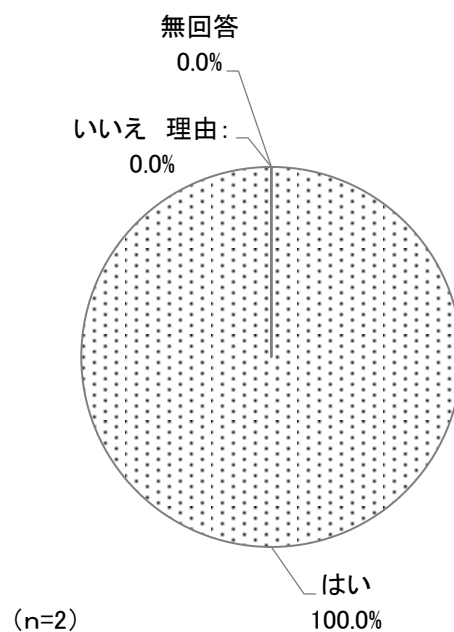
問12-1 (問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に) どのような相談内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

相談内容については、「経済的に困窮している」、「子育て・育児で不安や悩みを抱えている」がそれぞれ50.0%となっています。



問1 2-2（問1 2で「1. 受けたことがある」とお答えの方に）解決または解決のきっかけに至りましたか。（1 つに○）

解決または解決のきっかけに至ったかについては、「はい」が 100.0%となっています。

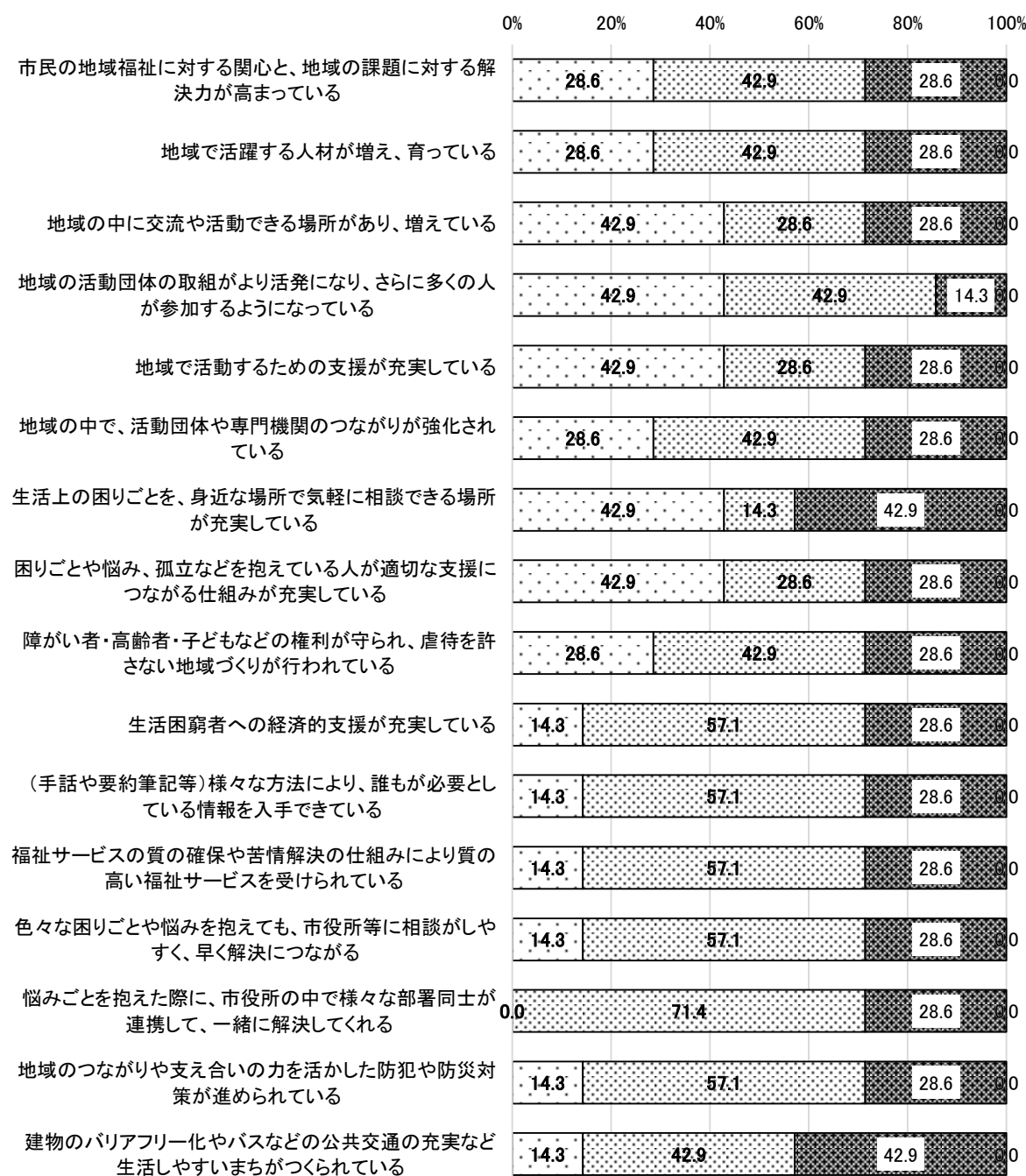


4 越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等について

① 越谷市の地域福祉の現状

問13 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。(項目ごとに1つに○)

『できている』(「できている」と「ある程度できている」の合計)が最も多いのは「地域の活動団体の取組がより活発になり、さらに多くの人が参加するようになっている」である一方、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「生活上の困りごとを、身近な場所で気軽に相談できる場所が充実している」、「建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつけられている」となっています。



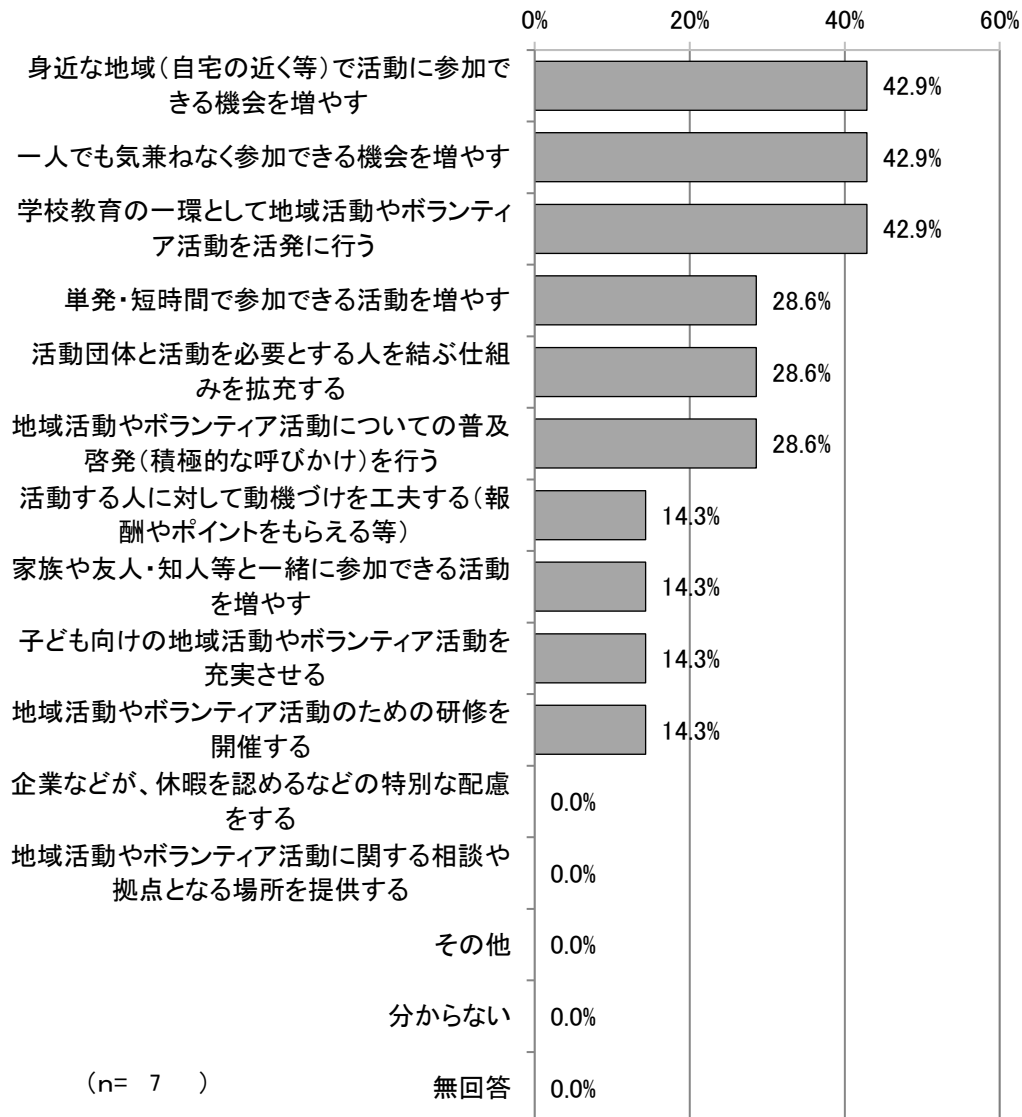
(n=7)

□できている □ある程度できている ■あまりできていない ■ほとんどできていない □無回答

② ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なこと

問14 ボランティア活動・NPO 活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

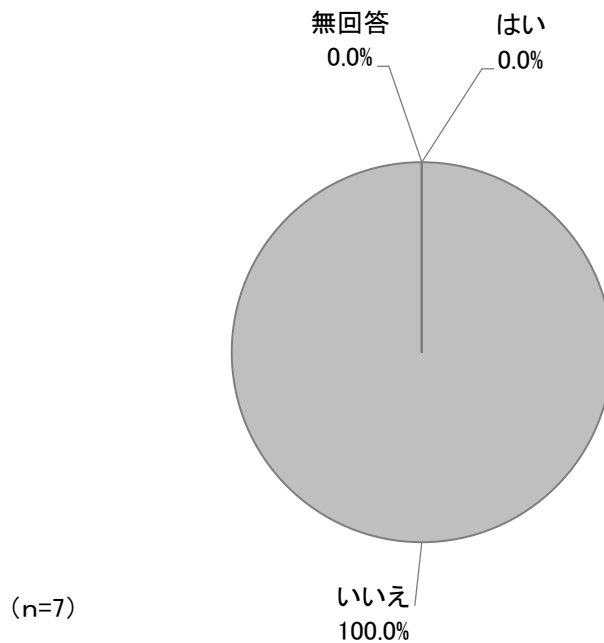
ボランティアや NPO 活動を広げるために必要なことは、「身近な地域（自宅の近く等）で活動に参加できる機会を増やす」、「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」、「学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う」がそれぞれ 42.9%となっています。



③ 個別避難計画の認知度

問15 越谷市が推進している、越谷避難行動要支援者支援制度における「個別避難計画」についてご存じですか。(1つに○)

個別避難計画の認知度は、「いいえ」が100.0%となっています。



(問16 (話し合いへの参加意向) については省略)

④ 越谷市の福祉に関する意見・要望・提案

問17 越谷市の福祉に対するご意見・ご要望・ご提案等がありましたら、お書きください。

- ・さまざまな情報がもっともっと市民に伝わるといいと思います。

Ⅲ 調査結果：団体ヒアリング

Ⅲ 調査結果：団体ヒアリング

1 各回の結果

団体ヒアリングで出された意見・アイディアの一覧表は次の通りです。

（参考） 当日のプログラム

- 1 はじめに（本日の目的）
- 2 第4次越谷市地域福祉計画について
- 3 アンケートの結果一部紹介
- 4 意見交換
 - テーマ①「地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織」
 - テーマ②「今後連携・協力関係を深めたい団体や組織」
 - テーマ③「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

（所要時間は約1時間）

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

役所・社協関係	福祉等の専門職・関係者
・越谷市 ・越谷市保健所 ・ハローワーク ・社協 ・生活自立相談「よりそい」 ・越谷地区更生保護女性会 ・さいたま保護観察所 ・埼玉県春日部保健所	・更生保護女性会 ・埼玉県保護司会連合会 ・さいたま保護観察所 ・埼玉県観察保護協会 ・埼玉県就労支援事業者機構 ・更生保護法人 清心寮 ・埼玉県保護司功保会
地域関係（自治会・学校等）	その他
・PTA ・小中学校 ・自治会としては大学と連携 ・越谷アルファーズ ・民生委員、児童委員	・警察・消防 ・埼玉更生保護地域連携拠点事業 ・駅（東武、JR） …市内8か所の駅で周知・PRのための ビラ配り

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

役所・社協関係	福祉等の専門職・関係者
・越谷市 (県の埼玉更生保護地域連携拠点事業は、越谷市が県内初！) ・社協の「地域支援コーディネーター」 (地域内の連携の輪を広げている)	
地域関係（自治会・学校等）	その他（民間・企業）
・高校 ・大学	・レイクタウン(⇔吉川市はイオンと協力している) ・駅（現在は、駅での周知活動の協力に対して感謝状を提供） ・住居関係を支援してくれる企業・ボランティアなど (現在は、当事者の知り合いやボランティア精神の高い企業が住居をあっせんしている)

3「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

仕事

- ・再犯防止には、仕事と住まいが大事
- ・仕事はあるが、当事者とのマッチングが難しい（現在は、ハローワークを利用し、合う仕事を見つけている）

収入

- ・仕事を始めると生活保護からはずれることがあり、働かなくて良いと思う気持ちも出る。就労意欲の低下。

贖罪（しょくざい・罪を償う）

- ・贖罪プログラムの実施（現在、行っている）
 - …ご本人や家族が償っていく。被害者に謝ってお詫びしたくても会うことができない、または時間が経った後に金銭的な賠償を家族が代わって負担することもある。
 - …プログラムを実施することで、本人の更生につながる（被害者への償いになり、犯罪への罪の意識が芽生える）

住まい

- ・住まいは比較的確保しやすい（引受人が住環境を支援する）
- ・火事を出して焼き出された際に、市が一時的な住まいを提供してくれたことがあった

当事者の家族への支援

- ・当事者の家族の問題についても相談を受ける
 - 直接関わることは禁止されているが、支援に「つないで」いくことはできるのではないか
- ・相談内容で、保護司では対応できないことはネットワークを活用して専門的なところに相談したり行政が対応したり

当事者や家族の抱えている課題の解決支援

- ・障がいなどの困難を抱えている場合がある（例：知的障がいがあり、性犯罪を犯して、医療少年院に行ったケース）
 - …親が本人の障がいを認知していなかったことが背景にあった→障害者手帳をとり、親に説明を行った。
- ・身体と精神の両方の障がいを持っていたケースがあった
 - 清掃の仕事に就いた。仕事に毎日行きたくない日もあるため、勤務は4日に調整した。

地域とのつながり

- ・入学式や卒業式・運動会に招待されて参加している保護司もいる
- ・再犯防止を社会で理解して受け入れる体制が必要

対象者の変化（多様化している）

- ・（再犯率は約5割となっているが）高齢者は再犯が多い傾向にある（家族からつまはじきにされているなどの背景がある）
- ・若い世代が減っている

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織	
地域施設	自治会
<u>公民館</u> <u>地区センター</u> <u>地域包括</u> ・地域包括支援センター ⇒ 市役所（包括支援センター）に連絡している ・地域包括と連携している ×サロン	・自治体同士で連携 ・自治会加入率低下している（課題） ・市、支部、自治会、サロンが相互に連携 ・高齢化、自治会加入率、孤独死の課題 ・回覧で意思疎通（自治会） ・自治体の回覧で困りごとを把握している。 回覧は単身高齢者の安否確認にも活用されている
防災組織	その他
・消防、警察	・学校、教育関係 ・ふれあいサロンで収集した情報を自治会と共有している ・民生委員の担当世帯が多くて全て見れない ⇒ ふれあいサロン立ち上げ
2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織	
・ふれあいサロン、民生委員がもっと自治会と協力が必要（自治会の役員が変わる）	

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

情報共有

- ・地域の情報をいかに組織内で共有するかが重要
- ・避難行動要支援という制度を知らない人もいた
- ・情報が必要になったときにどこと連携するか知っていることが重要
- ・内容によって連携できる体制が大切。仕組みを知る
- ・いざという時に連携できる体制づくり

サロン活動

- ・体操教育など身近な活動を開催すること
- ・高齢者の健康も相談も同時に対応できる
- ・身近な相談場所としてサロンを活用していく
- ・たわいもないおしゃべりから相談をキャッチして相談内容をつなげる
- ・活動内容を充実させ、参加者が増えることで、より多くの参加者の声が聞ける
- ・高齢者の情報を吸い上げるためサロンを開始した

要配慮者への対応

- ・要支援者がいると地域・周囲の人に支援可能か確認している
- ・自治会、民生委員は要支援者を把握している
- ・外国人の方への対応

民生委員

- ・地域からの情報がないと動けない ⇒ 情報ください

地域役員の連携

- ・自治会×民生委員×サロン
- ・自治会の役員に民生委員やサロン主催者に入ってもらう
- ・民生委員の守秘義務があるので、なかなか共有が難しいこともある
- ・学校区、自治会、民生委員の担当エリアが入り組んでいる（行政からの情報が抜けるときがある）

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

地域包括支援センター・社協・市役所	警察・小学校
・地域包括支援センター ・市役所（生活福祉課など） ・相談内容の案件を担当する行政各課を把握して割り振っている ・生活自立相談「よりそい」 ・社会福祉協議会	・警察（交通安全の関係） ・自治会の子どもの見回り活動で小学校・警察と協力している
専門家	周辺自治体・地域内
・弁護士 ・民生委員 ・児童委員 ・自治会と民生委員と包括支援センターのつながりが重要である	・周辺自治体が協力して、お祭りを企画開催したり、地域のクリーン活動を行っている ・防災団が、高齢世帯の見回り活動等を行っている

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

地域包括支援センター	行政
・自治会の高齢化が進んでいるため、地域包括支援センターとの連携を強化したい ・在宅ケアなどの講演を行ってほしい	・困りごとや福祉支援を求めている人は自治会未加入の方が多い ・行政が自治会に加入する重要性について発信してほしい →昔は転入時に自治会加入を呼びかけていた ・自治会外へ地域の情報が届かない ・離婚時のローン問題 ⇒自前で解決できることはやっている ・地域活動を行うにあたり、地域共生推進課と連携したい
	周辺の自治会
	・自治会単位で区切らずに、地域全体で自治会館を使えるようにしたい ・地域全体で見守りを行う

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

これまであった相談

- ・家庭内の介護
- ・单身暮らしでの困りごと
- ・貧困で生活に困っている

自治会制限なしに地域施設を活用

- ・地域全体で会館使える仕組みづくり

相談先

- ・色々な課題に対する相談があるため、相談先が分かるとよい
- ・町内会に民生委員がない
- ・町内会に子ども会がない

お金の問題は解決しにくい

- ・生活支援は対応しているが、一人暮らしの高齢者が増えている
- ・お金に困っている人の対応が必要
- ・地域包括支援センターとの連携を強化させ、地域へ周知する。
- ・お金の問題は相談先がなく、民生委員でも対応が難しい。
- ・单身暮らしやお金関係の悩みを自治会で聞いても解決しにくい
- ・お金関係などに関しては、民生委員やクラブでは立ち入れないことが多い

気軽に集まれる居場所

- ・居場所づくり

SNS 活用

- ・LINE を活用して自治会内で情報を共有する
- ・自治会報を毎月作成したり、オープンチャットを開設するなど、自治会活動の活性化に取り組んでいる

自治会の重要性を発信・メリット

発信

- ・地域内での班長の役割の重要性を発信し、自治会への加入につなげる
- ・行政が自治会加入率向上の取組を行う
- ・自治会加入していない支援が必要な人がいる
- ・若い層の自治会未加入が課題
- ・転入者に自治会のメリットを聞かれるが、これといったメリットを発信できていないため、自治会のメリットを広く PR して加入率の促進を目指す
- ・自治会役員の後継者が不足している。また、役員のなり手がなく、自治会の存続が心配

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

地域包括支援センター	行政	マンション等住宅の管理組合
・地域包括支援センター →自治会で解決完了できないことは、地域包括支援センターにつながっている。 ・交番の仕事関係から、相談が多い。相談内容は地域包括支援センターや民生委員につながることが多い。	・越谷市役所の地域包括ケア課につながることもある。 ・介護保険加入のため包括につなげた	・マンションの管理組合
民生・児童・福祉委員/サロン		近隣住民
・民生委員 ・福祉推進委員 ・児童委員 ・あじさいサロンでは、介護予防体操や食事会を行っており、普段の活動の中の何気ない会話から、地域住民の困りごとを把握している。		・近所同士で買い物代行を行っている ・住民主体で共助する活動も公募をすると協力者が集まるほど、地域に人材はいる ・地域住民同士の問題であれば、自治会長が間に入ると解決するケースも多い

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

専門家	地域
・転入時の新居が市の際にあわせて、不動産会社に自治会の加入をPRしてほしい	・地域とのつながりを強化相談していきたい
自治会	その他
・自治会×サロンで活動を行いたい	・転入者が増加し、地域の関係が希薄化することで、顔見知りが少なく相談しやすい場合がある

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

<u>地域コミュニティ</u> ・高齢化が進むと地域のお祭りやイベントが開催できない ・自治会の仕事内容をマニュアル化させ、引継ぎしやすくする ・地域コミュニティへ参画させる方法 ・コミュニティ醸成にはお祭りなどの活動が大切だが、人や資金が必要となる	<u>買い物難民</u> ・町内にスーパーがないので買い物難民が増加している ・支え合いの会の桜井地区のボランティア（30人）が集まり、地域の方の生活支援（買い物支援など）を行っている	<u>サロン</u> ・サロン利用者は自治会加入者多いため、自治会に入っていない人にどのようにサロンの情報を届けるかが課題である
<u>相談・居場所</u> ・相談しにくいことを抱える人が（自死遺族など）が相談できる場所、居場所が必要である。その相談場所の周知も併せて行う。 ・自死家族が相談できる場所継続的に実施していけるようにする必要がある	<u>活動継続</u> ・後継者不足による活動の継続が課題 <u>空家</u> ・空家が増加しているため、孤独死を無くすための交流会を実施する	<u>通院</u> ・病院の付添、車イスの対応が課題 ・足が悪くなったときの手段がない ・敬老会（地域行事）の物品配布世帯が多い ・病院の付添支援は難しい
<u>ちょっとした問題の相談場所不明</u> ・家庭の問題（ささいなこと）があった時、どこに相談したらいいのかわからない ・家の故障などどこに相談したらいいかわからないことがある		

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

役所・社協関係	福祉等の専門職・関係者
市役所、保健所、教育センター 市役所や保健所から紹介を受けることはあるが、こちらからの連絡は多くはない。 家庭内の関係性が悪化し、一人暮らしをはじめようとする対象者の方を生活福祉課に案内することはある。教育センター等と不登校支援事業「わくわく体験プロジェクト」を開催	就労のため A 型の就労訓練をはじめる利用者がいるが、本人がしたいと思うと自発的に調べ利用している。 本人のリサーチ力は高く、あまりこちらが案内するというかたちではない。結果的に合う・合わないはあるものの、本人が自ら選択し始めるということが重要。
地域関係（自治会・学校等）	その他
学校からの不登校の相談はないものの、フリースクールに通っている子どもの学内の校長と座談会のようなものは開いている。	「連携」というかたちで他機関を紹介するだけでは、当事者にとってはたらい回しと感じてしまうこともある。自団体で対象者の相談を受け止め、ゆっくり丁寧に対話することが重要。

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

行政	福祉等の専門職・関係者
前述のとおり、生活保護の利用に至る事例もあるため、情報は常に最新にしていきたい。 本人がひとりで役所等に出向き、手続きを進めていくなかで都度これまでの経緯や自身の状況を窓口で説明するのは負担、例えばワンストップ窓口や本人の状況を把握しているコーディネーターのような人が手続きに同行するような仕組みがあるとよいと思う。 （高齢福祉でいうところの地域包括支援センターのような存在）	
民間・企業	その他
	民生委員児童委員といった地域の方との連携については、あまり地元の人に知られたくないという対象者や家族の思いもあるので慎重にすべきと考える。 また、同級生に会いたくない、学校の近くをとおりたくないといった地元を避けたいという方もいるため、例えば自治体間での広域的な連携は有用な側面もある。

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

広報

電話やメールによる相談を受ける。本人からの相談が多いのは、自ら検索して見つけてくるからではないか。

わかりやすいネーミングが相談しやすさに繋がっているのではと感じる。LINEなどSNSを使っただけの相談を受けられるとより使いやすいとは考えている。行政が、地域資源として自団体を紹介してもらうのはよいと感じている。

家族会のあり方

広く開放しての開催で予約制を取らず自由に参加できる。新しい方もいらっしゃる。何年かぶりで来る方も多く、自由に参加できる。負担を減らしてあげるよう家族の思いを傾聴することに努めている。

孤立孤独の問題について・行政に求めるもの

孤独感を感じないように居場所（環境）づくりとして、ひとりぼっちとみられることが気にされない社会であるといい。学校での「ぼっち」と呼ばれるが、ひとりだからといって必ずしも何かすべきというわけではない。

引きこもり支援では、（その人との信頼関係の構築のために）付き合うのは気合がいる（長い時間をかけて）。行政は担当者が数年で変わってしまう、中途半端な支援ではむしろ傷つけてしまう。例えば夜間の居場所づくりとしてのトー横での相談窓口の問題等。孤立孤独や引きこもり支援を行っている団体を応援する方がいいのではと感じる。そういった団体が透明性をもって活動できるのが重要、子ども食堂は良い例ではないか。対象者に声を届けるのは重要、しかしサービスややりたいことの押しつけにならないようにしていかななくてはならない。「ほっとりんご」にいつか行きたいという相談者の声もある。本人がいつか訪れてみたい、そういう拠点があると良いと思う。

※その他（相談内容の傾向）

県内でも越谷市からの相談件数は一番多い、市内での知名度は高いと感じている。50代以上の相談もあるが、むしろ20～30代からの相談が多く感じる。本人からの相談の場合、第一に自身の話を聞いてほしいというかたちでの相談が多い。

こころの健康支援室ではむしろ本人からの相談は少ない、こころの病気を連想させることが要因か。らるごも埼玉県疾病対策課が相談支援センターをお願いしているが、「疾病」と付いてしまうと本人も相談しにくい。本人が見つけやすく相談しやすい看板が重要ではないか。

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

役所・社協関係	福祉等の専門職・関係者
福祉総務課、公民館 ※各種イベントにあたり市の福祉総務課に相談、情報提供をもらう。 ※地区別（9支部）にミニ集会を開催し、更生保護女性会の活動報告を行い周知している。	地域包括支援センター ※更生保護女性会として個人の相談を受けることは非常に稀であるが、場合によって地域包括支援センターへ相談。 ※左記ミニ集会メンバー 保護司 ※更生保護に係る業務で連携、保護司は対象者のみの支援であるが、逆に更生保護女性会では対象者の家族から相談を受けており、補完する関係性。
地域関係（自治会・学校等）	その他
自治会 ※上記ミニ集会メンバー	

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

教育関係	福祉等の専門職・関係者
小中学校のPTA等比較的若い世代のママに加入の案内をしたい。地区によっては関係性があり実施しているが、関わりがない地区ではハードルが高い。	
民間・企業	その他

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

新規活動者の増加

- ・活動メンバーの高齢化、活動を継続していくために新規加入者を集めたい。民生委員や保護司の家族を中心に勧誘している。また、地区によっては学校のPTAと関わりがあるため、比較的若い世代にアプローチしているが、子育てや就労で忙しく加入にまでは至らない。
- ・更生保護の活動に興味を持ち加入したいという大学生の相談があったが、子育て中や既婚者の対応が多い更生保護女性会ではなく、草加市の獨協大学内にあるBBS会を紹介する。越谷市にも文教大学内にかつてはあったが、現在解散。

知名度の向上

- ・更生保護女性会の活動について、知名度が低いと感じる。新規募集をするためにもまずは活動内容の普及啓発をしていきたい、またどういった世代に加入募集を案内するのが効果的か（例えば子育てを終えた世代など）

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

役所・社協関係	福祉等の専門職・関係者
市内各福祉分野の関係機関や社会福祉協議会とは内線で連絡とれるなど、情報共有はできており連携は取りやすい環境である。	ごちゃまぜの会に参加し、市内の様々な活動団体や市民活動と関わりをもつよう努めている。 引きこもり支援などでこころの健康支援室と連携。 更生保護の関連で、越谷市と草加市にまたがる連携拠点事業と関わりを持つ。
地域関係（自治会・学校等）	その他
フードバンクや子ども食堂と関わりがあり、相談者へ案内するほか、活動場所でよりそいのチラシを置いてもらい普及啓発を行うよう努めているが、そこで見たチラシをきっかけに相談に来るといった事例はない。子ども食堂やフードパントリーは子ども福祉部門と繋がっているため、子ども福祉からの案内で相談者が来ることもある。 お弁当や食事の配給を貰うだけでは交流の機会にならない。例えば、出張相談ブースなどを設けたら需要があるのではないか、潜在的に相談したい方は多くいるのではと感じる。 地区センターでの広報もお願いできないか回っているとのこと。	

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

福祉等の専門職・関係者	民間・企業
【本人同意を得るまでの継続的な関わり支援】 引きこもりの方の支援、就労準備事業や自立支援事業として家族から窓口相談を受けるが、本人同意がないと利用に至らない。 ご家族は早くどうかしたいと考え、事業や窓口について情報提供するが、本人にリーチできない。結果、早期発見しても、具体的事業につながらず家族の失望につながってしまうこともある。継続的な支援ができる相談窓口が必要に感じる、本人同意をどう得ていくかそれまでの家族との付き合い方をどうしていくか、そういった支援を行う機関があればと感じる。	例えば民間企業の作業の一部を切り出し、福祉就労・中間的就労として紹介できる体制構築を検討。地域拠点として機能できないか模索している。 年金だけでは生活できない高齢者、体調がよければ働ける方、家庭の事情で常勤できない方にちょっとした内職や軽作業をマッチングできる体制があるとよい、常用の仕事やA型作業所で継続した就労が困難であっても、業務を切り取り、そこに行けば少しの作業を得られる、働きやすい場があると良く、地域の法人と連携したいと考えている。本人は働きたいが家庭の事情で就労できない、常用就職はおすすめできない。
行政	その他

3「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

居住支援

年金で生活している高齢者は、孤独死（の可能性から賃貸を躊躇する）や収入面から保証会社の審査が通りにくい、身体的要因から物件に（トイレや建物の階数などの）制限があるなど入居までの支援に苦慮する。また生活困窮で相談に来る方の多くの問題として、転居を必要としても初期費用が用意できないといった金銭的な問題が多い。高齢者の方はもう少し早めに転居の準備を進めて居れば、多少容易に転居ができたのではと感じることがある。居住支援団体やサポートのある保険パッケージについては、お金のある方なら利用できるという印象で、利用しやすい状況ではない。

相談者の情報格差

生活困窮を克服する種々のノウハウや対応が市民の方に伝わっておらず、情報格差があるのを日々感じている。例えば、税金未納で収納課に分納の相談をするよう投げかけるも、相談したら高額な金額を請求されると思い怖くて相談できない利用者がいる、また親が介護保険料支払っておらず、いざ要介護認定を受けた際サービス負担が10割になってしまい子が負担し苦慮している事例もある。若い方では失業給付の手続きを怠るケースもあり、そういった福祉制度の情報が十分に認知されていないように感じる。

就労支援について

生活困窮者の就労支援については、時間的な余裕がないという特徴がある。自分にあった仕事を見つけて本人の望むような就労状況、スタイルを模索していくには、そもそも選択肢が少ないし、とにかく現金がないため選択を検討する余裕がない。そういった方はこれまで日払いの仕事をしていたことが多く、次の就職も日払い労働を選びがち、次の給与がでるまで待てない、そういった支出サイクルで生活している。食糧支援や社会福祉協議会の貸付にも限界があり、ハローワークでの常用就職に結びつきにくい。インターネットで仕事を探してくる方や、訓練するぐらいなら常用就労するよと意欲の高い方も一方ではいる。

子どもの貧困連鎖

アスポート（一般社団法人 彩の国子ども・若者支援ネットワーク）の利用は件数としては上下がないと思われるが、不登校の数は増えてきている。1世帯あたりの子どもの数が多い特徴。不登校をどうにか解決したいという相談もあるが、子どもを預かってくれる場所を探しているように感じる、子どもが家にいるから働きにでられない、そう主張する相談者もいる。家庭環境や生育環境をどう支援していくか、子どもの問題行動を理由に働くことができない世帯をどうしていくか課題。

地域とのつながり支援

被支援者のなかには、一部干渉されたくない傾向がある。地域とのつながりを面倒くさいと感じている印象。

中には、親と子どもが相互の依存関係になってしまっている、子どもには学校やアスポートといった居場所があるが、精神疾患を抱えた親にはどのような居場所を提供できるのかわからない。

重層的支援体制整備事業の活用

当該事業の対象はどうしても複数人を想定しているが、なかには単身だとしても重層の支援対象にした方がよい世帯もいるのではと感じる。支援の経過や終着のあり方の情報共有について、現在世帯の状況がどうなっているのか情報が入らないことがままある。また、支援にあたって本人同意を取ることの難しさがあり、引きこもり支援でも本人が支援を望んでいないケースがある。

新しい支援機関に繋ぐタイミングを図るのが難しい、色々な支援者が介入するのは被支援者にも負担となる。初めから重層担当者が付くようにした方がよいと感じる。金銭問題等の課題が即時に解決できるわけではないため、重層的支援を利用してもらうためにはどうメリットを感じてもらえるかが重要。

その他

債務整理した後どうする、現状整理後も「よりそい」が担当しているがどういった支援をしていくか捉えにくい。

企業開拓を推進していきたい。派遣会社などと連携し、日払いの問題を断ち切るために、企業開拓をして協力企業を探していくのが重要。

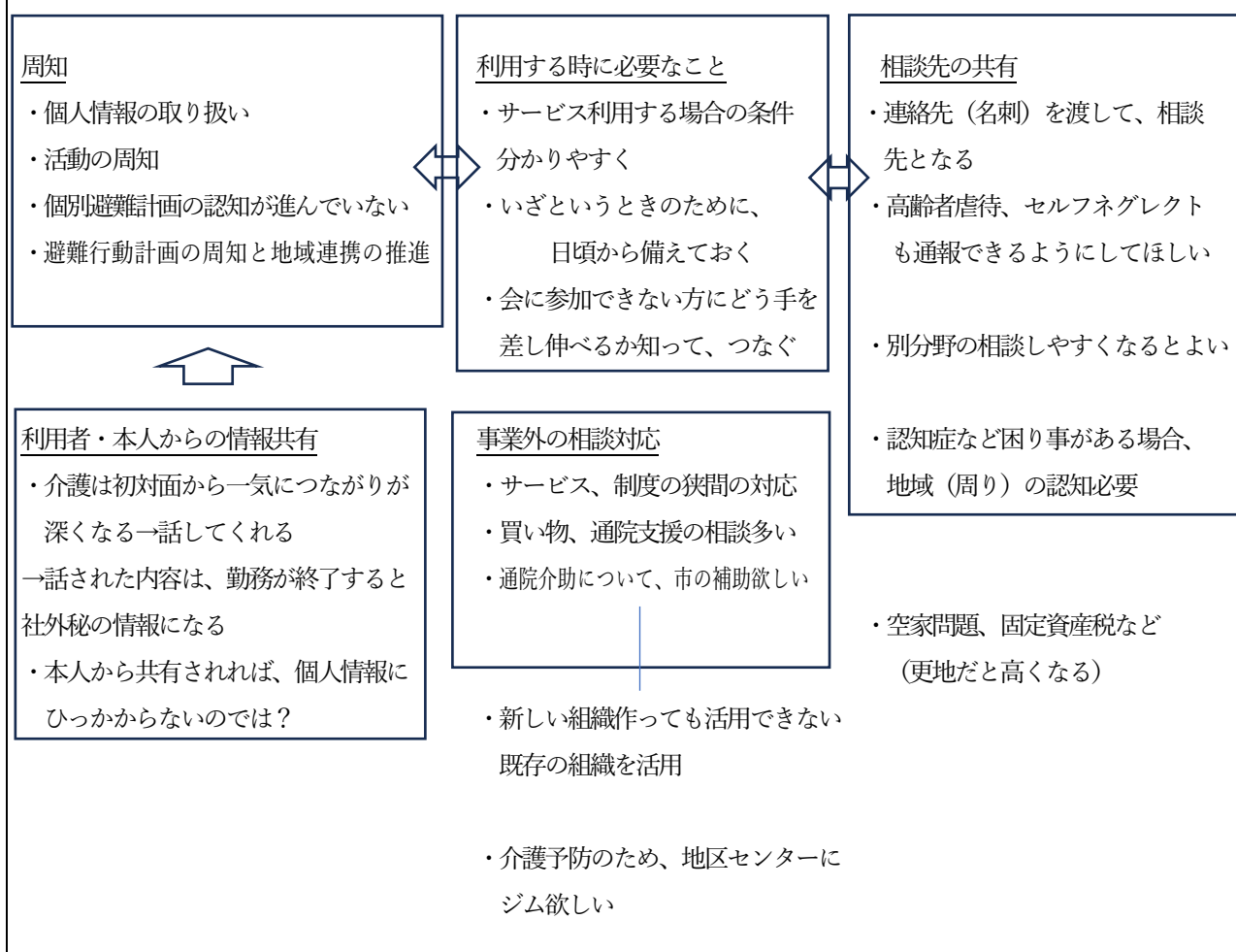
1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

家の中でのサポート	学生ボランティア
・民生委員、包括 ・社協、桜井笑顔の会 ・家の中での生活サポート（保険適応外）	・埼玉県立大学学生ボランティア団体 MAGO（学生ボランティアが高齢者と一緒に外出するなどの活動） ・おしゃべり、ランチ ・派遣前に事前に情報共有、検討がされる
地域関係（自治会・学校等）	その他
・自治会の防災部としても活動→避難の検討のための面談をしている	・商店街 PTA 以外は関わりある

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

専門職	
・専門的な知識がある人とつながりたい ・どこが担当する、どこに相談するか不明瞭	

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」



1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

ボランティア関連の団体など	
・誰もが暮らしやすい生活実行委員会 ・ボラ連 社協に相談している ・ボランティア連絡会、社会福祉協議会	・基本的に内部で片づけるため他団体との連携はあまりない

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

自治会	
・回覧板などの情報共有 ・自治会とつながられるような仕組みがあるとよい	

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

<u>利用者</u> ・それぞれに適した生活を、それに合わせて支援を行うべき ・基幹相談支援センター行けない人の支援 ・相談センターに行けない人もいるのではないかな ・アウトリーチできる仕組みサービス、組織、団体など ・システムはあると思うので、それを引き出す団体があるといいのでは <u>仕事内容</u> ・若手が入らない →福祉と民間のコスパを合わせる ・若手の担い手確保、待遇改善 ・民生委員に代わる団体があればいい	<u>進路・就職</u> ・視覚障がいというだけで就労断られる ・個人レベル加算等、判断してほしい ・中学進学時、支援級の子は学校選べない ・支援学級は選択制ができない。普通学級はできるのに <u>担い手</u> ・社協だよりの点訳など 視覚障がいの方に向けて 発信
<u>情報</u>	
<u>発信</u> ・通信をカラー発行できると周知が進む ・マイナ保険証の講習会など情報発信 ・マイナンバーの発行などの講習会などがあると高齢者も安心 ・事業所単位で役所が出張してくれるはず？ ・自治会へ入っていない人への情報共有 ・自治会入ってないと交流できない、交流なくなる →自治会との連携強化	<u>入手</u> ・越谷にどのくらいの視覚障がい者がいるのか把握しておきたい ・持ち込んだ点字物がどうなっているかがわからない

1 地域での活動を行う上で、連携・協力関係がある団体や組織

地域の活動団体・社協	自治会・教育センター
・「神社でままマルシェ」が活動のきっかけになった  ・社協を通じてサロンの立ち上げに至った	・新しい自治会（レイクタウンの周辺） 自治会の活動支援に関わっている ・市の教育センター ・地区の教育センター
異なる分野の団体	市役所
・障がい者の人達の会 （イベントのお手伝いがきっかけ） ・できるだけ積極的に出て、足を運ぶようにしている	・市のイベント（お祭り）に参加する

2 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織

専門性のある組織	市役所
・活動している団体同士のつながりはあるが・・・ （発達などの問題を解決できない）	・教育センターに直接行くのはハードルが高い。 →子育てサロンなどの小さな団体が、市とつながるとクッションになれる

3 「地域の中での困りごと等の相談を受けて、相談を解決するために必要と感じた（あったらいいなと感じた）もの」

居場所（イベントも含む）

- ・居場所が少ない（コロナで活動自体が減ってしまった・・・）
→室内でも過ごせる所がない
- 親にとってもおしゃべりや交流の機会になる

情報

- ・“活動に関する情報”が、口コミ中心でしか得られない・・・
- ・同じ立場のママたちが、発信できる機会があると良い
→団体が市役所と繋がることで、情報が届きやすくなるのではないかな
- ・イベントも居場所のひとつとして捉えている。
→夏休みは親も食事ができるようにした
- 不登校の相談があった
- ・“クッション（柔らかに受け止める場）”としての相談

IV 調査結果：学生ヒアリング

Ⅳ 調査結果：学生ヒアリング

1 各回の結果

学生ヒアリングで出された意見・アイディアの一覧表は次の通りです。

（参考） 当日のプログラム

- ・ 埼玉東萌短期大学対象のプログラム（所要時間は約 30 分）

- 1 はじめに（本日の目的）
- 2 第 4 次越谷市地域福祉計画について
- 3 市内の大学生たちによる地域活動・ボランティア活動のご紹介
- 4 アンケートの結果紹介
- 5 意見交換（グループワーク）
 - テーマ①「地域やボランティア団体、NPO などでは活動したこと、ある？」
 - テーマ②「どんなきっかけや条件があれば、活動を楽しめそう？
（参加できそう？）」

- ・ 埼玉県立大学・文教大学対象のプログラム（所要時間は約 2 時間）

- 1 はじめに（本日の目的）
- 2 越谷市について
- 3 第 4 次越谷市地域福祉計画について
- 4 市内の大学生による地域活動・ボランティア活動のご紹介
- 5 アンケートの結果（速報版）紹介
- 6 意見交換（グループワーク）
 - テーマ①「～これまで・今・ミライ…自分にとって支えやサポートになったもの、
ミライにあったらいいなとおもうこと」
 - テーマ②「地域やボランティア・NPO での活動について」

これまでに地域やボランティア・NPO で活動したことは、ありますか？

Yes (→活動の内容、きっかけなど…)	No (→理由・背景など…)
<u>活動の内容</u> ・かがくわくわく広場でのイベント ・子ども向けの講座 ・児童館でのお話し会 ・ジュニアリーダーの育成 ・多世代の交流イベント（盆踊りなど） ・ラジオで絵本の紹介 ・地元のパン屋さんとコラボレーション (←大学の先生がコラボ先を探して開拓した！) <u>活動のきっかけ</u> ・先生からの紹介や学校の掲示板を見て… ⇒SNS は、あまり（きっかけとしては）見ないかも ・内容を見て「楽しそう」と思った ・（保育士の）実習で人前に立つ前に、経験しておきたかった	

どんなきっかけや条件があれば、地域やボランティア・NPO での活動を 楽しみたい・やってみたいと思えますか？

活動に興味をもてるためのきっかけ（どんな情報・人・場所・モノ etc…が大事？）

人 ・「一緒にやらない？」と誘ったり、誘われたり…お互いに、何に関心あるか知っているから（活動も紹介しやすい）

情報

- ・活動中の写真を撮って、発信している…インスタとかで#関連で流れてきたら、見るかも！
⇒他の団体の情報を、積極的に見ることは少ないかも… Instagram などの SNS は、「娯楽」として見るので、文字だけの情報や、自ら調べないと入手できない情報だと見ない
- ・文字だけでの発信ではなく、写真（活動の様子）がわかると良い。
- ・ボランティアの情報を見るために検索はしない。
→ボランティア情報について市のインスタ等で発信があると見るかも。

場所 ・大学関連や地元関連など、自分の生活圏内のボランティアであると参加しやすい。

活動を実際にやってみる時に「こうだったらいいな～」と思うこと （情報・人・場所・モノ・お金 etc…）

報酬・インセンティブ

- ・お金が出ないと大変（遠いと負担になる）…お菓子一つでも嬉しい！（気持ちの面で）・お弁当が出るとかも、嬉しい！（助かる）

自分自身のメリット（経験になる）

- ・自分たちの分野（ex.保育）や好きなコトで活動できること（→自分の経験にもなる）

参加の仕方

- ・オンラインで参加表明する、という方が気楽かも…（QR を読んでいて、後で書いてもいいから）

人間関係

- ・人間関係は気になる（世代の違いはあまり気にならない…同世代だと、逆に気をつかう面も。でも仲良くなれたら、嬉しい！）
- ・人間関係については、コミュニケーションをとりやすいかどうかが重要。
- ・前提として、友達と参加することが多い。日程が合わない等の理由で1人参加になることはある。

これまで（小学校ごろ～大学生の現在まで）で、自分にとって支えやサポートになったもの（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

身近な人

・家族

学外（地域）

- ・習い事（フルート）
- ・塾
- ・学校の先生（サタデー・スクール）
- ・近所の駄菓子屋（おじいちゃん、おばあちゃん）
- ・習い事（他市）
- ・部活の外部コーチ、教えてくれる地域の人
- ・子ども会、ジュニアリーダーズクラブ

学校

- ・高校の時の隣の席の友人
- ・高校の先生（2件）
- ・小学校の特別支援学級のボランティア
- ・学校の保健室
- ・中学三年生で同じクラスになった子
- ・友達
- ・学校
- ・学校のカウンセラー室

これまで（小学校ごろ～大学生の現在まで）で、あったらより良かったと思う支えやサポート（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

- ・自治会に入るメリット

これからのミライ（社会人・介護・子育て・趣味等）で、自分にとって支えやサポートとしてあってほしいもの（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

共通の趣味・悩み

- ・多世代と交流できるサークル（音楽系）
- ・サークルやサロンを通じた交流
- ・同じ悩みを持つ人が集まることができる場所

子育て

- ・子育てサポート

介護

- ・介護、早期に相談できる機関
- ・親が要介護の状態になったとき24時間相談できる場所

場所

- ・静かな場所
- ・税金、手続きなどについて、教えてくれる場所
- ・制度が分かりやすくなる情報（市役所以外）

意見交換の場

- ・自治会の入らない側の意見交換会

自治会を活用できないか？

これまでに地域やボランティア・NPO で活動したことは、ありますか？

Yes (→活動の内容、きっかけなど…)	No (→理由・背景など…)
・ 特別支援学級でのボランティア (通っていた小学校の先生からの誘いがきっかけ) ・ 不登校の子どもへの学習支援ボランティア (先生からの誘いがきっかけ) ・ ごみゼロ運動 (小学生、参加が当たり前だった) ・ ひきこもりリレートサポーター (大学の授業内の紹介) ・ 中学校 (ジュニアリーダー) →子ども会のイベント企画 (友人からの誘い) ・ 大学からの情報 ・ 「学習支援室」小学生～高校三年生までの学習支援 (友人) ・ 「保育園」子どもと遊ぶ (地元の社協) ・ 「児童館」子どもと遊ぶ、イベント運営 (地元の社協) ・ 他市の事例も！	・ 一人だと不安 (勇気がいる) ・ ボランティアの情報を知らない (→調べなきゃ) ・ 時間がない ◎友達と一緒にだと参加しやすい ◎進んでボランティア情報を検索しない

どんなきっかけや条件があれば、地域やボランティア・NPO での活動を 楽しみたい・やってみたいと思えますか？

活動に興味をもてるためのきっかけ (どんな情報・人・場所・モノ etc…が大事？)

参加のきっかけ

- ・ 自分と関わりのある人 (友人・学校の先生…) からの誘い
- ・ 最初に見学や体験ができる

自分の分野・将来につながる

- ・ 自分の趣味や得意分野の活動内容
- ・ 将来やりたい仕事の人がいるとか、仕事の内容
- ・ 夏休み中は単発で色々

つながり

- ・ 一人でやっても不安にならないようなこと
- ・ 他のボランティアの人と協力してできる活動
- ・ 相談しやすい

その他

- ・ ボランティア同士の交流がある

活動を実際にやってみる時に「こうだったらいいな～」と思うこと (情報・人・場所・モノ・お金 etc…)

場所

- ・ 行きやすい場所 (交通便○)
- ・ 地域ボランティアなら輪に入りやすい
- ・ 自宅から徒歩圏内の活動場所 (10 分ぐらい)
- ・ 家から近い場所 (遠くても交通費が出る) (車で 20 分)

事前情報

- ・ 雰囲気分かる情報 (動画、スケジュールなど)
- ・ 楽しいと思える活動、時間がある
- ・ 写真だと (心理的に) 遠い。
- ・ 一日のスケジュール (・やる内容・場所)

申込み

- ・ 事前予約、連絡なしでも OK
- ・ 大学からのメール
- ・ オンライン

お金 (タイトル)

- ・ お金 (交通費、有償ボラ)

これまで（小学校ごろ～大学生の現在まで）で、自分にとって支えやサポートになったもの（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

場所

- ・児童館（学校終わりに友だちと遊べる）
- ・小学生の時に通ってた学童
- ・地域のスポーツクラブ（親以外の大人と接する機会に）

人（大人・先生）

- ・自分を否定しないでいてくれる友人
- ・隣の優しいおばあちゃん
- ・塾の先生
- ・担任の先生（中学）

仲間

- ・部活動
- ・大学の教授
- ・同じ目的を持つ人たち
- ・あるがままを認めてくれる人

お金

- ・奨学金（大学の費用に充てられた）

これまで（小学校ごろ～大学生の現在まで）で、あったらより良かったと思う支えやサポート（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

体験

- ・児童館での体験活動

お金

- ・受験料減額

自分を認めてくれる人

これからのミライ（社会人・介護・子育て・趣味等）で、自分にとって支えやサポートとしてあってほしいもの（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

情報

- ・結婚前にやったほうがいい情報
- ・制度の情報を分かりやすく

介護

- ・介護のハウツー
- ・送迎つきのデイサービス
- ・遠方の家族・親の介護で安心できるしくみ

保険・契約

- ・良い保険会社の情報
- ・契約の方法

趣味や友人

- ・共通の趣味とかの話ができたりする場
- ・友人

子育て支援

- ・子育てについてのハウツー
- ・夫婦別姓
- ・土日祝日も預かってくれる
- ・子育て支援団体

気軽な相談

- ・気軽に悩みとかを相談できる場

保育所

これまでに地域やボランティア・NPO で活動したことは、ありますか？

Yes (→活動の内容、きっかけなど…)	No (→理由・背景など…)
<u>内容</u> ・夏休み中の小・中学生への学習支援 ・ひきこもりの方への訪問、会話、ゲーム ・ゲートキーパー同士の交流、支え手の悩みを共有する ・コロナ禍での子どもたちの勉強の場を確保、見守り ・部活のボランティア活動（切り絵や校内運動会） ・地域のハロウィンイベントのスタッフ ・プロ試合のチケットもぎりや誘導 ・地域のマルシェに参加して託児をしていた ・放課後等ディサービス（子供たちと遊ぶ） <u>きっかけ</u> 身近な人からの紹介 ・大学からの紹介 ・姉の紹介 ・部活の先輩からの紹介 ・ボランティア団体からの紹介 自分の経験になる ・自分の経験のため	<u>お金がかかる</u> ・近場でやってないとお金もかかるし、行くのが大変 <u>時間がない</u> ・ボランティアにさける時間がない <u>顔が見えない</u> ・どんな人がメンバーなのか分からなくて怖い <u>どう探したらいいかが分からない</u> ・どんなサイトで見つけられるのか、よく分からない ・地元でやろうと思っても、あまり見つからない

**どんなきっかけや条件があれば、地域やボランティア・NPO での活動を
楽しみたい・やってみたいと思えますか？**

活動に興味をもてるためのきっかけ（どんな情報・人・場所・モノ etc…が大事？）

- ・オンラインでの参加ができるもの
- ・所属している団体・居場所と地域の交流・コラボ
- ・住んでいる所から近い活動場所
- ・仲が良い人からの紹介で、一緒に活動できる
- ・信頼できる情報源（市とか学校とか）
- ・近い年代の人が活動している
- ・活動の様子の写真が見たい
- ・同世代の人
- ・単発、短期でできる、都度メンバー募集等

**活動を実際にやってみる時に「こうだったらいいな～」と思うこと
（情報・人・場所・モノ・お金 etc…）**

- ・駅近の場所
- ・ある程度の交通費
- ・活動場所までの交通費
- ・お金（アルバイトの時間を削ってしまう）
- ・新しい参加者も仲間に入れてくれる
- ・参加意向の連絡フォームが設定されて欲しい
- ・ルールの規定（参加率）
- ・内容とかがよく分かると良い（過去の活動についてどんな感じだったのか）
- ・身軽に参加できると良い

これまで（小学校ごろ～大学生の現在まで）で、自分にとって支えやサポートになったもの（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

人

- ・家族（2件）、友達（3件）、ネット
- ・親 ・祖父母
- ・近所
- ・近所の友達（家に遊びに）

組織

- ・部活（2件）

イベント

- ・お祭り等の楽しめる行事
- ・図書館でのイベント（読み聞かせ上映会）
- ・神社で町会主催のお祭り

場

- ・公民館（卓球）
- ・図書館
- ・学童
- ・児童館
- ・高校の学習指導室
- ・インターネット全般
- ・公園

情報

- ・経験談
- ・印象談

これまで（小学校ごろ～大学生の現在まで）で、あったらより良かったと思う支えやサポート（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

場

- ・無制限な話し合いの場
- ・自由に過ごせる場所
- ・球技ができる場所（ゴール・コート）
- ・公園の遊具 ・遊び道具の貸し出し
- ・自由に使える屋内スペース
- ・子どもでも気軽に遊べる公園以外の遊べる場所
- ・夜の学食

相談

- ・身近に相談できる相手（学校で）
- ・一人暮らし仲介

組織

- ・部活（もっと交流がしたかった）

助成

- ・自治体による家賃補助

これからのミライ（社会人・介護・子育て・趣味等）で、自分にとって支えやサポートとしてあってほしいもの（人・組織・居場所・場所・情報・SNS等）はありますか？

（どんな人・組織・居場所・場所・情報・SNS等…？）

趣味・ネット

- ・フルダイブ型の生活により身近なネット環境
- （ネットがより身近に生活にとけこむ）

相談

- ・身近に相談できる場所
- ・一人暮らしの仲介人
- （保険や生活費のあれこれを教えてくれる人）

生活

- ・自治体介入による補助（家賃など）

これまでに地域やボランティア・NPO で活動したことは、ありますか？	
Yes (→活動の内容、きっかけなど…)	No (→理由・背景など…)
<u>学校のメールで</u> ・災害ボランティア ・家族会の全国連絡会の道案内(大学の学内メールでの紹介) <u>インターネットでの検索</u> ・チャリティサンタ (インターネット) ・NPO のイベント、祭りの手伝い ・自分の勉強になった <u>学校の掲示板</u> ・地域のお祭りの手伝い ・スポーツ大会の補助 ・中学校からの紹介 ・学校の掲示板 <u>学校の単位・レポート</u> ・ボランティア側の大変さ。別視点で知れた ・さいたまマラソンの補助 ・さいたまマラソン給食エリア <u>地域の友だちの紹介</u> ・神社の清掃活動 (きっかけ：回覧板) ・敬老会の手伝い (きっかけ：友人) ・ゴミ拾いマラソン (きっかけ：友人に会う) ・ゴミ拾い (部活の単位) →強制参加	

どんなきっかけや条件があれば、地域やボランティア・NPO での活動を 楽しみたい・やってみたいと思えますか？	
活動に興味をもてるためのきっかけ (どんな情報・人・場所・モノ etc…が大事?)	
<u>人</u> ・友人と一緒に ・友人がいる (会ってみたい人がある)	<u>情報</u> ・学校からの情報 ・SNS や回覧板 ・関わりのある団体からの紹介 ・所属している場所からの案内 ・活動が分かりやすい (活動内容の情報)
<u>場所</u> ・自宅から近い ・近場 ・1 時間以内で駅から近い所	<u>モノ</u> ・気軽に参加できる ・機材が支給される ・活動に必要な道具
活動を実際にやってみる時に「こうだったらいいな～」と思うこと (情報・人・場所・モノ・お金 etc…)	
・期待され (すぎ) ない ・少しばかりのお金 ・送迎 ・交通費+お金 ・交通費を出してくれる ・報酬 (単位、お金)、食事や飲み物 ・ボランティア先の人との交流	

V 調査結果のまとめ

V 調査結果のまとめ

1 アンケート結果のまとめ

アンケート結果で出された主な意見・アイディア（抜粋）は次の通りです。

（第3次越谷市地域福祉計画の施策体系に合わせて抜粋し、以下に整理しています）

●基本目標1「市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決の推進」に関して

地域や地域福祉に対する関心・近所づきあい

- 希望する近所との付き合いは、「災害や急病など、いざという時に助けあえるような付き合い」が32.9%と最も多くなっています。（⇒現状の近所とのつきあいは、「あいさつをする程度」が44.3%が最多）
- 近所付き合いがない理由は、「日中、仕事などで家にいないので知り合う機会がない」が37.9%と最も多く、次いで「付き合いをはじめるきっかけがない」が16.4%となっています。
（⇒「地域の方と付き合いたいと思わない」は10.3%）

地域福祉の担い手・育成

- ボランティアやNPO活動の経験は、「今までに活動したことはない」が75.1%と最も多くなっています。
- 参加していない主な理由として10代から60代までは「仕事や学業などで忙しく時間がない」、70代以上は「体力に自信がない」が、それぞれ第1位となっています。また、10代と40代以上では「どのような活動があるか知らないから」が第2位となっています。
- （現在参加している人の）ボランティア活動やNPO活動に参加している主な理由は、20代から40代は「人間関係が広がり自分の成長になるから」、50代以上は「身近な地域のために役立ちたいから」、10代は「友人・知人に誘われたから」がそれぞれ第1位となっています。
- ボランティアやNPO活動を広げるための条件としては、10代では「学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う」、20代では「活動する人に対して動機づけを工夫する（報酬やポイントをもらえる等）」、30代～40代・60代では「単発・短時間で参加できる活動を増やす」、50代と70代以上や単身世帯では「一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす」が、それぞれ第1位となっています。

地域活動団体への参加促進・活動支援

- 地域で活動する団体のアンケート結果では、運営上の問題点・課題として、「スタッフが不足している」が47.0%と最も多く、次いで「スタッフの活動意欲の維持が難しい」が26.4%となっています。
- 市役所・社会福祉協議会に期待する支援は、「活動上必要な情報の提供」（第1位、55.0%）などのほか、「団体や活動へのPR」も上位（第4位、29.5%）となっています。

●基本目標 2 「適切な支援を受けられるための包括的な支援体制の強化」に関して

身近な地域における連携・協働

- 地域の問題の解決方法は、「住民と行政や専門機関が協力して解決するのが良い」が 56.2%と最も多く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」が 19.1%となっています。
- 地域で活動する団体のアンケート結果では、地域での活動を行う上で、現状として連携・協力関係がある組織・団体としては、市役所が 60.7%と最も多く、次いで社会福祉協議会が 59.8%となっています。
- 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織は、同様に市役所や社会福祉協議会が上位となっており、その他、(上位の順から) 介護・福祉施設や自治会、警察・消防、小中学校・高校、医療機関、民生委員・児童委員、NPO・ボランティア、大学、民間企業等も挙がっています。
- 市役所・社会福祉協議会に期待する支援は、「活動上必要な情報の提供」が 55.0%と最も多くなっています。また、活動に必要な情報は、「地域生活にかかる情報」が 57.8%と最も多く、次いで「地域のニーズに関する情報」が 56.3%、「行政の福祉施策・担当窓口に関する情報」が 44.6%となっています。
- 地域で活動する事業所のアンケート結果では、地域活動を行う上での運営上の問題点・課題は、「他団体や事例等の情報不足」と「支援を必要とする人の情報不足」が最も多く、28.6%となっています。
- 地域活動を行う上で、現状として連携・協力関係がある組織・団体としては、市役所が 100%と最も多く、次いで民間企業と商工会議所(ともに 42.9%)となっています。
- 今後連携・協力関係を深めたい団体や組織は、(上位の順から) 小中学校・高校、大学・専門学校、市役所、社会福祉協議会、保育園・幼稚園となっています。

支援が必要な人の把握、孤立・孤独の防止

- 自分自身も含め、地域で気にかかる人(支援が必要そうな人)については、「一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる」(11.5%)、「近所や地域と関わりを持たない人がいる」(6.2%)、「認知症や老々介護(高齢者による高齢者の介護)で困っている人がいる」(6.2%)が上位となっています。
- 「家族の中での虐待が疑われる家庭がある」が 1.3%、「困りごとを複数抱えている家庭がある」が 0.9%となっています。
- 孤独や孤立を感じることは、「ほとんどない」が 35.9%と最も多く、次いで「全くない」が 33.1%となっています。一方で、80 代以上の「常にある」の回答割合(8.0%)が、全体平均(3.5%)の倍以上となっています。また 10 代から 30 代、80 代以上、単身世帯の「たまにある」の回答割合が、全体平均(17.8%)を上回っています。
- 越谷市の地域福祉の現状については、『できていない』(「あまりできていない」と「ほとんどできていない」の合計)が最も多いのは「困りごとや悩み、孤立などを抱えている人が適切な支援につながる仕組みが充実している」となっています。

成年後見制度、権利擁護（虐待防止を含む）

- ・成年後見制度の認知度は「制度は知っているが、活用する必要がない」が 39.0%と最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが制度のことは知らない」が 31.5%となっています。
- ・「成年後見センターこしがや」の認知度は、「言葉も聞いたことがなく、内容もまったく知らない」が 61.6%、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」が 26.6%となっています。
- ・成年後見制度を利用しやすくするために必要なことは、「制度について内容を知る機会が充実すること（パンフレットやホームページ、説明会など）」が 47.8%と最も多く、次いで「制度を利用するための手続きなどが、分かりやすくなること」が 39.8%となっています。

身近な地域での相談

- ・日常生活で困ったことがあった際に、実際に相談したことがある人（もしくは窓口等）は「家族や親戚」が 45.5%と最も多く、次いで「友人・知人」が 34.9%となっています。一方で、「相談できる人がいない」（2.9%）、「誰に相談したらいいかわからない」（5.7%）といった回答もみられ、特に 10 代から 30 代で、回答割合が全体平均を上回っています。
- ・地域で活動する団体のアンケート結果では、団体の活動を通して、市民から生活上の困りごと等の相談を受けた経験について、「受けたことがある」が 43.3%（第 2 位）となっています。
- ・相談内容は「一人暮らしで不安や心細い思いをしている」が 58.1%、次いで「認知症や老々介護（高齢者による高齢者の介護）で困っている」が 43.6%となっています。
- ・談内容のうち、「近所や地域と関わりを持たず、孤立している」が 30.2%、「困りごとを複数抱えている家庭がある」が 20.1%、「家族から虐待が疑われるようなことをされている」が 14.1%となっています。

福祉に関する認知度や情報発信

- ・地域福祉の拠点や組織の認知度は、「市役所の窓口・地区センター」が 63.8%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が 38.6%となっています。一方で、「どれも知らない」という回答が 14.4%となっており、特に 10 代から 20 代、80 代以上の回答割合が、全体平均を上回っています。
- ・悩みや不安、困り事を解決するための行政情報やお知らせを知るために希望する媒体や手段として、行政からの情報・お知らせを知るために希望する媒体や手段は「越谷市公式ホームページ」が 35.0%と最も多く、次いで「市の広報」が 34.4%となっています。
- ・年代別では、20 代は市の公式 SNS、30 代から 50 代は市の公式ホームページ、60 代以上は市の広報が、それぞれ第 1 位となっています。

●基本目標3「一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域づくり」に関して

多様な生活課題への支援

- ・地域福祉の拠点や組織の認知度は、「市役所の窓口・地区センター」が63.8%と最も多く、次いで「民生委員・児童委員」が38.6%となっています。一方で、「どれも知らない」という回答が14.4%となっています。（※再掲）
- ・生活自立相談「よりそい」の認知度は3.3%、「なんでも相談窓口」は7.8%となっています。
- ・地域で活動する団体のアンケート結果では、団体の活動を通して、市民から生活上の困りごと等の相談を受けた相談内容のうち、「近所や地域と関わりを持たず、孤立している」が30.2%、「困りごとを複数抱えている家庭がある」が20.1%、「家族から虐待が疑われるようなことをされている」が14.1%となっています。（※再掲）
- ・解決または解決のきっかけに至らなかったという回答が18.5%となっています。

再犯防止

- ・再犯しないようにすることに協力する民間協力者の認知度は、「保護司」が69.2%と最も多く、次いで「更生保護施設」が36.8%となっています。一方で、BBS会や更生保護女性会の認知度は5%以下となっています。
- ・再犯防止で力を入れていくべき施策は、「警察署など関係機関との連携」が48.4%と最も多く、次いで「犯罪の内容（性的犯罪、振り込め詐欺など）の特性に応じた指導、支援」が40.1%、「保護司や協力雇用主などの民間協力者に対する支援」が34.9%となっています。

防災・防犯

- ・希望する近所との付き合いは、「災害や急病など、いざという時に助けあえるような付き合い」が32.9%と最も多くなっています。（※再掲）
- ・「他人に手助けできること」は、「安否確認の声かけ」、「話し相手」、「災害時・緊急時の手助け」において30%以上となっています。また、「自身に手助けしてほしいこと」は、「安否確認の声かけ」、「災害時・緊急時の手助け」が10%以上となっています。
- ・災害時の受援力は、「求めることができる」が32.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば求めることができる」が27.7%となっています。一方で、「求めることができない」という回答は、80代の回答割合（8.6%）が、全体平均（6.2%）をやや上回っています。
- ・地域で活動する団体のアンケート結果では、今後取り組んでみたい活動は、「高齢者福祉」が17.7%と最も多く、次いで「地域コミュニティ」が17.3%、「防災」（16.7%）となっています。個別避難計画の認知度は、「はい」が51.2%と、次いで「いいえ」が46.7%と約半々となっています。

生活しやすい環境づくり

- ・越谷市の地域福祉の現状については、『できている』（「できている」と「ある程度できている」の合計）が最も多いのは「建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつけられている」（36.2%）です。

住まいや仕事の支援の充実

- ・就労準備サポート「つながり」の認知度は2.4%となっています。

2 ヒアリング結果のまとめ

ヒアリング結果（団体・学生）で出された主な意見・アイデア（抜粋）は次の通りです。（第3次越谷市地域福祉計画の施策体系に合わせて抜粋し、以下に整理しています）

●基本目標1「市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決の推進」に関して

地域や地域福祉に対する関心・近所づきあい

【団体ヒアリング】

- ・（地域の中で身近に）気軽に集まれる居場所があるとよい。
- ・近隣同士で協力し合って、買い物の代行を行っている。

地域福祉の担い手・育成

【団体ヒアリング】

- ・住民主体の活動を心がけている。活動に協力してくれる人を、（活動団体の中で集めるだけではなく）公募すると（思いのほか）集まる。

【学生ヒアリング】

- ・自分たちの専攻分野に関する活動や、好きな事や興味のある活動であると、自分自身の経験にもなるので、参加したくなる。
- ・活動に参加することで昼食や交通費が出るなど、何かしら有償であると、お金の面だけでなく、気持ちの面でも嬉しいし、参加しやすくなる。

地域活動団体への参加促進・活動支援

【団体ヒアリング】

- ・自分たちの活動が口コミでしか知られない現状があるため、市と連携してPRできれば、活動に関する情報を必要な人に届けやすくなるのではないかと。
- ・活動に若い世代の人が参加していない。（次世代の担い手として）若手の人の参加を確保すると共に、彼らが活動しやすくなる様な改善も必要だと思う。

●基本目標 2「適切な支援を受けられるための包括的な支援体制の強化」に関して

身近な地域における連携・協働

【団体ヒアリング】

- ・いざという時につながれるような（日頃からの）関係が大事だと思う。
- ・高齢化が進んでいるので、地域包括支援センターとの連携を強化したい。
- ・活動のPRに地元の駅に協力してもらっている。今後は、商業施設（レイクタウンなど）や地元の企業とも連携していきたい。
- ・活動する上では、情報がないとそもそも動く（解決や対応に向けた行動をおこす）ことができないため、（情報を）提供してほしい。

支援が必要な人の把握、孤立・孤独の防止

【団体ヒアリング】

- ・支援が必要な人を把握したら、その人たちの住む地域や近隣の人に、（支援が必要な人に対して）何らかの手助けや支援が可能かどうかを確認している。
- ・引きこもり支援を行うには、長い時間をかけた付き合いと気合が必要になる。行政主導で行うよりも、孤立・孤独や引きこもりに対する支援を行っている団体を（行政として）支援する方がよいのではないか。
- ・被支援者には、干渉されたくない、地域とのつながりを面倒に感じる、などの傾向が一部ある印象である。また親子で（相互に）依存関係になっている場合もある。

成年後見制度、権利擁護（虐待防止を含む）

【団体ヒアリング】

- ・（犯罪などの）問題を起こす高齢者の中には、家族の中でつまはじきにされている背景があるなどのケースが少なくない。
- ・高齢者虐待については、セルフ・ネグレクトも通報できるようにしてほしい。
- ・（支援対象の）当事者が障がいなどの困難を抱えていて、（結果的に）犯罪などに至っている場合や、親が（子どもである当事者に）障がいがあることを認知しておらず、障害者手帳を取得していないなどの場合がある。

身近な地域での相談

【団体ヒアリング】

- ・これまでに受けた相談として、家庭内の介護や単身者の生活上の困り事、貧困で生活に困窮していることなどがある。
- ・様々な課題の相談を受けるため、（相談を受ける側が）それぞれの課題にあった支援等につなぐ先が分かるとよい。

福祉に関する認知度や情報発信

【団体ヒアリング】

- ・LINEなども含めたSNSを活用してはどうか。自治会内でも、LINEを活用して情報共有を行っている。
- ・自治会に入っていない人も含めた、地域内の情報共有が大事である。

●基本目標3「一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域づくり」に関して

多様な生活課題への支援

【団体ヒアリング】

- ・単身世帯でも重層的支援体制整備事業の支援対象となりえる世帯もいる。また、支援にあたっては本人の同意を得ることの難しさがある。
- ・重層的支援体制整備事業の利用を進めていくためには、（経済的な問題などの課題が即時に解決できるわけではないため）その事業のメリットをいかに感じてもらうかが重要。

再犯防止

【団体ヒアリング】

- ・活動のPRに地元の駅に協力してもらっている。今後は、商業施設（レイクタウンなど）や地元の企業とも連携していきたい。（※再掲）
- ・更生保護女性会の知名度が低いと感じる。新規のメンバーを募集するためにも、まずは普及啓発をしていきたい。

防災・防犯

【団体ヒアリング】

- ・地元の防災組織で、（平時からの）高齢者の見回りを行っている。
- ・個別避難計画の周知と地域内の連携を推進する必要がある。

生活しやすい環境づくり

【団体ヒアリング】

- ・町内に買い物ができるスーパーがないので、買い物難民が増えている。
- ・足が悪くなった時（歩行困難になった時）の交通手段が必要と感じる。

住まいや仕事の支援の充実

【団体ヒアリング】

- ・年金で生活している者の高齢者は、孤独死（の可能性から賃貸を躊躇する）や、収入面から保証会社の審査が通りにくいことに加え、身体的要因から物件に（トイレや建物の階数などの）制限があるなど、入居までの支援に苦慮する。
- ・仕事自体があっても、当事者とのマッチングが難しい。

3 調査結果全体をふまえた課題の整理

アンケート結果、及びヒアリング結果（学生・団体）で出された意見・アイデアをふまえた課題の整理は次の通りです。

（第3次越谷市地域福祉計画の施策体系に合わせて抜粋し、以下に整理しています）

●基本目標1「市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決の推進」に関して

地域や地域福祉に対する関心・近所づきあい

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

現状の近所とのつきあいは、「あいさつをする程度」だが、希望する近所との付き合いは、「災害や急病など、いざという時に助けあえるような付き合い」となっています。一方で、近所付き合いがない背景には、知り合う機会やきっかけの不足があります。

地域福祉の担い手・育成

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

活動に参加しやすくなるためには、「単発・短時間で参加できる活動」「一人でも気兼ねなく参加できる機会」「報酬やポイントをもらえる等の動機づけ」などが求められています。また、年代や性別、障がいの有無等に関わらず誰もが地域で活躍する場や機会の工夫が重要となっています。

地域活動団体への参加促進・活動支援

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

活動団体の運営上の課題として、スタッフの不足や、活動意欲の維持の難しさが挙がっています。活動団体の支援として、団体や活動へのPRなど、潜在的な活動の担い手に対する情報不足の解消のためのサポートが期待されています。

●基本目標２「適切な支援を受けられるための包括的な支援体制の強化」に関して

身近な地域における連携・協働

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

今後連携・協力関係を深めたい団体や組織には、介護・福祉や医療関係、警察・消防、大学を含む教育関係、NPO・ボランティア、企業等の幅広い団体や組織が挙がっています。活動上の課題としては、情報不足（他団体や事例等の情報や支援を必要とする人の情報）が挙がっています。

支援が必要な人の把握、孤立・孤独の防止

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

地域の中で、独居で不安を抱える人や周囲と関わりを持たない人、介護や虐待などの問題を抱える人が少なからずいます。一方で、支援や関わりを拒否するケースも見られます。また、地域の活動団体が支援を必要とする人の把握や、孤立・孤独の防止等の取り組みを行っている実態があります。

成年後見制度、権利擁護（虐待防止を含む）

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

成年後見制度の利用のしやすさに必要なことは、高齢者や障がい者の人などの権利や尊厳が守られるために、当事者や家族等、または周囲の人が必要に応じて制度を適切に利用し、制度について知る機会の充実や、利用するための手続きの負担軽減などが重要となっています。

身近な地域での相談

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

市民から実際に生活上の困りごと等の相談を受けた経験がある団体（全体の約半数）のうち、相談内容は（市民対象の調査同様）地域の中で、独居で不安を抱える人や周囲と関わりを持たない人、介護や虐待などの問題等が挙がっています。様々な課題の相談を受ける立場の活動団体等が、受け止めた相談を抱え込まずに、さらにその先の支援等につなげられるような場所や窓口等を知っていることが重要と考えられます。

福祉に関する認知度や情報発信

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

悩みや不安、困り事を解決するための行政情報やお知らせを知るために希望する情報は、市の広報やホームページなど信頼性の高い媒体が望まれています。また媒体の種類は、年代によりニーズが異なっており、SNS等のオンラインツールの活用も期待されています。

●基本目標3「一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域づくり」に関して

多様な生活課題への支援

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

生活上の困りごと等の相談内容の中で、約2割が複数の困りごと（いわゆる複合的な課題）を抱えているケースとなっています。また、相談内容の2割弱は解決に至っていない現状も見られます。その様な中で、重層的支援体制整備事業を推進していくためには、事業の意義やメリットをどの様に周知するかが課題となっています。

再犯防止

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

「保護司」の認知度は高いが、BBS 会や更生保護女などの民間協力者の認知度は低いといった課題が見られます。また、再犯防止策としては、警察署など関係機関との連携、指導や支援と並んで、民間協力者に対する支援が上位に挙がっています。

防災・防犯

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

地域で活動する団体の今後取り組みたいテーマの上位に、「防災」が挙がっています。一方で、個別避難計画の認知度は、約5割にとどまるなど、周知には課題が見られます。

生活しやすい環境づくり

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通といった生活しやすい環境づくりは、ある程度評価されている結果となっているが、買い物や交通の便といった面では課題も見られます。

住まいや仕事の支援の充実

【アンケート・ヒアリング結果から見えた課題】

就労準備サポート「つながり」の認知度の向上に加え、（特に高齢者などの）居住支援や当事者と就労内容のマッチングが課題となっています。

資料編

資料編

1 調査票（市民アンケート）

（市民用調査票）

地域福祉に関するアンケート調査にご協力をお願いします

日頃から、本市の地域福祉[※]の推進にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
越谷市では、地域福祉を推進するための方向性を定める「越谷市地域福祉計画」を、社会福祉法人越谷市社会福祉協議会では、地域福祉を推進するための具体的な行動を定める「越谷市地域福祉活動計画」を策定しています。

このたび、次期の第4次越谷市地域福祉計画、地域福祉活動計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）を策定するにあたり、計画の基礎資料として、市民の皆様のご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を実施いたします。

なお、この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することはございませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「地域福祉」とは…

様々な社会変化の中でも、住み慣れた場所で自分らしい生活を送り、日々の暮らしの中で幸せを感じることができる地域を、皆で実現していくことが地域福祉です。

令和6年（2024年）7月

越谷市長 福田 晃

社会福祉法人越谷市社会福祉協議会会長 杉本 昭彦

ご記入にあたってのお願い



越谷特別市民
ガーヤちゃん

① 郵送による回答の場合

- 質問には、宛名のご本人が回答ください。ただし、何らかの事情でご本人が回答できない場合は、ご家族またはご本人と日常最もよく関わっておられる方がお答えください。（本調査は無記名ですので、お名前の記入は必要ありません）
- ご記入後は、回答用紙のみ同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
8月13日（火）までにポストへご投函下さい。

② インターネットによる回答の場合

下記のどちらかの方法で、**8月13日（火）**までに回答下さい。

- ・スマートフォン等で右の二次元コードを読み込む →
- ・パソコン等で下記アドレスにアクセスして回答する
→ <https://questant.jp/q/RLU34Z8P>



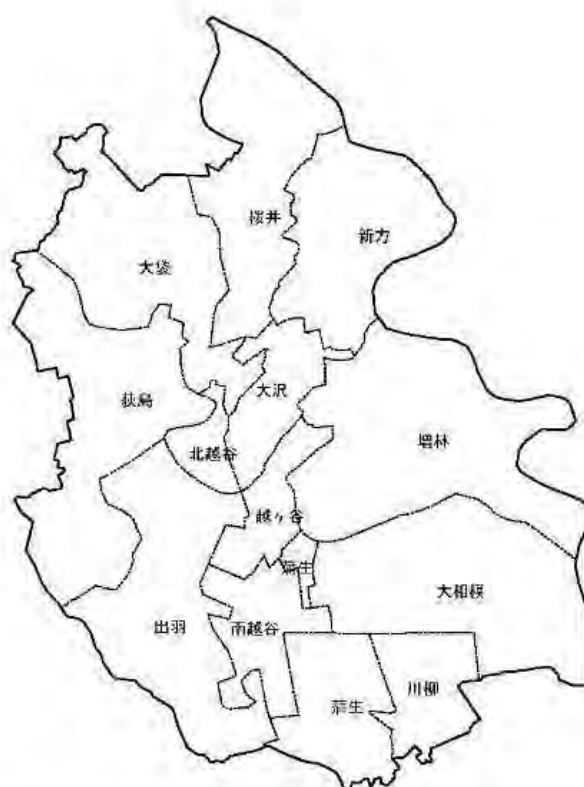
（※インターネットによる回答をした場合は、郵送は不要です）

（お問い合わせ先）

越谷市役所 地域共生部 地域共生推進課

電話：048-963-9187（直通） FAX：048-963-9199

<居住地区区分>



◆ 居住地区該当町表

地区区分	該当町名
桜井	大字大里、大字下間久里、大字上間久里、大字大泊、大字平方、平方南町、千間台東1～4丁目
新方	大字弥十郎、大字大吉、大字向畑、大字北川崎、大字大杉、大字大松、大字船渡、弥栄町1～4丁目
増林	大字花田、大字増林、大字増森、大字中島、東越谷1～10丁目、中島1～3丁目、増林1～3丁目、増森1～2丁目、花田1～7丁目
大袋	大字恩間、大字大竹、大字大道、大字三野宮、大字恩間新田、大字袋山、大字大林、大字大房、千間台西1～6丁目
萩島	大字野島、大字小曾川、大字砂原、大字南萩島、大字西新井、大字北後谷、大字長島
出羽	宮本町1～5丁目、神明町1～3丁目、谷中町1～4丁目、七左町1・4～8丁目、大間野町1～5丁目、新川町1～2丁目、新越谷2丁目
蒲生	大字蒲生、瓦曽根1～2丁目、南越谷1丁目、登戸町、蒲生東町、蒲生寿町、蒲生旭町、蒲生本町、蒲生西町1～2丁目、蒲生1～4丁目、蒲生愛宕町、蒲生南町、南町1～3丁目
川柳	伊原1～2丁目、川柳町1～5丁目、レイクタウン7丁目
大相模	大字西方、相模町1～5丁目、大成町1～2・6～8丁目、東町1～3・5丁目、相模町6～7丁目、流通団地1～4丁目、西方1～2丁目、レイクタウン1～6・8～9丁目
大沢	大沢、大沢1～4丁目、東大沢1～5丁目
北越谷	北越谷1～5丁目
越ヶ谷	越ヶ谷、越ヶ谷1～5丁目、御殿町、柳町、越ヶ谷本町、中町、弥生町、赤山町1～2丁目、宮前1丁目、赤山本町
南越谷	瓦曽根3丁目、南越谷2～5丁目、蒲生茜町、東柳田町、元柳田町、赤山町3～5丁目、新越谷1丁目

あなた（宛名のご本人）についておたずねします。

問1 あなたの性別をお聞かせください。（1つに○）

- | | | |
|------|------|--------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 |
|------|------|--------|

問2 あなたの現在の年齢をお聞かせください。（1つに○）

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 10 歳代 | 4. 40 歳代 | 7. 70 歳代 |
| 2. 20 歳代 | 5. 50 歳代 | 8. 80 歳以上 |
| 3. 30 歳代 | 6. 60 歳代 | |

問3 あなたは越谷市に住んで何年になりますか。（1つに○）

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 1 年未満 | 4. 10～15 年未満 | 7. 30～40 年未満 |
| 2. 1～5 年未満 | 5. 15～20 年未満 | 8. 40 年以上 |
| 3. 5～10 年未満 | 6. 20～30 年未満 | |

問4 お住まいの地区はどこですか。（1つに○）

（※前頁の「居住地区該当町表」をご参照ください）

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. 桜井地区 | 6. 出羽地区 | 11. 北越谷地区 |
| 2. 新方地区 | 7. 蒲生地区 | 12. 越ヶ谷地区 |
| 3. 増林地区 | 8. 川柳地区 | 13. 南越谷地区 |
| 4. 大袋地区 | 9. 大相模地区 | |
| 5. 荻島地区 | 10. 大沢地区 | |

問5 ご職業は何ですか。（1つに○）

- | | |
|---|----------------|
| 1. 自営業（農業・商工業・専門職等） | 6. 家事専業（主婦・主夫） |
| 2. 会社員 | 7. 学生・生徒 |
| 3. 会社や団体等の役員 | 8. 無職 |
| 4. 公務員・団体職員 | 9. その他 |
| 5. 非正規の職員・従業員（派遣社員、
契約社員、パート・アルバイト等） | （具体的に |

問6 ご家族の構成についてお答えください。（1つに○）

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 単身 | 4. 三世代世帯（親と子と孫） |
| 2. 一世代世帯（夫婦のみ・兄弟姉妹） | 5. その他 |
| 3. 二世代世帯（親と子） | |

地域とのつながりや地域活動についておたずねします。

問7 あなたは、ご近所の方との付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 何か困った時に、助け合える関係 | 4. あいさつをする程度 |
| 2. お互いに、訪問しあう程度 | 5. ほとんど付き合いはない |
| 3. 立ち話をする程度 | |

【問7で「5. ほとんど付き合いはない」とお答えの方に】

問7-1 その理由に最も近いものは何ですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 日中、仕事などで家にいないので知り合う機会がない |
| 2. 地域の方との付き合いはしたいと思うが、仲間に入りづらい |
| 3. 付き合いをはじめるきっかけがない |
| 4. 個人的な事を知られたくない |
| 5. 地域の方との付き合いをしたいと思わない |
| 6. もともと地域の方との付き合いがほとんどないところである |
| 7. その他（具体的に |

問8 ご近所の方との付き合いはどの程度が望ましいと考えますか。(1つに○)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 普段から相談したり助けあえるような付き合い |
| 2. 災害や急病など、いざという時に助け合えるような付き合い |
| 3. 親しく話ができるような付き合い |
| 4. 世間話をする程度の付き合い |
| 5. あいさつをする程度の付き合い |
| 6. 付き合いはしたくない |
| 7. その他（具体的に |

問9 あなたが考える、地域コミュニティの範囲はどれですか。(1つに○)

- | |
|--------------------------|
| 1. 町内会、自治会の範囲 |
| 2. 小学校区（徒歩15分程度で行ける範囲） |
| 3. 中学校区（自転車で10分程度で行ける範囲） |
| 4. 地区センター・公民館の範囲 |
| 5. 越谷市内全域 |
| 6. 近隣市町まで |
| 7. その他（具体的に |
| 8. 分からない |

問10 あなたは、お住まいの地域でどのような活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1. 自治会等の行事
- 2. 学校等の行事
- 3. 福祉施設等での活動
- 4. 趣味やスポーツのサークルでの活動
- 5. 地区センター・公民館や交流館等の市の施設での講習
- 6. その他(具体的に)
- 7. 特に何も行っていない

【問10で「7. 特に何も行っていない」とお答えの方に】

問10-1 参加していない主な理由をお聞かせください。(○は3つまで)

- 1. 自治会などに入っていないから
- 2. 仕事や家事・育児などで忙しく、時間がないから
- 3. 一緒に参加する人がいないから
- 4. 地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから
- 5. 参加の方法が分からないから
- 6. 家族の協力・理解が得られないから
- 7. どのような行事や活動があるか知らないから
- 8. 地域以外での活動に参加しているから
- 9. 他人と関わりたくないから
- 10. 行事や活動には参加したくないから
- 11. その他(具体的に)

＼自治会について…／

越谷市には 300 以上の自治会があり、住民が安心して楽しく過ごせるよう、防犯・防災、環境美化、親睦や福祉などの分野で活動しています。「遠くの親せきより近くの他人」。こんな言葉があるように、地域での助け合いが大切であることは、今も昔も変わりません。

問１１ あなたは、地域で困っている人に現在「手助けしていること」や、困っている人がいる場合に「手助けできること」はありますか。また、現在、あなた自身が地域の人に「手助けしてほしいこと」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

	他人に関すること		自身に関すること
	手助けしていること	手助けできること	手助けしてほしいこと
１．安否確認の声かけ	１	２	３
２．話し相手	１	２	３
３．悩みごと、心配ごとの相談	１	２	３
４．日用品などのちょっとした買い物	１	２	３
５．電球交換などのちょっとした作業	１	２	３
６．ごみ出し	１	２	３
７．家の中の掃除や洗濯	１	２	３
８．庭の手入れ	１	２	３
９．食事づくり	１	２	３
１０．短時間の子どもの預かり	１	２	３
１１．保育園・幼稚園の送迎	１	２	３
１２．散歩の付き添い	１	２	３
１３．病院の付き添い（送迎）	１	２	３
１４．病気のときの看病	１	２	３
１５．経済的な支援	１	２	３
１６．防犯見回り、防災訓練などへの参加	１	２	３
１７．災害時・緊急時の手助け	１	２	３
１８．近所のイベントの手伝い	１	２	３
１９．その他（具体的に	１	２	３

問１２ 地域の中で起こる困り事や心配な事に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。（１つに○）

- １．住民と行政や専門機関が協力して解決するのが良い
- ２．行政や専門機関に解決してもらいたい
- ３．できるだけ地域の住民同士で協力して解決するのが良い
- ４．その他（具体的に

ボランティア・NPO 活動についておたずねします。

問13 これまでにボランティアやNPOで活動したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 現在活動している | (⇒問13-1、13-2、13-3へ) |
| 2. 以前活動していたが、現在は活動していない | (⇒問13-3へ) |
| 3. 今までに活動したことはない | (⇒問13-4へ) |

【問13で「1. 現在活動している」とお答えの方に】

問13-1 現在どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 高齢者支援に関する活動 | 9. 自然環境保護に関する活動 |
| 2. 障がい者支援に関する活動 | 10. ごみ・リサイクルに関する活動 |
| 3. 子育て支援や母子福祉に関する活動 | 11. 文化・芸術、スポーツに関する活動 |
| 4. 健康づくり・医療に関する活動 | 12. 人権・男女共同参画に関する活動 |
| 5. 地域の清掃・美化に関する活動 | 13. 国際交流に関する活動 |
| 6. まちの活性化に関する活動 | 14. その他 |
| 7. 防犯・交通安全に関する活動 | (具体的に) |
| 8. 消防・防災・災害支援に関する活動 | |

問13-2 どれくらいの頻度で活動していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 週に1回程度 | 4. 半年に1回程度 |
| 2. 2週間に1回程度 | 5. 年に1回程度 |
| 3. 月に1回程度 | 6. その他(具体的に) |

【問13で「1. 現在活動している」、または「2. 以前活動していたが、現在は活動していない」とお答えの方に】

問13-3 ボランティア活動やNPO活動に参加している(していた)主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 活動自体が楽しく、興味のある内容だから |
| 2. 活動を通じて人間関係が広がり自分の成長につながるから |
| 3. 身近な地域のために役立ちたいから |
| 4. 近所とのつながりをつくりたいから |
| 5. 家庭や仕事以外の生きがいをつくりたいから |
| 6. 友人・知人に誘われたから |
| 7. その他(具体的に) |

【問13で「3. 今までに活動したことはない」とお答えの方に】

問13-4 あなたがボランティア活動やNPO活動に参加していない主な理由をお聞かせください。(〇は2つまで)

1. 活動自体が楽しくなく、興味ある内容でもないから
2. 身近な地域のことに興味がないから
3. 仕事や学業などで忙しく時間がないから
4. どのような活動があるのか知らないから
5. 体力的に自信がないから
6. 自分の時間を優先したいから
7. 知り合いがいないため、一人では参加しにくいから
8. その他(具体的に

)

問14 ボランティア活動・NPO活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 単発・短時間で参加できる活動を増やす
2. 活動する人に対して動機づけを工夫する(報酬やポイントをもらえる等)
3. 身近な地域(自宅の近く等)で活動に参加できる機会を増やす
4. 一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす
5. 家族や友人・知人等と一緒に参加できる活動を増やす
6. 企業などが、休暇を認めるなどの特別な配慮をする
7. 学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う
8. 子ども向けの地域活動やボランティア活動を充実させる
9. 地域活動やボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
10. 地域活動やボランティア活動のための研修を開催する
11. 活動団体と活動を必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する
12. 地域活動やボランティア活動についての普及啓発(積極的な呼びかけ)を行う
13. その他(具体的に
14. 分からない

)

＼市内のボランティア活動について…／

越谷市内を中心に活動しているボランティアグループ、個人ボランティアの活動を、越谷市社会福祉協議会のホームページで紹介しています。



地域生活における不安や悩み・相談窓口に関しておたずねします。

問15 あなたは、次のような地域福祉の拠点や組織を知っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 市役所の窓口・地区センター | 9. 生活自立相談「よりそい」※ |
| 2. 社会福祉協議会 | 10. 就労準備サポート「つながり」※ |
| 3. 民生委員・児童委員 | 11. なんでも相談窓口 |
| 4. 地域包括支援センター | 12. 福祉推進員 |
| 5. 障がい者等基幹相談支援センター | 13. ふれあいサロン |
| 6. 地域活動支援センター | 14. 生活支援コーディネーター※ |
| 7. こども家庭センター | 15. コミュニティソーシャルワーカー※ |
| 8. 地域子育て支援センター・子育てサロン | 16. どれも知らない |

「生活自立相談よりそい」とは…

失業等による経済的な問題、家庭や健康上の問題などでお困りの方からの相談を受け、自立に向けた継続的な支援を行う機関のこと。

「就労準備サポートつながり」とは…

一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を目的として、「日常生活自立」、「社会生活自立」、「就労自立」のサポートを行う機関のこと。

「生活支援コーディネーター」とは…

地域の中で高齢者の生活支援や介護予防が推進されるよう、支えあい活動（生活支援）の体制づくりに向けた調整役（コーディネーター）のこと。

「コミュニティソーシャルワーカー」とは…

地域住民から寄せられた相談などをきっかけに、個別に必要な支援につなげたり、地域のネットワークづくりなどに取り組む専門職のこと。

問16 日常生活で困ったことがあった際に、実際に相談したことがある人（もしくは窓口等）は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 市役所の窓口・地区センター | 10. 近所の人 |
| 2. 社会福祉協議会 | 11. 友人・知人 |
| 3. 民生委員・児童委員 | 12. ケアマネジャーやホームヘルパー |
| 4. 地域包括支援センター | 13. 病院 |
| 5. 障がい者等基幹相談支援センター | 14. インターネット上の知り合い |
| 6. こども家庭センター | 15. その他 |
| 7. 生活自立相談「よりそい」 | （具体的に |
| 8. 家族や親戚 | 16. 相談できる人がいない |
| 9. 学校や会社（職場）の人 | 17. 誰に相談したらいいかわからない |
- （相談してよかったことがあればお書きください。）

問17 あなた自身も含め、現在お住まいの地域で、気にかかる人（支援が必要そうな人）はいますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 一人暮らしで不安や心細い思いをしている人がいる
2. 近所や地域と関わりを持たない人がいる
3. 経済的に困窮している人がいる
4. 認知症や老々介護（高齢者による高齢者の介護）で困っている人がいる
5. 障がいを抱えて困っている人がいる
6. 子育て・育児で不安や悩みを抱えている人がいる
7. ヤングケアラー※に該当するような子ども・若者がいる
8. （7以外で）介護や障がいを抱えている方のケアをしている人（ケアラー※）がいます
9. 家族の中での虐待が疑われる家庭がある
10. 1から9などの困りごとを複数抱えている家庭がある
11. その他（具体的に
12. いない
13. 分からない

「ケアラー」「ヤングケアラー」とは…

「ケアラー」とは、高齢、身体上又は精神上の障がい又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する人です。そのうち、家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者を「ヤングケアラー」といいます。

問18 あなたは普段の生活の中で、孤独や孤立を感じることはありますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 全くない | 4. 常にある |
| 2. ほとんどない | 5. どちらともいえない |
| 3. たまにある | |

【問18で「3. たまにある」「4. 常にある」とお答えの方に】

問18-1 孤独や孤立を感じる要因として考えられるものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1. 家族との死別 | 6. 家族の病気・障がい |
| 2. 一人暮らし | 7. 生活困窮・貧困 |
| 3. 心身の重大なトラブル(病気・怪我等) | 8. 失業・休職・退学・休学 |
| 4. 転校・転職・離職・退職
(失業を除く) | 9. その他
(具体的に) |
| 5. 人間関係による重大なトラブル | 10. 特に影響を与えたと思われる出来事はない |

問19 悩みや不安、困り事を解決するための行政情報やお知らせを知るために、あなたが希望する媒体や手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------------|
| 1. 電話・訪問等で市役所や地区センター、出張所に直接問い合わせ |
| 2. 市の広報 |
| 3. 市の掲示板などで |
| 4. 自治会・町会の回覧板などで |
| 5. 越谷市公式ホームページ |
| 6. 越谷市公式 SNS (LINE や X(旧 Twitter)等) |
| 7. その他(具体的に) |
| 8. 特に希望はない |

問20 災害時などの有事の際に誰かの助けが必要な時に、あなたは誰かを頼ったり、助けを求めたりすることができますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 求めることができる | 4. 求めることができない |
| 2. どちらかといえば求めることができる | 5. 分からない |
| 3. 求めないで自分で何とかする | |

成年後見制度についておたずねします。

問2 1 あなたは「成年後見制度」について知っていますか。(1つに○)

1. 制度を活用している
2. 申立てをしている
3. 制度は知っているが、活用する必要がない
4. 制度を活用したいが、どのような手続きをしたらよいのか分からない
5. 言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない
6. 言葉も聞いたことがなく、制度もまったく知らない

「成年後見制度」とは…

本人が障がいや認知症などで判断能力が十分でない場合、家庭裁判所が決める法定後見人が本人に代わって財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度です。

問2 2 あなたは、「成年後見センターこしがや」について知っていますか。(1つに○)

1. 言葉を聞いたことがあり、内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 言葉も聞いたことがなく、内容もまったく知らない

「成年後見センターこしがや」とは…

成年後見制度の詳しい内容や利用方法など、成年後見制度に関する様々な相談に応じる窓口です。

問2 3 成年後見制度が利用しやすいものとなるために、どのようなことが必要であると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 制度について内容を知る機会が充実すること（パンフレットやホームページ、説明会など）
2. 制度の利用方法などに関して、身近な相談窓口が増えること
3. 制度を利用するための手続きなどが、分かりやすくなること
4. 制度がすぐに利用できるように、成年後見人が早く決まること
5. 制度を利用するための費用の不安がないこと
6. 財産の横領などの不正が行われないように、成年後見人の監視が強まること
7. その他（具体的に)
8. 分からない

再犯防止についておたずねします。

問24 あなたは、犯罪をした人が立ち直り、再犯しないようにすることに協力する民間協力者として次の方々がいることを知っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 保護司※ | 4. 協力雇用主 |
| 2. 更生保護女性会※ | 5. 更生保護施設 |
| 3. BBS 会（青年ボランティア団体）※ | |

「保護司」とは…

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。対象者に対する保護観察や社会復帰の支援などを行っています。

「更生保護女性会」とは…

地域の犯罪予防活動と犯罪をした人や非行のある少年の更生支援活動を行うボランティア団体です。

「BBS 会（青年ボランティア）」とは…

BBSは「Big Brothers and Sisters Movement」の略で、非行少年等さまざまな立場の少年の立ち直りや自立を支援するとともに、非行防止活動を行う青年ボランティア団体です。

問25 越谷市は、再犯防止に関してどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 市民の理解促進や関心を醸成するための広報啓発活動の促進 | |
| 2. 保護司や協力雇用主などの民間協力者に対する支援 | |
| 3. 犯罪や非行をした人への就労や住居の支援 | |
| 4. 犯罪の内容（性的犯罪、振り込め詐欺など）の特性に応じた指導、支援 | |
| 5. 警察署など関係機関との連携 | |
| 6. その他（具体的に | ） |
| 7. 分からない | |

その他、越谷市の地域福祉全般についておたずねします。

問26 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。（項目ごとに1つ○）

	できている	ある程度できている	あまりできていない	ほとんどできていない
1. 市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題に対する解決力が高まっている	1	2	3	4
2. 地域で活躍する人材が増え、育っている	1	2	3	4
3. 地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている	1	2	3	4
4. 地域の活動団体の取組がより活発になり、さらに多くの人が参加するようになっている	1	2	3	4
5. 地域で活動するための支援が充実している	1	2	3	4
6. 地域の中で、活動団体や専門機関のつながりが強化されている	1	2	3	4
7. 生活上の困りごとを、身近な場所で気軽に相談できる場所が充実している	1	2	3	4
8. 困りごとや悩み、孤立などを抱えている人が適切な支援につながる仕組みが充実している	1	2	3	4
9. 障がい者・高齢者・子どもなどの権利が守られ、虐待を許さない地域づくりが行われている	1	2	3	4
10. 生活困窮者への経済的支援が充実している	1	2	3	4
11. （手話や要約筆記等）様々な方法により、誰もが必要としている情報を入手できている	1	2	3	4
12. 福祉サービスの質の確保や苦情解決の仕組みにより質の高い福祉サービスを受けられている	1	2	3	4
13. 色々な困りごとや悩みを抱えても、市役所等に相談がしやすく、早く解決につながる	1	2	3	4
14. 悩みごとを抱えた際に、市役所の中で様々な部署同士が連携して、一緒に解決してくれる	1	2	3	4
15. 地域のつながりや支え合いの力を活かした防犯や防災対策が進められている	1	2	3	4
16. 建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつけられている	1	2	3	4

This image shows a full page of handwriting practice paper. It features ten rows of horizontal dashed lines, each row consisting of two parallel dashed lines. The entire page is enclosed within a solid black rectangular border. There are no margins or additional markings on the paper.

8月13日(火)
までに、投函下さい



越谷特別市民
ガーヤちゃん

地域福祉に関するアンケート調査にご協力をお願いします

日頃から、本市の地域福祉*の推進にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

越谷市では、地域福祉を推進するための方向性を定める「越谷市地域福祉計画」を、社会福祉法人越谷市社会福祉協議会では、地域福祉を推進するための具体的な行動を定める「越谷市地域福祉活動計画」を策定しています。

このたび、次期の第4次越谷市地域福祉計画、地域福祉活動計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）を策定するにあたり、計画の基礎資料として、地域の活動団体等の皆様のご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を実施いたします。

なお、この調査は無記名であり、団体・組織が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することはございませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「地域福祉」とは…

様々な社会変化の中でも、住み慣れた場所で自分らしい生活を送り、日々の暮らしの中で幸せを感じることができる地域を、皆で実現していくことが地域福祉です。

令和6年（2024年）7月

越谷市長 福田 晃

社会福祉法人越谷市社会福祉協議会会長 杉本 昭彦

ご記入にあたってのお願い



越谷特別市民
ガーヤちゃん

① 郵送による回答の場合

1. 質問には、原則として代表者または宛名のご本人の方がご回答ください。ただし、何らかの事情で代表者の方が回答できない場合は、代表者の方に近い立場の方（副代表者等）がお答えください。

（本調査は無記名ですので、お名前の記入は必要ありません）

2. ご記入後は、回答用紙のみ同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

8月13日（火）までにポストへご投函下さい。

② インターネットによる回答の場合

下記のどちらかの方法で、**8月13日（火）**までに回答下さい。

- ・スマートフォン等で右の二次元コードを読み込む ➡
- ・パソコン等で下記アドレスにアクセスして回答する
➡ <https://questant.jp/q/UTCEA3NP>



（※インターネットによる回答をした場合は、郵送は不要です）

（お問い合わせ先）

越谷市役所 地域共生部 地域共生推進課

電話：048-963-9187（直通） FAX：048-963-9199

<居住地区区分>



◆ 居住地区該当町表

地区区分	該当町名
桜井	大字大里、大字下間久里、大字上間久里、大字大泊、大字平方、平方南町、千間台東1～4丁目
新方	大字弥十郎、大字大吉、大字向畑、大字北川崎、大字大杉、大字大松、大字船渡、弥栄町1～4丁目
増林	大字花田、大字増林、大字増森、大字中島、東越谷1～10丁目、中島1～3丁目、増林1～3丁目、増森1～2丁目、花田1～7丁目
大袋	大字恩間、大字大竹、大字大道、大字三野宮、大字恩間新田、大字袋山、大字大林、大字大房、千間台西1～6丁目
荻島	大字野島、大字小曾川、大字砂原、大字南荻島、大字西新井、大字北後谷、大字長島
出羽	宮本町1～5丁目、神明町1～3丁目、谷中町1～4丁目、七左町1・4～8丁目、大間野町1～5丁目、新川町1～2丁目、新越谷2丁目
蒲生	大字蒲生、瓦曾根1～2丁目、南越谷1丁目、登戸町、蒲生東町、蒲生寿町、蒲生旭町、蒲生本町、蒲生西町1～2丁目、蒲生1～4丁目、蒲生愛宕町、蒲生南町、南町1～3丁目
川柳	伊原1～2丁目、川柳町1～5丁目、レイクタウン7丁目
大相模	大字西方、相模町1～5丁目、大成町1～2・6～8丁目、東町1～3・5丁目、相模町6～7丁目、流通団地1～4丁目、西方1～2丁目、レイクタウン1～6・8～9丁目
大沢	大沢、大沢1～4丁目、東大沢1～5丁目
北越谷	北越谷1～5丁目
越ヶ谷	越ヶ谷、越ヶ谷1～5丁目、御殿町、柳町、越ヶ谷本町、中町、弥生町、赤山町1～2丁目、宮前1丁目、赤山本町
南越谷	瓦曾根3丁目、南越谷2～5丁目、蒲生茜町、東柳田町、元柳田町、赤山町3～5丁目、新越谷1丁目

貴団体の概要についておたずねします。

問1 貴団体の所在地についてご記入ください。(1つに○)

(※前頁の「居住地区該当町表」をご参照ください)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. 桜井地区 | 6. 出羽地区 | 11. 北越谷地区 |
| 2. 新方地区 | 7. 蒲生地区 | 12. 越ヶ谷地区 |
| 3. 増林地区 | 8. 川柳地区 | 13. 南越谷地区 |
| 4. 大袋地区 | 9. 大相模地区 | |
| 5. 荻島地区 | 10. 大沢地区 | |

問2 貴団体の組織形態についてご記入ください。(1つに○)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1. 自治会 | 4. NPO法人 |
| 2. ボランティアグループ | 5. 社会福祉法人 |
| 3. 福祉関係団体 | 6. その他 |
| | (具体的に) |

問3 貴団体の現在の構成員(会員、スタッフなど)は何人ですか。分かる範囲でご記入ください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 3人未満 | 4. 10人以上～20人未満 |
| 2. 3人以上～5人未満 | 5. 20人以上 |
| 3. 5人以上～10人未満 | 6. 不明 |

問4 貴団体の活動場所はどこですか。中心的な場所をお答えください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 貴団体の事務所 | 5. 民間施設 |
| 2. 市役所 | 6. 会員の個人宅や勤務先 |
| 3. 地区センターや市民会館等 | 7. その他 |
| 4. 自治会館や集会所 | (具体的に) |

貴団体の地域活動状況についておたずねします。

問5 貴団体が行っている主な活動等はどの分野ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 健康づくり | 13. 防災 |
| 2. 児童・母子及び父子福祉 | 14. 子どもの健全育成 |
| 3. 高齢者福祉 | 15. 教育・生涯学習 |
| 4. 障がい者福祉 | 16. スポーツ |
| 5. 生活困窮者支援 | 17. 芸術・文化の振興 |
| 6. その他社会福祉 | 18. 男女共同参画 |
| 7. 医療 | 19. 人権問題 |
| 8. 環境保全・脱炭素 | 20. 国際協力・交流 |
| 9. ごみ・リサイクル | 21. 産業振興 |
| 10. 消費者問題 | 22. 地域交流 |
| 11. まちづくり全般 | 23. 地域コミュニティ |
| 12. 交通安全・防犯 | 24. その他 |
| | (具体的に) |

問6 問5の選択肢のうち、貴団体が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。
(いくつでも可)

--

問7 地域での活動に必要な情報はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 事業所や団体同士が交流するための情報 |
| 2. 地域のニーズに関する情報 |
| 3. 行政の福祉施策・担当窓口に関する情報 |
| 4. 活動分野にかかる専門的な情報 |
| 5. 地域生活にかかる情報 |
| 6. 経営・運営に関する情報 |
| 7. 県・全国組織など上部団体からの情報 |
| 8. 特に必要な情報はない |

問8 貴団体の活動を充実させるために、市役所・社会福祉協議会に期待する支援を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 団体や活動についてのP R | 8. 活動に関する助言 |
| 2. 活動上必要な情報の提供 | 9. 設備・備品の充実 |
| 3. 活動場所の提供 | 10. 成果の発表の場の提供 |
| 4. 会員募集の支援 | 11. その他 |
| 5. リーダーの養成支援 | (具体的に) |
| 6. 経済的支援(活動資金など) | 12. 特にない |
| 7. 他団体とのネットワークづくり | |

活動上の課題や他の団体等との連携についておたずねします。

問9 貴団体が地域活動を行う上での運営上の問題点・課題についてお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 活動場所の確保が難しい | 8. スタッフの活動意欲の維持が難しい |
| 2. 活動資金の調達に苦労している | 9. 活動ノウハウの不足 |
| 3. スタッフが不足している | 10. 他団体や事例等の情報不足 |
| 4. スタッフの固定・人事が硬直化している | 11. 活動の充実に向けた研修等の機会がない |
| 5. 活動がマンネリ化し、活動が広がらない | 12. 支援を必要とする人の情報不足 |
| 6. 活動に対する周囲の理解不足 | 13. その他 |
| 7. 関連団体との連携がうまくいかない | (具体的に) |
| 14. 特に問題はない | |

問10 貴団体は地域での活動を行う上で、以下の選択肢のような団体や組織と連携・協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 市役所 | 12. 商店街 |
| 2. 社会福祉協議会 | 13. 介護・福祉施設 |
| 3. 自治会 | 14. 医療機関 |
| 4. 当事者団体 | 15. ハローワーク |
| 5. 民生委員・児童委員 | 16. 警察・消防 |
| 6. 保育園・幼稚園 | 17. 弁護士・司法書士 |
| 7. 小中学校・高校 | 18. 民間企業 |
| 8. 大学・専門学校 | 19. 商工会議所 |
| 9. PTA | 20. その他 |
| 10. NPO・ボランティア | (具体的に) |
| 11. 老人クラブ | 21. 分からない |

問11 問10の選択肢のうち、貴団体が今後連携・協力関係を深めたい団体や組織があれば、番号をご記入ください。(いくつでも可)

--

問12 貴団体の活動を通して、市民の方から生活上の困りごと等の相談を受けたことがありますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 受けたことがある |
| 2. 受けたことはない (⇒問13へお進みください。) |

【問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に】

問12-1 どのような相談内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 一人暮らしで不安や心細い思いをしている |
| 2. 近所や地域と関わりを持たず、孤立している |
| 3. 経済的に困窮している |
| 4. 認知症や老々介護（高齢者による高齢者の介護）で困っている |
| 5. 障がいを抱えて困っている |
| 6. 子育て・育児で不安や悩みを抱えている |
| 7. 介護や障がいを抱える家族等のケアをしている |
| 8. 家族から虐待が疑われるようなことをされている |
| 9. 1から8などの困りごとを複数抱えている家庭がある |
| 10. その他（具体的に |
| 11. 分からない |

問12-2 解決または解決のきっかけに至りましたか。(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. はい (⇒問13へお進みください。) |
| 2. いいえ (理由：) |

【問12-2で「2. いいえ」とお答えの方に】

問12-3 相談を解決するために、必要と感じた（あったらいいなと感じた）ものがあれば、以下にお書き下さい。

(例) ○○の場所、○○の相談先、○○の団体・人とのつながり、○○に関する情報

越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等についておたずねします

問13 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。（項目ごとに1つに○）

	できている	ある程度できている	あまりできていない	ほとんどできていない
1. 市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題に対する解決力が高まっている	1	2	3	4
2. 地域で活躍する人材が増え、育っている	1	2	3	4
3. 地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている	1	2	3	4
4. 地域の活動団体の取組がより活発になり、さらに多くの人に参加するようになっている	1	2	3	4
5. 地域で活動するための支援が充実している	1	2	3	4
6. 地域の中で、活動団体や専門機関のつながりが強化されている	1	2	3	4
7. 生活上の困りごとを、身近な場所で気軽に相談できる場所が充実している	1	2	3	4
8. 困りごとや悩み、孤立などを抱えている人が適切な支援につながる仕組みが充実している	1	2	3	4
9. 障がい者・高齢者・子どもなどの権利が守られ、虐待を許さない地域づくりが行われている	1	2	3	4
10. 生活困窮者への経済的支援が充実している	1	2	3	4
11. （手話や要約筆記等）様々な方法により、誰もが必要としている情報を入手できている	1	2	3	4
12. 福祉サービスの質の確保や苦情解決の仕組みにより質の高い福祉サービスを受けられている	1	2	3	4
13. 色々な困りごとや悩みを抱えても、市役所等に相談がしやすく、早く解決につながる	1	2	3	4
14. 悩みごとを抱えた際に、市役所の中で様々な部署同士が連携して、一緒に解決してくれる	1	2	3	4
15. 地域のつながりや支え合いの力を活かした防犯や防災対策が進められている	1	2	3	4
16. 建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつけられている	1	2	3	4

問14 ボランティア活動・NPO活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 単発・短時間で参加できる活動を増やす
2. 活動する人に対して動機づけを工夫する(報酬やポイントをもらえる等)
3. 身近な地域(自宅の近く等)で活動に参加できる機会を増やす
4. 一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす
5. 家族や友人・知人等と一緒に参加できる活動を増やす
6. 企業などが、休暇を認めるなどの特別な配慮をする
7. 学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う
8. 子ども向けの地域活動やボランティア活動を充実させる
9. 地域活動やボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
10. 地域活動やボランティア活動のための研修を開催する
11. 活動団体と活動を必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する
12. 地域活動やボランティア活動についての普及啓発(積極的な呼びかけ)を行う
13. その他(具体的に)
14. 分からない

問15 越谷市が推進している、越谷市避難行動要支援者支援制度における「個別避難計画」についてご存じですか。(1つに〇)

1. はい
2. いいえ

「個別避難計画」とは…

災害時に避難の支援が必要な方(要支援者)を「誰(避難支援者)が」「どこに」「どのように」避難させるかを、事前に決めておくものです。

問16 越谷市の地域福祉や地域福祉計画の現状や課題について、話し合いができるような場があれば、貴団体は参加したいと思いますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

【問16で「1. はい」とお答えの方に】

問16-1 【参加を希望する場合】貴団体名と連絡先をお書きください。
(※あらためてご連絡させていただく場合がございます。)

(貴団体名：	)
(連絡先：	)

問17 越谷市の福祉に対するご意見・ご要望・ご提案等がありましたら、お書きください。

(アンケートへのご協力まことにありがとうございました)
この冊子を同封の封筒に入れ、切手をはらずにポストに投函して下さい。



（団体用調査票②）

地域福祉に関するアンケート調査にご協力をお願いします

11頃から、本市の地域福祉※の推進にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

越谷市では、地域福祉を推進するための方向性を定める「越谷市地域福祉計画」を、社会福祉法人越谷市社会福祉協議会では、地域福祉を推進するための具体的な行動を定める「越谷市地域福祉活動計画」を策定しています。

このたび、次期の第4次越谷市地域福祉計画、地域福祉活動計画（計画期間：令和8年度～令和12年度）を策定するにあたり、計画の基礎資料として、地域の企業・事業所等の皆様のご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を実施いたします。

なお、この調査は無記名であり、企業・事業所が特定されることはありません。また、調査の目的以外に使用することはございませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

「地域福祉」とは…

様々な社会変化の中でも、住み慣れた場所で自分らしい生活を送り、日々の暮らしの中で幸せを感じることができる地域を、皆で実現していくことが地域福祉です。

令和6年（2024年）7月

越谷市長 福田 晃

社会福祉法人越谷市社会福祉協議会会長 杉本 昭彦



越谷特別市民
ガーヤちゃん

ご記入にあたってのお願い

① 郵送による回答の場合

- 質問には、原則として代表者または責任者の方がご回答ください。ただし、何らかの事情で代表者または責任者の方が回答できない場合は、代表者または責任者の方に近い立場の方（副代表者等）がお答えください。

（本調査は無記名ですので、お名前の記入は必要ありません）

- ご記入後は、回答用紙のみ同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

8月13日（火）までにポストへご投函下さい。

② インターネットによる回答の場合

下記のどちらかの方法で、**8月13日（火）**までに回答下さい。

- ・スマートフォン等で右の二次元コードを読み込む →
- ・パソコン等で下記アドレスにアクセスして回答する
→ <https://questant.jp/q/99ZCRRQH>



（※インターネットによる回答をした場合は、郵送は不要です）

（お問い合わせ先）

越谷市役所 地域共生部 地域共生推進課

電 話：048-963-9187（直通） FAX：048-963-9199

<居住地区区分>



◆ 居住地区該当町表

地区区分	該当町名
桜井	大字大里、大字下間久里、大字上間久里、大字大泊、大字平方、平方南町、千間台東1～4丁目
新方	大字弥十郎、大字大吉、大字向畑、大字北川崎、大字大杉、大字大松、大字船渡、弥栄町1～4丁目
増林	大字花田、大字増林、大字増森、大字中島、東越谷1～10丁目、中島1～3丁目、増林1～3丁目、増森1～2丁目、花田1～7丁目
大袋	大字恩間、大字大竹、大字大道、大字三野宮、大字恩間新田、大字袋山、大字大林、大字大房、千間台西1～6丁目
荻島	大字野島、大字小曾川、大字砂原、大字南荻島、大字西新井、大字北後谷、大字長島
出羽	宮本町1～5丁目、神明町1～3丁目、谷中町1～4丁目、七左町1・4～8丁目、大間野町1～5丁目、新川町1～2丁目、新越谷2丁目
蒲生	大字蒲生、瓦曽根1～2丁目、南越谷1丁目、登戸町、蒲生東町、蒲生寿町、蒲生旭町、蒲生本町、蒲生西町1～2丁目、蒲生1～4丁目、蒲生愛宕町、蒲生南町、南町1～3丁目
川柳	伊原1～2丁目、川柳町1～5丁目、レイクタウン7丁目
大相模	大字西方、相模町1～5丁目、大成町1～2・6～8丁目、東町1～3・5丁目、相模町6～7丁目、流通団地1～4丁目、西方1～2丁目、レイクタウン1～6・8～9丁目
大沢	大沢、大沢1～4丁目、東大沢1～5丁目
北越谷	北越谷1～5丁目
越ヶ谷	越ヶ谷、越ヶ谷1～5丁目、御殿町、柳町、越ヶ谷本町、中町、弥生町、赤山町1～2丁目、宮前1丁目、赤山本町
南越谷	瓦曽根3丁目、南越谷2～5丁目、蒲生茜町、東柳田町、元柳田町、赤山町3～5丁目、新越谷1丁目

貴事業所の概要についておたずねします。

問1 貴事業所の所在地についてご記入ください。(1つに○)

(※前頁の「居住地区該当町表」をご参照ください)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. 桜井地区 | 6. 出羽地区 | 11. 北越谷地区 |
| 2. 新方地区 | 7. 蒲生地区 | 12. 越ヶ谷地区 |
| 3. 増林地区 | 8. 川柳地区 | 13. 南越谷地区 |
| 4. 大袋地区 | 9. 大相模地区 | |
| 5. 荻島地区 | 10. 大沢地区 | |

問2 貴事業所の主な業種は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

(※複数ある場合は、主たるものをお答えください)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 農林業 | 10. 学術研究・専門技術サービス業 |
| 2. 建設業 | 11. 宿泊・飲食サービス業 |
| 3. 製造業 | 12. 生活関連サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 13. 娯楽・レジャー業 |
| 5. 情報通信業 | 14. 教育・学習支援業 |
| 6. 運輸・郵便業 | 15. 医療・福祉 |
| 7. 卸売・小売業 | 16. (5～15以外の)サービス業 |
| 8. 金融・保険業 | 17. その他 |
| 9. 不動産・物品賃貸業 | (具体的に) |

貴事業所の地域活動状況についておたずねします。

問3 貴事業所が越谷市において地域の課題解決に関して取り組んでいる主な活動等はどの分野ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 健康づくり | 14. 子どもの健全育成 |
| 2. 児童・母子及び父子福祉 | 15. 教育・生涯学習 |
| 3. 高齢者福祉 | 16. スポーツ |
| 4. 障がい者福祉 | 17. 芸術・文化の振興 |
| 5. 生活困窮者支援 | 18. 男女共同参画 |
| 6. その他社会福祉 | 19. 人権問題 |
| 7. 医療 | 20. 国際協力・交流 |
| 8. 環境保全・脱炭素 | 21. 産業振興 |
| 9. ごみ・リサイクル | 22. 地域交流 |
| 10. 消費者問題 | 23. 地域コミュニティ |
| 11. まちづくり全般 | 24. その他 |
| 12. 交通安全・防犯 | (具体的に) |
| 13. 防災 | 25. 活動していない |

【問3で1～24のいずれかを選択した方に】

問4 問3の選択肢のうち、貴事業所で実施されている主な取り組みをお答えください。(3つまで)

	項目	具体的内容 (いつ〈頻度〉、どこで、誰に〈と〉、どのような活動を)
(例)	高齢者福祉	会社の会議室を利用して、誰でも参加できる認知症カフェを開催。普及啓発や、認知症高齢者や家族同士の交流を行っている。
1		
2		
3		

問5 問3の選択肢のうち、貴事業所が今後取り組んでみたい活動の番号をご記入ください。(いくつでも可)

--

問6 貴事業所が地域で活動する際の場所はどこですか。中心的な場所をお答えください。
(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 貴事業所の施設内 | 5. 民間施設 |
| 2. 市役所 | 6. 職員の個人宅や勤務先 |
| 3. 地区センターや市民会館等 | 7. その他 |
| 4. 自治会館や集会所 | (具体的に) |

問7 地域での活動に必要な情報はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 事業所や団体同士が交流するための情報 |
| 2. 地域のニーズに関する情報 |
| 3. 行政の福祉施策・担当窓口に関する情報 |
| 4. 活動分野にかかる専門的な情報 |
| 5. 地域生活にかかる情報 |
| 6. 経営・運営に関する情報 |
| 7. 県・全国組織など上部団体からの情報 |
| 8. 特に必要な情報はない |

問8 貴事業所の地域での活動を充実させるために、市役所・社会福祉協議会に期待する支援を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 団体や活動についてのPR | 8. 活動に関する助言 |
| 2. 活動上必要な情報の提供 | 9. 設備・備品の充実 |
| 3. 活動場所の提供 | 10. 成果の発表の場の提供 |
| 4. 会員募集の支援 | 11. その他 |
| 5. リーダーの養成支援 | (具体的に) |
| 6. 経済的支援(活動資金など) | 12. 特にない |
| 7. 他団体とのネットワークづくり | |

活動上の課題や他の団体等との連携についておたずねします。

問9 貴事業所が地域活動を行う上での運営上の問題点・課題についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 活動場所の確保が難しい | 8. スタッフの活動意欲の維持が難しい |
| 2. 活動資金の調達に苦勞している | 9. 活動ノウハウの不足 |
| 3. スタッフが不足している | 10. 他団体や事例等の情報不足 |
| 4. スタッフの固定・人事が硬直化している | 11. 活動の充実に向けた研修等の機会がない |
| 5. 活動がマンネリ化し、活動が広がらない | 12. 支援を必要とする人の情報不足 |
| 6. 活動に対する周囲の理解不足 | 13. その他 |
| 7. 関連団体との連携がうまくいかない | (具体的に) |
| 14. 特に問題はない | |

問10 貴事業所は地域での活動を行う上で、以下の選択肢のような団体や組織と連携・協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 市役所 | 12. 商店街 |
| 2. 社会福祉協議会 | 13. 介護・福祉施設 |
| 3. 自治会 | 14. 医療機関 |
| 4. 当事者団体 | 15. ハローワーク |
| 5. 民生委員・児童委員 | 16. 警察・消防 |
| 6. 保育園・幼稚園 | 17. 弁護士・司法書士 |
| 7. 小中学校・高校 | 18. 民間企業 |
| 8. 大学・専門学校 | 19. 商工会議所 |
| 9. PTA | 20. その他 |
| 10. NPO・ボランティア | (具体的に) |
| 11. 老人クラブ | 21. 分からない |

問11 問10の選択肢のうち、貴事業所が今後連携・協力関係を深めたい団体や組織があれば、番号をご記入ください。(いくつでも可)

--

問12 貴事業所の活動を通して、市民の方から生活上の困りごと等の相談を受けたことがありますか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 受けたことがある |
| 2. 受けたことはない (⇒問13へお進みください。) |

【問12で「1. 受けたことがある」とお答えの方に】

問12-1 どのような相談内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 一人暮らしで不安や心細い思いをしている |
| 2. 近所や地域と関わりを持たず、孤立している |
| 3. 経済的に困窮している |
| 4. 認知症や老々介護（高齢者による高齢者の介護）で困っている |
| 5. 障がいを抱えて困っている |
| 6. 子育て・育児で不安や悩みを抱えている |
| 7. 介護や障がいを抱える家族等のケアをしている |
| 8. 家族から虐待が疑われるようなことをされている |
| 9. 1から8などの困りごとを複数抱えている家庭がある |
| 10. その他（具体的に |
| 11. 分からない |

問12-2 解決または解決のきっかけに至りましたか。(1つに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. はい (⇒問13へお進みください。) |
| 2. いいえ（理由： |

【問12-2で「2. いいえ」とお答えの方に】

問12-3 相談を解決するために、必要と感じた（あったらいいなと感じた）ものがあれば、以下にお書き下さい。

(例) ○○の場所、○○の相談先、○○の団体・人とのつながり、○○に関する情報

越谷市全体の地域福祉や地域活動の活性等についておたずねします。

問13 越谷市の地域福祉の現状についてどう思いますか。（項目ごとに1つに○）

	できている	ある程度できている	あまりできていない	ほとんどできていない
1. 市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題に対する解決力が高まっている	1	2	3	4
2. 地域で活躍する人材が増え、育っている	1	2	3	4
3. 地域の中に交流や活動できる場所があり、増えている	1	2	3	4
4. 地域の活動団体の取組がより活発になり、さらに多くの人に参加するようになっている	1	2	3	4
5. 地域で活動するための支援が充実している	1	2	3	4
6. 地域の中で、活動団体や専門機関のつながりが強化されている	1	2	3	4
7. 生活上の困りごとを、身近な場所で気軽に相談できる場所が充実している	1	2	3	4
8. 困りごとや悩み、孤立などを抱えている人が適切な支援につながる仕組みが充実している	1	2	3	4
9. 障がい者・高齢者・子どもなどの権利が守られ、虐待を許さない地域づくりが行われている	1	2	3	4
10. 生活困窮者への経済的支援が充実している	1	2	3	4
11. （手話や要約筆記等）様々な方法により、誰もが必要としている情報を入手できている	1	2	3	4
12. 福祉サービスの質の確保や苦情解決の仕組みにより質の高い福祉サービスを受けられている	1	2	3	4
13. 色々な困りごとや悩みを抱えても、市役所等に相談がしやすく、早く解決につながる	1	2	3	4
14. 悩みごとを抱えた際に、市役所の中で様々な部署同士が連携して、一緒に解決してくれる	1	2	3	4
15. 地域のつながりや支え合いの力を活かした防犯や防災対策が進められている	1	2	3	4
16. 建物のバリアフリー化やバスなどの公共交通の充実など生活しやすいまちがつけられている	1	2	3	4

問14 ボランティア活動・NPO活動や市民の主体的な活動が地域に広がっていくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 単発・短時間で参加できる活動を増やす
2. 活動する人に対して動機づけを工夫する(報酬やポイントをもらえる等)
3. 身近な地域(自宅の近く等)で活動に参加できる機会を増やす
4. 一人でも気兼ねなく参加できる機会を増やす
5. 家族や友人・知人等と一緒に参加できる活動を増やす
6. 企業などが、休暇を認めるなどの特別な配慮をする
7. 学校教育の一環として地域活動やボランティア活動を活発に行う
8. 子ども向けの地域活動やボランティア活動を充実させる
9. 地域活動やボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する
10. 地域活動やボランティア活動のための研修を開催する
11. 活動団体と活動を必要とする人を結ぶ仕組みを拡充する
12. 地域活動やボランティア活動についての普及啓発(積極的な呼びかけ)を行う
13. その他(具体的に)
14. 分からない

問15 越谷市が推進している、越谷市避難行動要支援者支援制度における「個別避難計画」についてご存じですか。(1つに〇)

1. はい
2. いいえ

「個別避難計画」とは…

災害時に避難の支援が必要な方(要支援者)を「誰(避難支援者)が」「どこに」「どのように」避難させるかを、事前に決めておくものです。

問16 越谷市の地域福祉や地域福祉計画の現状や課題について、話し合いができるような場があれば、貴事業所は参加したいと思いますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ
--

↓
【問16で「1. はい」とお答えの方に】

問16-1 【参加を希望する場合】貴事業所名と連絡先をお書きください。
(※あらためてご連絡させていただく場合がございます。)

(貴事業所名：	)
(連絡先：	)

問17 越谷市の福祉に対するご意見・ご要望・ご提案等がありましたら、お書きください。

(アンケートへのご協力まことにありがとうございました)

この冊子を同封の封筒に入れ、切手をはらずにポストに投函して下さい。



第4次越谷市地域福祉計画策定にかかる 基礎調査結果報告書

令和7年1月発行

発行： 越谷市 地域共生部 地域共生推進課
〒343-8501
埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電 話 048-963-9187（直通）
FAX 048-963-9199
